

医療費分析結果報告書

平成28年度版

全国土木建築国民健康保険組合

目次

1	被保険者の状況	
(1)	被保険者数の推移	1
(2)	年齢階級別被保険者数	2~3
(3)	前期高齢者の被保険者数	4
(4)	扶養率分析	5
2	医療費の状況	
(1)	医療費	6
(2)	診療区分別の医療費	7
(3)	1人当たり医療費	8
(4)	年齢階級別1人当たり医療費	9~10
(5)	診療区分別1人当たり医療費	11
(6)	医科入院	
①	入院1人当たり医療費	12
②	推計新規入院件数	13
③	100人当たり新規入院件数	14
④	推計平均在院日数	15
⑤	入院1日当たり医療費	16
⑥	推計1入院当たり医療費	17
⑦	入院1人当たり日数	18
(7)	医科入院外	
①	入院外1人当たり医療費	19
②	入院外1人当たり日数	20
③	入院外1日当たり医療費	21
(8)	歯科	
①	歯科1人当たり医療費	22
②	歯科1人当たり日数	23
③	歯科1日当たり医療費	24
(9)	調剤	
①	調剤1人当たり医療費	25~26
②	調剤1人当たり回数	27
③	調剤1回当たり医療費	28
(10)	ジェネリック医薬品の使用状況(数量ベース)	29
3	疾病の状況	
(1)	年齢階級別疾病分類	
①	全体(医科+歯科)	30
②	入院(医科+歯科):組合員	31
③	入院(医科+歯科):家族	32

④入院外（医科+歯科）：組合員	33
⑤入院外（医科+歯科）：家族	34
(2) 前期高齢者に係る疾病分類比較分析（医科）	35~36

－ は じ め に －

本組合の事業運営につきましては、日頃格別のご配意を賜り、厚くお礼申しあげます。

さて、このたび平成 28 年度版の「医療費分析結果報告書」を作成いたしました。

本報告書は、本組合被保険者の受診や疾病の状況を、組合員・家族別、年齢階級別、疾病分類別等の切り口から観察したもので、本組合の医療費等の現状を把握していただくとともに、分析結果を保険給付等の適正化及び保健事業の推進に活用することを目的としています。

被保険者の状況、医療費の状況及び疾病の状況の 3 部構成とし、各項目に図表を掲載して簡潔に説明を加え、また、分析に際して組保管掌健康保険と比較することにより、本組合の水準を把握することが可能となっております。

ご一読のうえ、今後も本組合の事業運営にご理解、ご協力を賜りますようお願い申しあげます。

平成 30 年 6 月

－ 報告書の留意事項 －

- ・ 本報告書は、原則として平成 28 年度の実績に基づき作成していますが、本組合が保有するデータ及び比較対象元の公開データ等の有無のため、項目によっては異なる期間を分析しています。その場合は該当項目にいつ時点の内容かを明示しています。
- ・ 本報告書では組合健保を比較対象としていますが、組合健保は高齢受給者（70 歳以上）が「被保険者」であるか「被扶養者」であるか区別できないことから、「被保険者」及び「被扶養者」については 70 歳未満の加入者に係る実績となっており、本組合の「組合員」及び「家族」と比較を行うため、本組合においても「組合員」及び「家族」は、70 歳未満の実績としています。ただし、年齢階層を掲載している場合については、各表の年齢階層別加入者に係る実績となっています。
- ・ 本報告書でいう医療費とは、医科、歯科及び調剤の費用額（診療（調剤）報酬明細書に記載された点数を 10 倍した金額）です。なお、総医療費には入院時食事・生活療養費及び訪問看護療養費を、医科入院及び歯科には入院時食事・生活療養費の費用額を含んでいます。ただし、「3 疾病の状況」の項目では、入院時食事・生活療養費及び訪問看護療養費を除いています。
- ・ 本報告書では入院医療費の新 3 要素分析を用いており、推計新規入院件数（前月以前に退院した者が当月再入院した場合を含む）と推計平均在院日数（入院の 1 件当たり日数から算定した平均在院日数）の積が入院受診延日数となります。

したがって、入院医療費は推計新規入院件数（入院発生）、推計平均在院日数（入院期間）及び入院の 1 日当たり医療費（入院単価）の 3 要素の積に分解でき、さらに、推計新規入院件数と推計 1 入院当たり医療費（推計平均在院日数に入院の 1 日当たり医療費を乗じて得た 1 入院当たり医療費）の積に分解できます。

(参考)

診療報酬改定率

	平成24年度	平成26年度	平成28年度
全体改定率 (①+②)	0.004%	0.10%	△0.84%
診療報酬本体 (①)	1.379%	0.73%	0.49%
医科	1.55%	0.82%	0.56%
歯科	1.70%	0.99%	0.61%
調剤	0.46%	0.22%	0.17%
薬価等【医療費ベース】 (②) (③+④)	△1.375%	△0.63%	△1.33%
薬価 (③) (括弧内は薬価ベース)	△1.26% (△6.00%)	△0.58% (△2.65%)	△1.22% (△5.57%)
材料価格 (④)	△0.12%	△0.05%	△0.11%

薬価 (③) 別枠 (括弧内は薬価ベース)	平成24年度	平成26年度	平成28年度
市場拡大再算定 (※1)			△0.19% (△0.90%)
特例市場拡大再算定 (※2)			△0.28% (△1.30%)

(注) 薬価改定における医療費ベースでの改定率とは、診療報酬総額の増減率をいう。
薬価ベースでの改定率とは、薬価の引上げ又は引下げによる当該診療報酬総額中の薬剤費の増減率をいう。

※1 市場拡大再算定

年間販売額が想定した販売額を2倍以上上回る等の要件を満たした医薬品について、薬価改定時に価格を更に引き下げる制度。

平成26年度以前の市場拡大再算定分は薬価(医療費ベースと薬価ベース)の本体改定に含まれている。平成28年度については本体改定の別枠とされた。

※2 特例市場拡大再算定

医療保険財政を維持するため、市場規模が特に巨額な医薬品の価格を引き下げる制度。年間販売額が1,000億円超等の要件を満たした品目が対象。平成28年度から導入された。

1 被保険者の状況

(1) 被保険者数の推移

平成 28 年度における被保険者数（組合健保においては加入者数）は 412,316 人であり、前年度と比較して 0.73%減少している。このうち 70 歳未満の組合員数は 184,976 人、家族数は 220,924 人であり、前年度と比較して組合員数は 1.20%増加しており、家族数は 2.28%減少している。

なお、平成 24 年度からの推移をみると、被保険者数は減少傾向であり、前年度と比較して減少率が拡大している。組合員、家族別でみると、組合員数は平成 27 年度に引き続き増加傾向であり、増加率もほぼ横ばいとなっているが、家族数は依然として減少傾向であり、前年度と比較して減少率が拡大している。

また、対前年度増減率を組合健保と比較すると、被保険者数（組合健保においては加入者数）及び家族数については全国土木の減少率が組合健保よりも高い傾向が続いているが、組合員数（組合健保においては被保険者数）については平成 27 年度から全国土木の増加率が組合健保を上回っている。

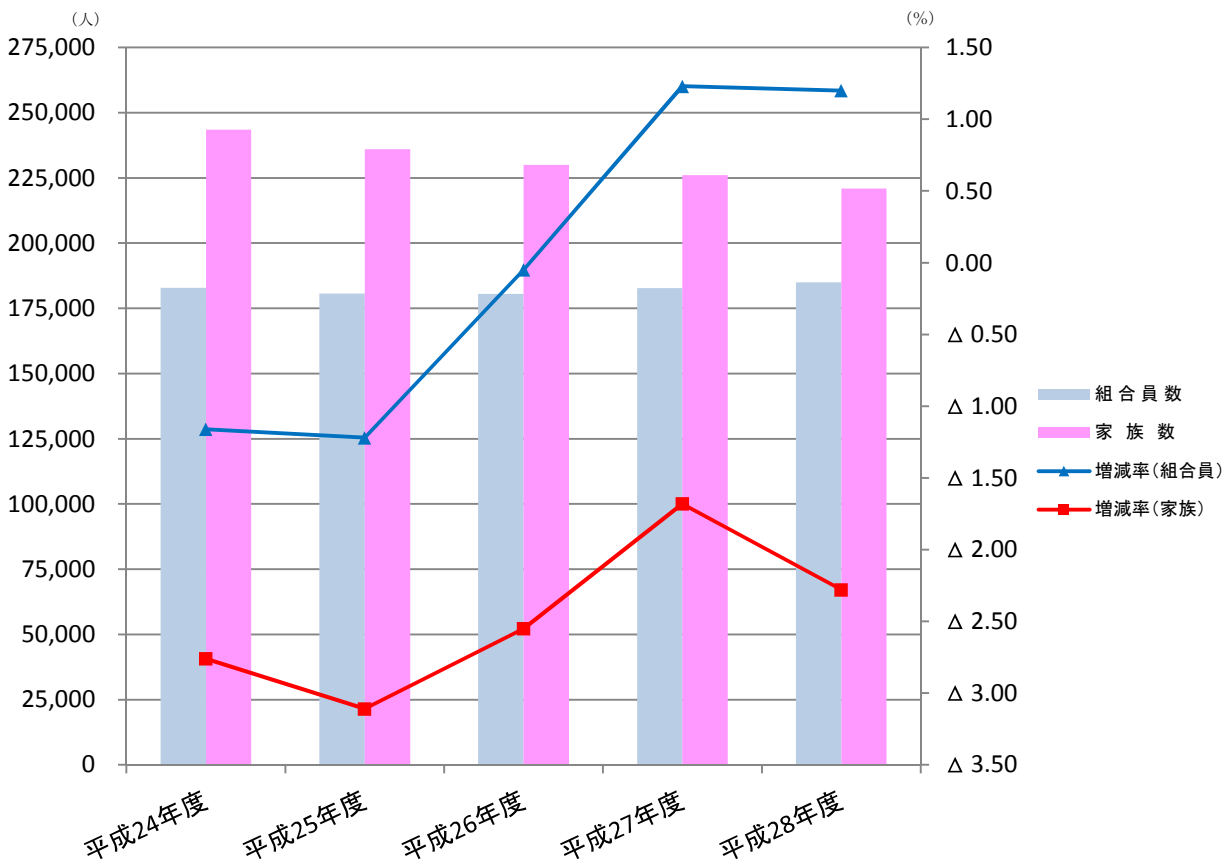
(表-1) 被保険者数の推移 (月平均)

(人)

	全国土木						組合健保					
	組合員数		家族数		被保険者数		被扶養者数		組合員数		家族数	
	対前年度増減率	対前年度増減率	対前年度増減率	対前年度増減率	対前年度増減率	対前年度増減率	対前年度増減率	対前年度増減率	対前年度増減率	対前年度増減率	対前年度増減率	
平成24年度	432,361	△ 2.03	182,866	△ 1.16	243,545	△ 2.76	29,449,160	△ 0.23	15,518,580	0.12	13,652,190	△ 0.67
平成25年度	422,768	△ 2.22	180,643	△ 1.22	235,966	△ 3.11	29,289,308	△ 0.54	15,516,551	△ 0.01	13,492,091	△ 1.17
平成26年度	416,965	△ 1.37	180,557	△ 0.05	229,943	△ 2.55	29,223,795	△ 0.22	15,591,205	0.48	13,341,889	△ 1.11
平成27年度	415,354	△ 0.39	182,778	1.23	226,069	△ 1.68	29,122,617	△ 0.35	15,692,288	0.65	13,151,022	△ 1.43
平成28年度	412,316	△ 0.73	184,976	1.20	220,924	△ 2.28	29,080,553	△ 0.14	15,861,923	1.08	12,944,476	△ 1.57

出典：厚生労働省「医療保険医療費データベース」

(図-1) 組合の被保険者数の推移



(2) 年齢階級別被保険者数

平成 28 年 9 月末現在の年齢階級別被保険者数を構成比で見ると、組合員では、男女とも 45 歳から 49 歳の構成比が最も高く（男性 16.49%、女性 16.77%）、男性は 15 歳から 19 歳及び 70 歳から 74 歳（ともに 0.89%）、女性は 15 歳から 19 歳（0.32%）が最も低くなっている。次に家族では、男性は 15 歳から 19 歳（23.26%）の構成比が最も高く、45 歳から 49 歳（0.45%）が最も低くなっており、女性は 45 歳から 49 歳（10.66%）が最も高く、70 歳から 74 歳（2.21%）が最も低くなっている。

なお、全体の構成比を組合健保と比較すると、20 歳代から 30 歳代は組合健保が高く、45 歳以降は全国土木が高くなっている。

また、平均年齢では、全国土木（36.7 歳）が、組合健保（34.8 歳）より 1.9 歳高くなっている。

(表-2) 年齢階級別被保険者数（平成 28 年 9 月末現在）

年齢別	全 国 土 木											組合健保 構成比	
	構成比		組 合 員 数				家 族 数						
			男 性		女 性		男 性		女 性				
歳 人	%	人	人	%	人	%	人	%	人	%			
0 - 4	19,991	4.84					19,991	10,352	14.45	9,639	6.25	5.93	
5 - 9	23,408	5.67					23,408	11,845	16.53	11,563	7.49	6.18	
10 - 14	28,960	7.01					28,960	14,733	20.56	14,227	9.22	6.13	
15 - 19	33,933	8.22	1,517	1,439	0.89	78	0.32	32,416	16,670	23.26	15,746	10.21	6.52
20 - 24	27,221	6.59	9,820	8,196	5.05	1,624	6.57	17,401	9,318	13.00	8,083	5.24	6.78
25 - 29	21,571	5.22	15,539	12,662	7.81	2,877	11.64	6,032	1,931	2.69	4,101	2.66	7.46
30 - 34	21,770	5.27	14,679	12,062	7.44	2,617	10.59	7,091	1,004	1.40	6,087	3.94	8.38
35 - 39	23,876	5.78	15,185	12,589	7.76	2,596	10.50	8,691	546	0.76	8,145	5.28	9.07
40 - 44	39,136	9.49	24,722	20,992	12.94	3,730	15.09	14,414	344	0.48	14,070	9.12	10.70
45 - 49	47,679	11.56	30,911	26,765	16.49	4,146	16.77	16,768	322	0.45	16,446	10.66	10.37
50 - 54	35,273	8.54	22,420	19,558	12.06	2,862	11.58	12,853	330	0.46	12,523	8.12	8.22
55 - 59	34,405	8.33	21,361	19,247	11.87	2,114	8.55	13,044	402	0.56	12,642	8.19	6.50
60 - 64	31,011	7.51	19,841	18,544	11.43	1,297	5.25	11,170	668	0.93	10,502	6.81	4.53
65 - 69	18,074	4.38	9,328	8,703	5.37	625	2.53	8,746	1,646	2.30	7,100	4.60	2.31
70 - 74	6,545	1.59	1,590	1,439	0.89	151	0.61	4,955	1,552	2.17	3,403	2.21	0.92
計	412,853	100	186,913	162,196	100	24,717	100	225,940	71,663	100	154,277	100	100

※1 比較対象である組合健保は 10 月中の異動者を含んでいることから、全国土木の組合員数については、10 月中に加入した短時間労働者である組合員を加算している。
 ※2 「組合健保構成比」については「健康保険被保険者実態調査」の調査要綱に基づき、一定の条件により抽出した調査客体から算出している。

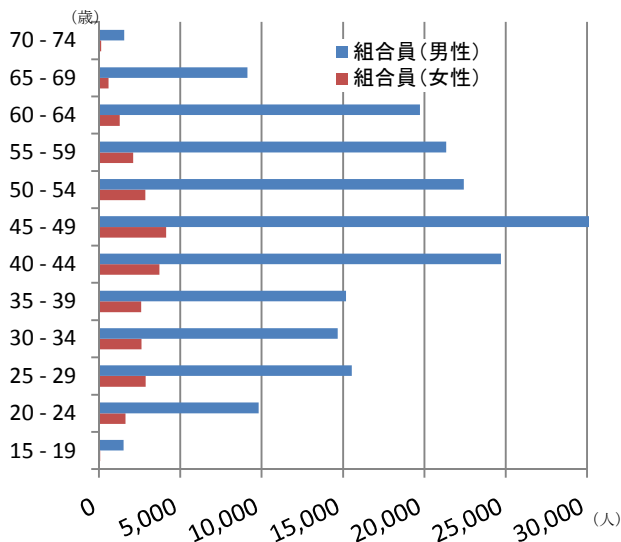
(表-3) 加入者平均年齢（平成 28 年 9 月末現在）

(歳)

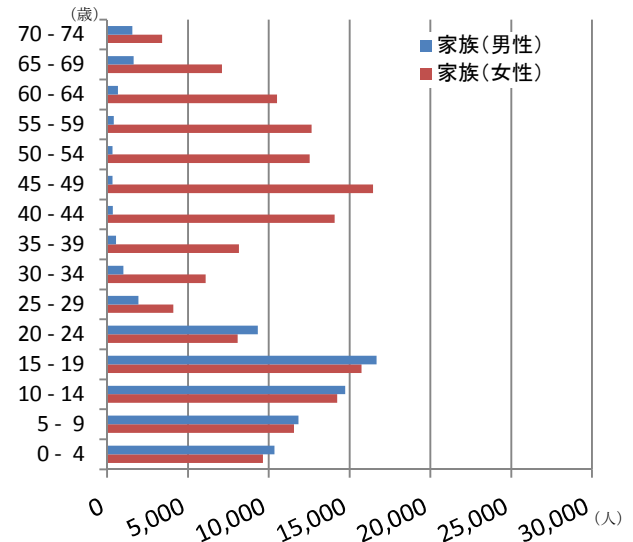
	全 国 土 木						組 合 健 保						
	組 合 員		家 族		被 保 険 者		被 扶 養 者		被 保 険 者		被 扶 養 者		
	男 性	女 性	男 性	女 性	男 性	女 性	男 性	女 性	男 性	女 性			
36.7	45.7	46.2	42.4	29.4	16.8	35.2	34.8	42.5	43.7	40.2	25.2	12.5	31.4

出典：厚生労働省「健康保険被保険者実態調査」

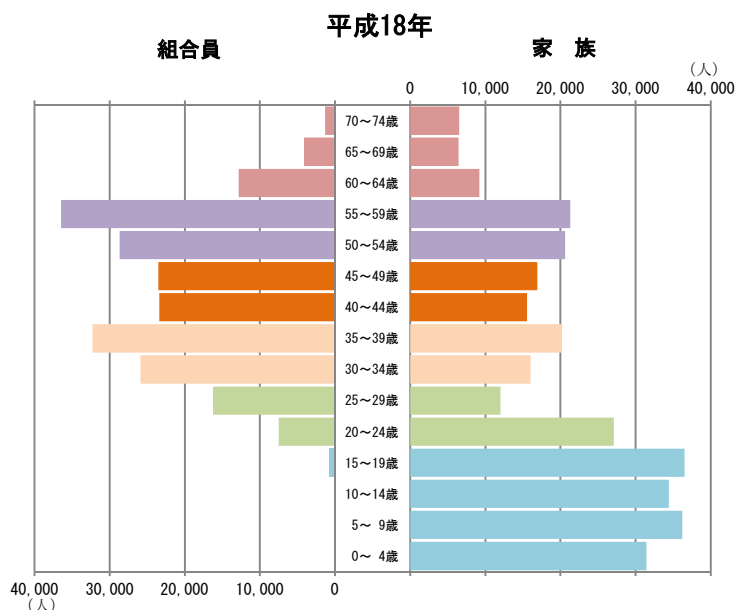
(図-2) 年齢階級別被保険者数（組合員）



(図-3) 年齢階級別被保険者数（家族）



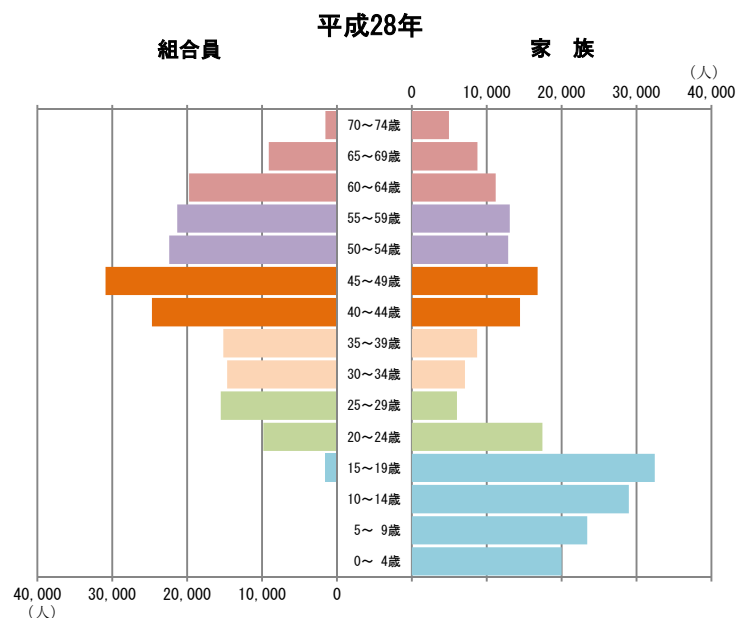
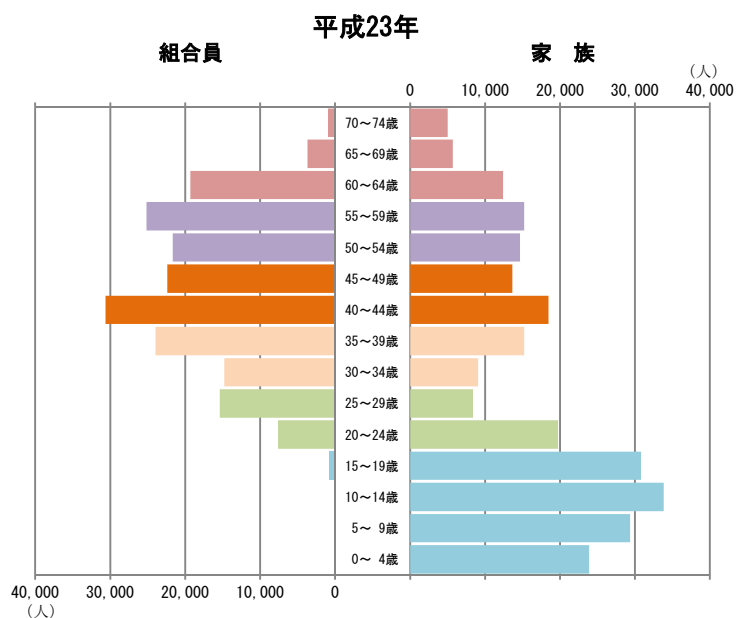
(参考) 組合員・家族別年齢階級別被保険者数の5年ごとの推移 (平成18年・平成23年・平成28年)



	平成18年	平成23年	平成28年
団塊の世代	56歳~60歳	61歳~65歳	66歳~70歳
団塊ジュニア	31歳~35歳	36歳~40歳	41歳~45歳

[被保険者数及びその年齢構成に影響を与えたと考えられる制度改正や主な出来事]

- 平成18年4月
「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」の改正
→60歳から64歳に支給される「特別支給の老齢厚生年金」の定額部分の支給開始年齢引き上げに伴い、段階的に65歳までの雇用確保措置が義務付けられた。
- 平成23年3月
東日本大震災の発生 → 復旧・復興事業
- 平成28年10月
「公的年金制度の財政基盤及び最低保障機能の強化等のための国民年金法等の一部を改正する法律」の一部改正
→特定適用事業所に勤務する短時間労働者に対し、健康保険・厚生年金保険の適用が拡大された。



(3) 前期高齢者の被保険者数

平成 28 年度における前期高齢者の被保険者数は 24,158 人（組合員 10,594 人、家族 13,564 人）であり、前年度と比較すると 8.30%（組合員 15.74%、家族 3.12%）増加している。

なお、平成 24 年度からの推移をみると、組合員、家族ともに増加傾向であり、この増加要因については、建設業界において、東日本大震災以降の人材不足から、組合員が 65 歳に到達した後も引き続き組合員として加入しているためと推察される。また、平成 28 年 10 月から組合員の適用対象を短時間労働者にも拡大したことも一因と思われる。70 歳以上の再掲については、組合員は増加傾向であるが、家族は平成 27 年度から減少傾向となっている。

また、前期高齢者の加入率を組合健保と比較すると、全国土木の方が高く、その差は年々広がっている。（24 年度は 1.13 ポイント差、28 年度は 2.58 ポイント差。）同様に、70 歳以上についても全国土木の方が高く、その差が年々広がっている。（24 年度は 0.43 ポイント差、28 年度は 0.62 ポイント差。）

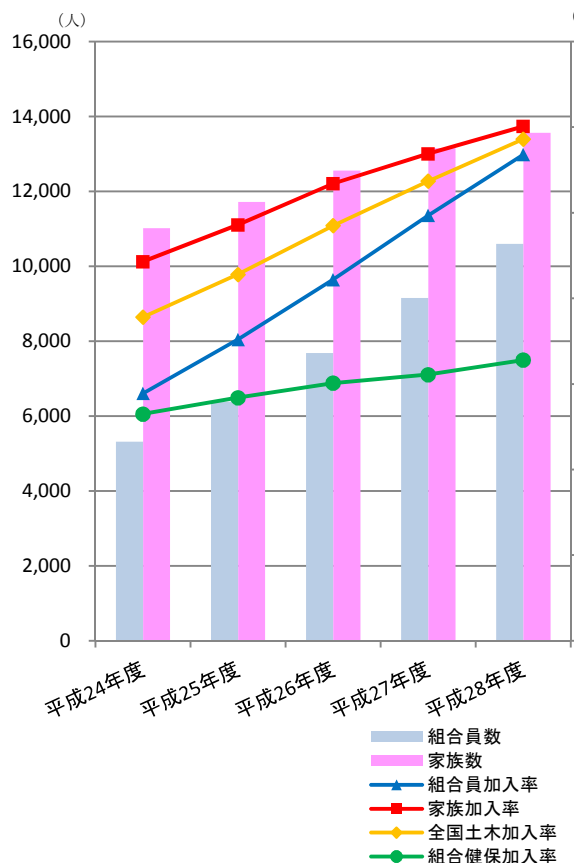
(表-4) 前期高齢者の被保険者数（月平均）

	前期高齢者数						前期高齢者加入率						組合健保 前期高齢者加入率	
	70歳以上再掲		組合員数		家族数		70歳以上再掲		組合員		家族		70歳以上再掲	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
平成24年度	16,329	5.950	5,311	934	11,018	5,016	3.78	1.38	2.89	0.51	4.43	2.02	2.65	0.95
平成25年度	18,103	6,158	6,387	1,030	11,716	5,128	4.28	1.46	3.52	0.57	4.86	2.13	2.84	0.96
平成26年度	20,228	6,464	7,678	1,193	12,550	5,271	4.85	1.55	4.22	0.66	5.34	2.24	3.01	0.99
平成27年度	22,306	6,507	9,153	1,339	13,153	5,168	5.37	1.57	4.97	0.73	5.69	2.23	3.11	0.96
平成28年度	24,158	6,416	10,594	1,536	13,564	4,880	5.86	1.56	5.68	0.82	6.01	2.16	3.28	0.94

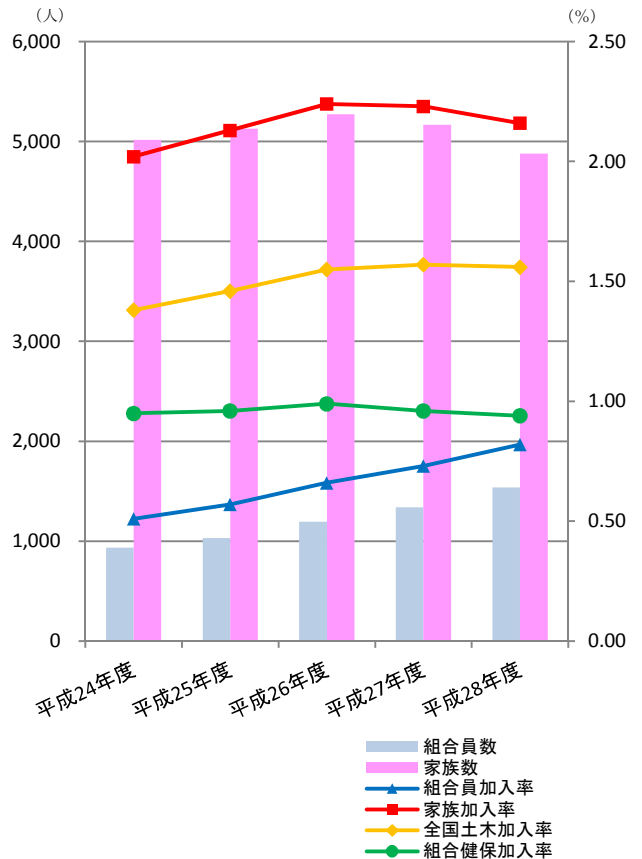
◎全保険者の平均前期高齢者加入率（平成 28 年度）：15.0%

出典：厚生労働省「医療保険医療費データベース」

(図-4) 前期高齢者の被保険者数



(図-5) 前期高齢者の被保険者数（70歳以上再掲）



(4) 扶養率分析

平成 28 年度における扶養率は 1.21 人となっており、前年度と比較すると 3.20%減少している。
 なお、平成 24 年度からの推移をみると、減少傾向となっており、5 年間で 0.14 人減少している。

また、組合健保と比較すると、全国土木の扶養率が高く、平成 28 年度では 0.41 人の差となっており、この差の要因については、扶養率が高い男性組合員（被保険者）の割合（全国土木は 86.8%）が組合健保（66.7%）より 20.1 ポイント高くなっていることに加え、組合員と同一世帯であれば、収入の多寡にかかわらず家族被保険者となるためと推察される。

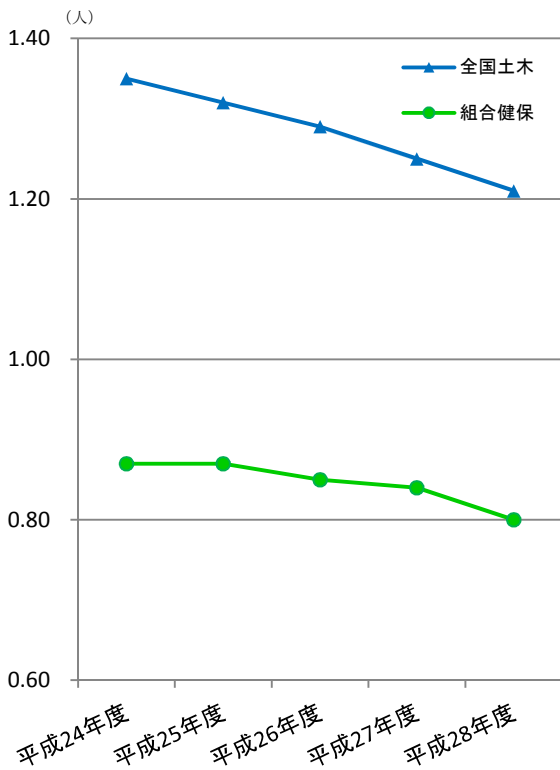
(表-5) 扶養率年度別推移

	全国土木		組合健保	
	対前年度増減率	対前年度増減率	対前年度増減率	対前年度増減率
平成24年度	1.35	△ 1.46	0.87	△ 2.25
平成25年度	1.32	△ 2.22	0.87	0.00
平成26年度	1.29	△ 2.27	0.85	△ 2.30
平成27年度	1.25	△ 3.10	0.84	△ 1.18
平成28年度	1.21	△ 3.20	0.80	△ 4.76
組合健保との差(率)	0.41 (51.25%)	1.56 ^P		

(表-6) 年齢階級別、性別、扶養率（平成 28 年 9 月末現在）

年齢別	全国土木		組合健保	
	男性	女性	男性	女性
15 - 19	0.25	0.25	0.29	0.00
20 - 24	0.19	0.20	0.13	0.04
25 - 29	0.38	0.43	0.16	0.21
30 - 34	1.00	1.16	0.25	0.60
35 - 39	1.53	1.76	0.42	0.99
40 - 44	1.72	1.94	0.48	1.17
45 - 49	1.72	1.93	0.34	1.20
50 - 54	1.46	1.64	0.21	1.07
55 - 59	1.11	1.21	0.20	0.82
60 - 64	0.93	0.98	0.24	0.69
65 - 69	0.88	0.93	0.24	0.70
70 - 74	0.84	0.90	0.26	0.72
計	1.21	1.35	0.29	0.80

(図-6) 扶養率年度別推移

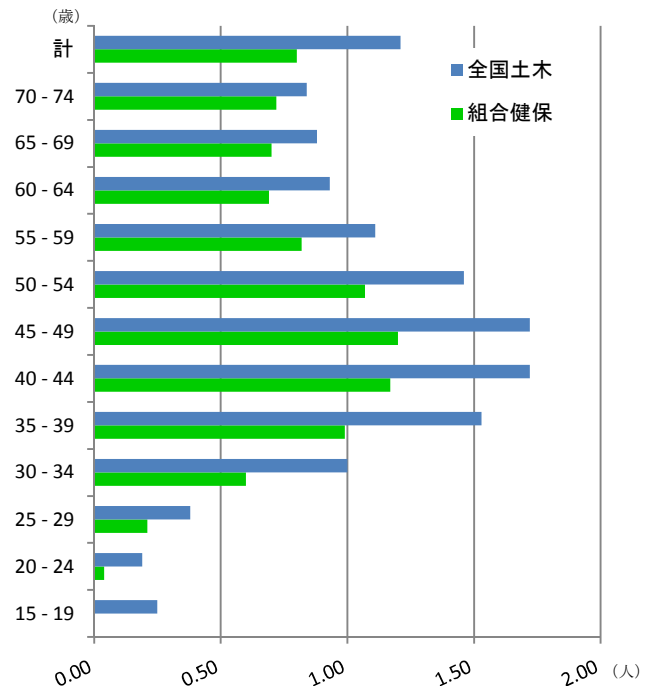


※組合員（被保険者）性別比

性別比	全国土木		組合健保	
	男性	女性	男性	女性
	86.8%	13.2%	66.7%	33.3%

出典：厚生労働省「健康保険被保険者実態調査」

(図-7) 年齢階級別、扶養率



2 医療費の状況

(1) 医療費

平成28年度における医療費は約719億円であり、前年度と比較して0.54%増加している。このうち70歳未満の組合員は約319億円、家族は約362億円であり、前年度と比較して組合員は1.34%、家族は0.84%増加している。

なお、平成24年度からの推移をみると、平成25年度まではほぼ横ばいで推移していたが、平成26年度に増加に転じ、平成27年度は大きく増加した。平成28年度も微増している。

また、医療費の動向を組合健保と比較すると、組合員は平成24年度以降、組合健保と同様に増加傾向となっている。家族は全国土木が平成26年度まで減少傾向、平成27年度以降は増加傾向である一方、組合健保は平成26年度までほぼ横ばい、平成27年度は増加したが平成28年度は減少に転じている。

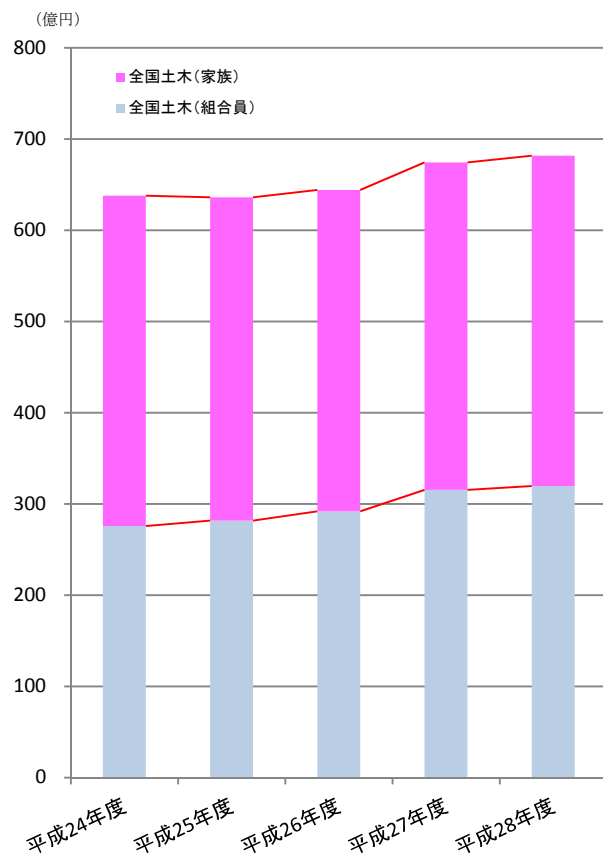
(表-7) 医療費

(億円)

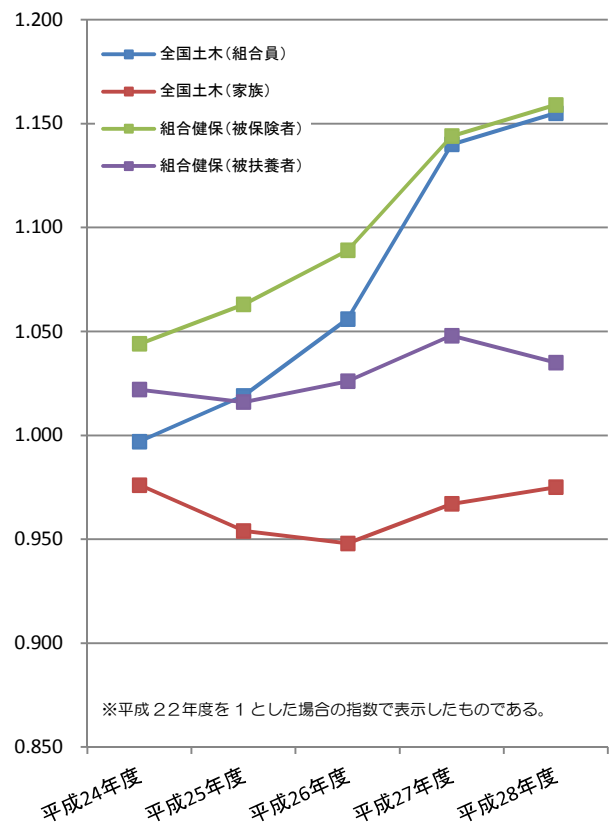
	全国土木						組合健保					
	対前年度 増減率	組合員		家族		対前年度 増減率	被保険者		被扶養者			
		対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率		対前年度 増減率	対前年度 増減率				
平成24年度	672	△ 0.19	275	0.99	362	△ 1.04	41,775	1.20	20,691	1.86	19,571	0.49
平成25年度	672	△ 0.01	282	2.22	354	△ 2.21	42,057	0.68	21,058	1.77	19,457	△ 0.58
平成26年度	682	1.50	292	3.67	352	△ 0.65	42,809	1.79	21,575	2.46	19,648	0.98
平成27年度	715	4.86	315	7.95	359	2.02	44,304	3.49	22,665	5.05	20,053	2.06
平成28年度	719	0.54	319	1.34	362	0.84	44,195	△ 0.25	22,957	1.29	19,811	△ 1.20

出典：平成24年度～平成27年度 厚生労働省「健康保険事業状況報告」
平成28年度 厚生労働省「医療保険医療費データベース」

(図-8) 医療費



(図-9) 医療費の動向



(2) 診療区分別の医療費

平成 28 年度における診療区分別の医療費は、全国土木は医科入院外が 292 億円（41.07%）と全体の 4 割以上を占め、次いで医科入院 195 億円（27.43%）となっており、組合健保も同様に医科入院外 1 兆 8,466 億円（42.16%）、医科入院 1 兆 1,071 億円（25.28%）となっている。

なお、70 歳未満の組合員（被保険者）と家族（被扶養者）の割合をみると、全国土木は組合員（46.96%）が家族（53.04%）より 6.08 ポイント低くなっているが、組合健保では被保険者（53.80%）が被扶養者（46.20%）より 7.60 ポイント高くなっている。

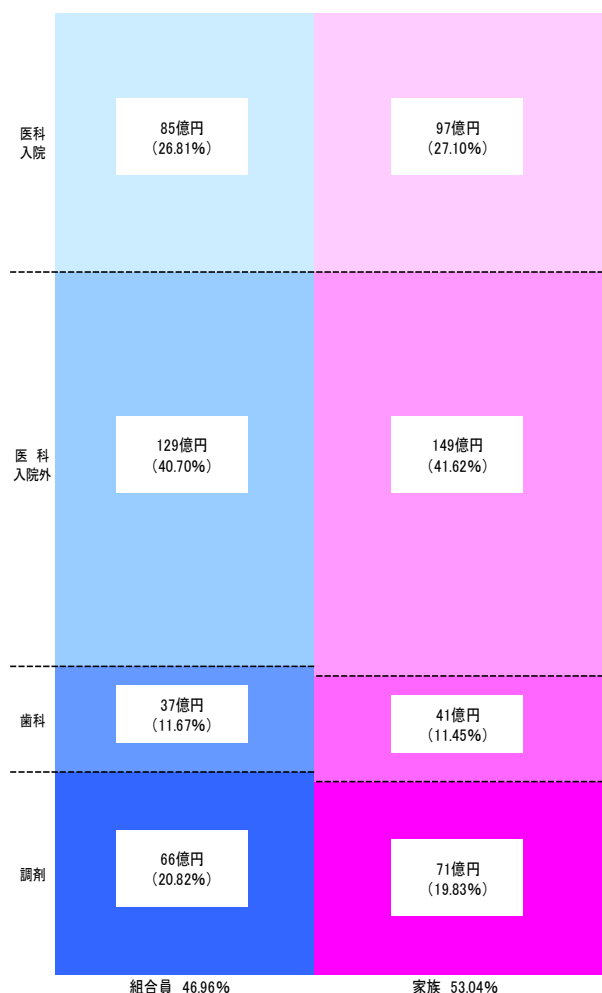
(表-8) 診療区分別医療費（平成 28 年度）

	全 国 土 木						組 合 健 保					
			組 合 員		家 族				被 保 険 者		被 扶 養 者	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
医 科 入 院	195	27.43	85	26.81	97	27.10	11,071	25.28	5,501	24.12	5,076	25.92
医 科 入 院 外	292	41.07	129	40.70	149	41.62	18,466	42.16	9,540	41.83	8,394	42.86
歯 科	80	11.25	37	11.67	41	11.45	5,378	12.28	3,047	13.36	2,237	11.42
調 剤	144	20.25	66	20.82	71	19.83	8,880	20.28	4,718	20.69	3,878	19.80
計	711	100.00	317	100.00	358	100.00	43,795	100.00	22,806	100.00	19,585	100.00

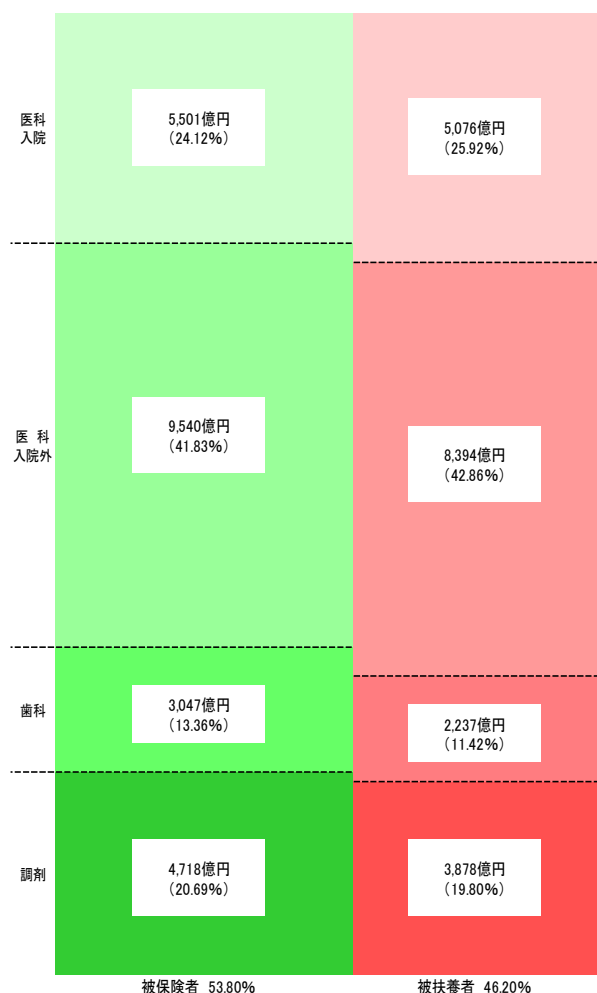
※「医科入院」及び「歯科」は入院時食事・生活療養費を除く。

出典：厚生労働省「医療保険医療費データベース」

(図-10) 診療区分別医療費（全国土木）



(図-11) 診療区分別医療費（組合健保）



(3) 1人当たり医療費

平成28年度における1人当たり医療費は174,287円であり、前年度と比較して1.29%増加している。このうち70歳未満の組合員は172,641円、家族は163,916円であり、前年度と比較して組合員は0.13%、家族は3.19%それぞれ増加している。

なお、平成24年度以降の推移をみると、毎年増加しているものの、平成28年度の増加率は組合員、家族ともに前年度と比較して減少しており、特に組合員の増加率の減少が目立つ。

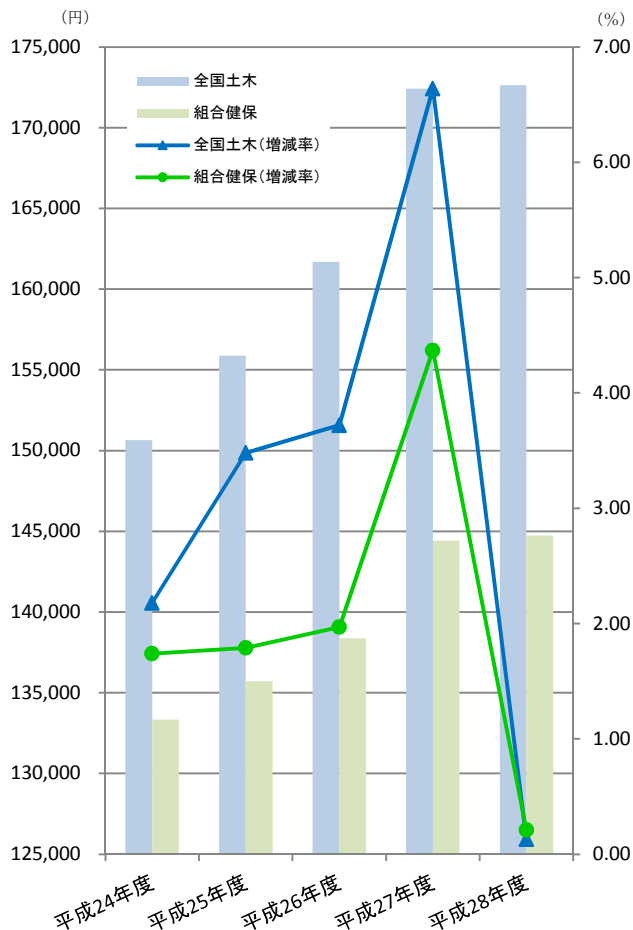
また、1人当たり医療費を組合健保と比較すると、組合員、家族ともに全国土木が高くなっており（組合員27,909円、家族10,870円）、特に組合員の差が大きくなっている。

(表-9) 1人当たり医療費

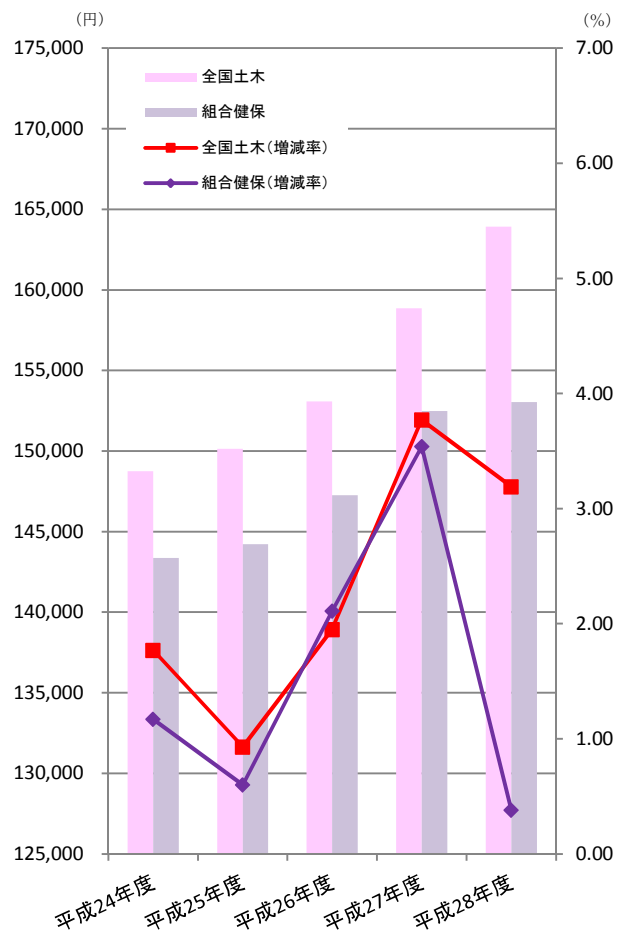
(円)

	全国土木						組合健保					
		組合員		家族			被保険者		被扶養者			
		対前年度増減率	対前年度増減率	対前年度増減率	対前年度増減率		対前年度増減率	対前年度増減率				
平成24年度	155,336	1.89	150,643	2.18	148,756	1.77	141,855	1.43	133,332	1.74	143,358	1.17
平成25年度	158,843	2.26	155,889	3.48	150,144	0.93	143,592	1.22	135,712	1.79	144,213	0.60
平成26年度	163,462	2.91	161,681	3.72	153,077	1.95	146,488	2.02	138,380	1.97	147,263	2.11
平成27年度	172,075	5.27	172,413	6.64	158,850	3.77	152,125	3.85	144,430	4.37	152,473	3.54
平成28年度	174,287	1.29	172,641	0.13	163,916	3.19	151,973	△ 0.10	144,732	0.21	153,046	0.38
組合健保との差(率)	22,314 (14.68%)	1.39 ^P	27,909 (19.28%)	△ 0.08 ^P	10,870 (7.10%)	2.81 ^P	出典：平成24年度～平成27年度 厚生労働省「健康保険事業状況報告」 平成28年度 厚生労働省「医療保険医療費データベース」					

(図-12) 1人当たり医療費（組合員）



(図-13) 1人当たり医療費（家族）



(4) 年齢階級別1人当たり医療費

平成27年度における年齢階級別1人当たり医療費は、0歳から4歳の乳幼児層及び50歳以降の中高齢層で高くなる傾向となっており、特に前期高齢者納付金に影響する前期高齢者の1人当たり医療費が高い。

なお、組合健保と比較すると年齢階級別では、45歳以上は全国土木が高く、1人当たり医療費が高い前期高齢者の加入者構成比が全国土木の方が大きいことから、全体の1人当たり医療費を押し上げ、全体では、全国土木(172,075円)が組合健保(152,125円)より19,950円(13.11%)高くなっている。

しかし、全国土木の1人当たり医療費を、本人割合、男女割合、年齢構成を組合健保と揃えて計算すると、152,814円となり、組合健保との差は689円、率にしてわずか0.45%に過ぎず、ほぼ同水準と考えられる。

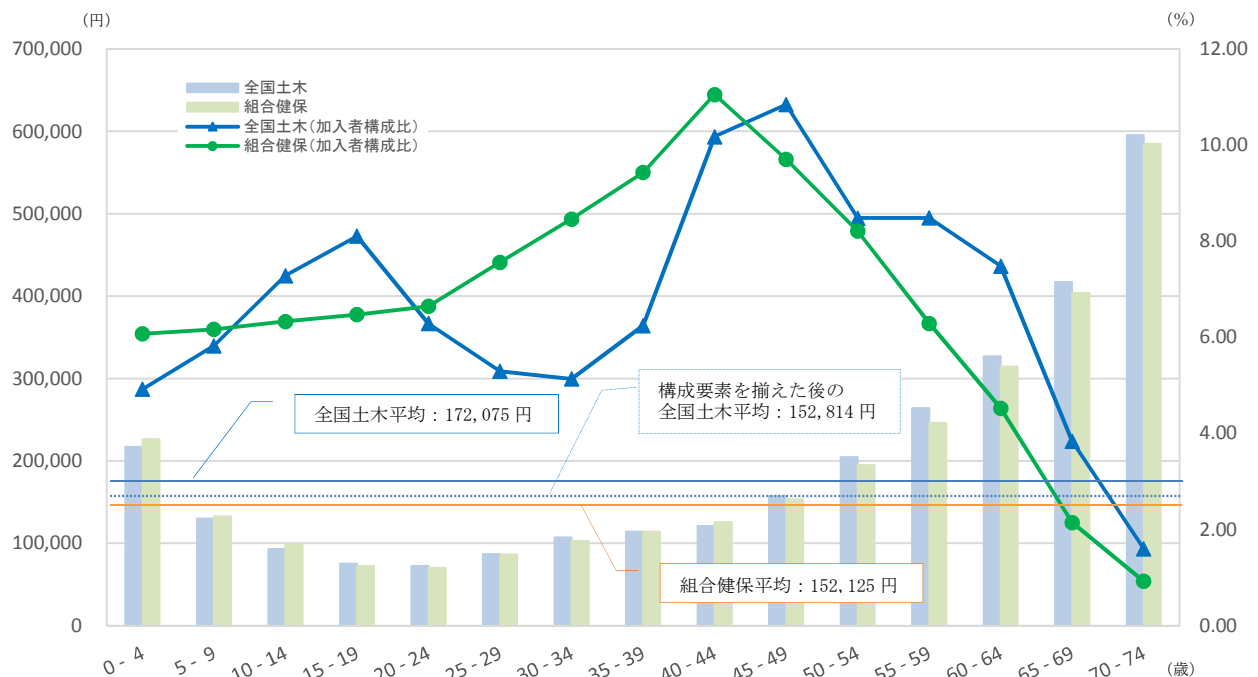
要因別には、年齢構成の違いによる影響が全体の9割以上を占め、特に「本人：男性」の年齢構成の違いによる影響が大きい。男女割合の影響は約6%、本人家族割合やこれら以外の要因がそれぞれ約3%の影響である。

(表-10) 年齢階級別1人当たり医療費(平成27年度)

年齢階級	1人当たり医療費			加入者構成比		
	全国土木 円	組合健保 円	組合健保との差(率) 円 (△%)	全国土木 %	組合健保 %	組合健保との差 P
0 - 4	217,184	226,219	△ 9,035 (△3.99%)	4.92	6.07	△ 1.15
5 - 9	130,003	132,703	△ 2,700 (△2.03%)	5.82	6.17	△ 0.35
10 - 14	93,181	97,986	△ 4,805 (△4.90%)	7.28	6.33	0.95
15 - 19	75,365	72,671	2,694 (3.71%)	8.11	6.47	1.64
20 - 24	72,376	70,252	2,124 (3.02%)	6.29	6.65	△ 0.36
25 - 29	87,025	86,556	469 (0.54%)	5.29	7.56	△ 2.27
30 - 34	107,246	102,895	4,351 (4.23%)	5.14	8.46	△ 3.32
35 - 39	114,178	114,256	△ 78 (△0.07%)	6.24	9.43	△ 3.19
40 - 44	121,104	125,669	△ 4,565 (△3.63%)	10.17	11.05	△ 0.88
45 - 49	157,044	153,451	3,593 (2.34%)	10.84	9.70	1.14
50 - 54	204,627	194,795	9,832 (5.05%)	8.48	8.21	0.27
55 - 59	264,081	246,341	17,740 (7.20%)	8.48	6.29	2.19
60 - 64	326,908	314,637	12,271 (3.90%)	7.48	4.52	2.96
65 - 69	417,334	403,997	13,337 (3.30%)	3.84	2.15	1.69
70 - 74	595,366	585,041	10,325 (1.76%)	1.60	0.93	0.67
全体	172,075	152,125	19,950 (13.11%)	100.00	100.00	-
全体	152,814	152,125	689 (0.45%)	本人割合、男女割合、年齢構成を組合健保と揃えた場合		

※「1人当たり医療費」は、基礎資料である年齢階級別医療費に訪問看護療養費が含まれていないことから、表-9「1人当たり医療費」に合わせるため金額を補正し、算出している。

(図-14) 年齢階級別1人当たり医療費

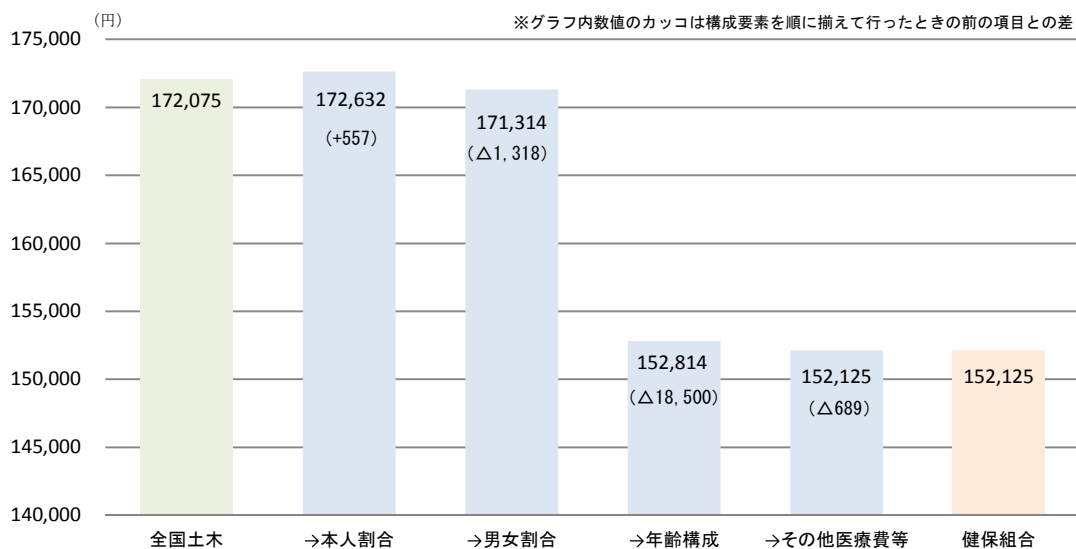


(参考) 健保組合の本人割合、男女割合、年齢構成と順に揃えていった場合の全国土木の1人当たり医療費

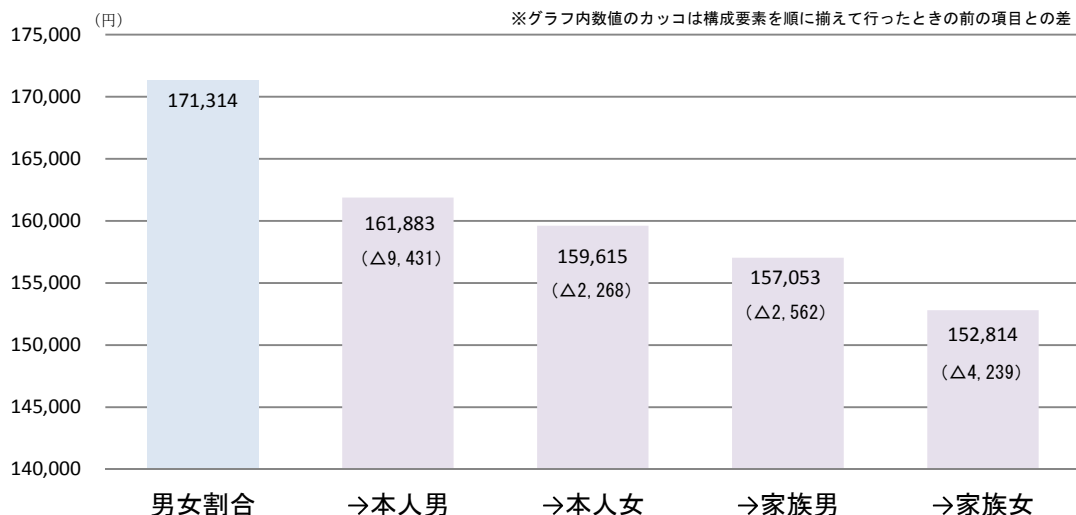
	全国土木	順次、健保組合と同じにすると				健保組合
		→本人割合	→男女割合	→年齢構成	→その他医療費等	
加入者一人当たり医療費(円)	172,075	172,632	171,314	152,814	152,125	152,125
差(円)		557	△1,318	△18,500	△689	△19,950
寄与率(%)		△2.79	6.61	92.73	3.45	100.00
寄与度(%)		△0.37	0.87	12.16	0.45	13.14

	年齢構成内訳			
	→本人男	→本人女	→家族男	→家族女
加入者一人当たり医療費(円)	161,883	159,615	157,053	152,814
差(円)	△9,431	△2,268	△2,562	△4,239
寄与率(%)	47.27	11.37	12.84	21.25
寄与度(%)	6.20	1.49	1.68	2.79

構成要素を揃えていったときのイメージ



年齢構成をそろえた時の内訳



(5) 診療区分別1人当たり医療費

平成28年度の診療区分別の1人当たり医療費の詳細については、後述（医科入院12ページ、医科入院外19ページ、歯科22ページ、調剤25ページ）のとおりであるが、各診療区分の1人当たり医療費を一覧にして平成24年度からの推移をみると、全体としては増加傾向であるものの、平成27年度から平成28年度の増加率はその前年に比べやや緩やかになっている。

調剤については、平成26年度から平成27年度は高額薬剤の保険適用の影響も含めた薬剤費全体の増加のため9.72%と大幅に増加したが、平成27年度から平成28年度は薬価のマイナス改定の影響を受け、一転して2.13%の減少となっている。

また、組合健保と比較すると、いずれの診療区分についても全国土木が高くなっている。

(表-11) 診療区分別1人当たり医療費

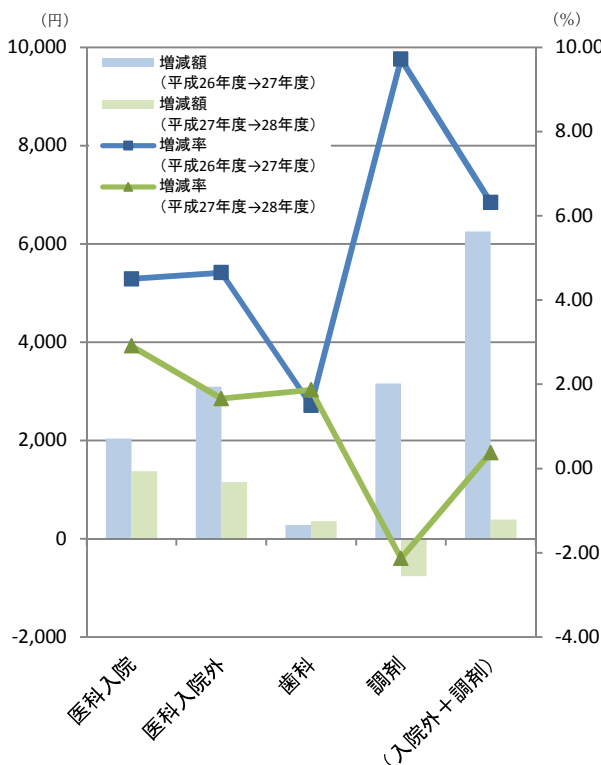
(円)

全国土木	医科入院	対前年度		医科入院外	対前年度		歯科	対前年度		調剤	対前年度		(医科入院外+調剤)		
		増減額	増減率		増減額	増減率		増減額	増減率		増減額	増減率	増減額	増減率	
															増減額
平成24年度	43,116	1,913	4.64	63,767	323	0.51	18,024	174	0.98	30,209	438	1.47	93,976	761	0.82
平成25年度	44,356	1,240	2.88	64,553	786	1.23	18,084	60	0.33	31,600	1,391	4.60	96,153	2,177	2.32
平成26年度	45,300	944	2.13	66,472	1,919	2.97	18,887	803	4.44	32,500	900	2.85	98,972	2,819	2.93
平成27年度	47,336	2,036	4.50	69,566	3,094	4.65	19,170	283	1.50	35,659	3,159	9.72	105,225	6,253	6.32
平成28年度	48,711	1,375	2.91	70,720	1,154	1.66	19,529	359	1.87	34,899	△760	△2.13	105,619	394	0.37

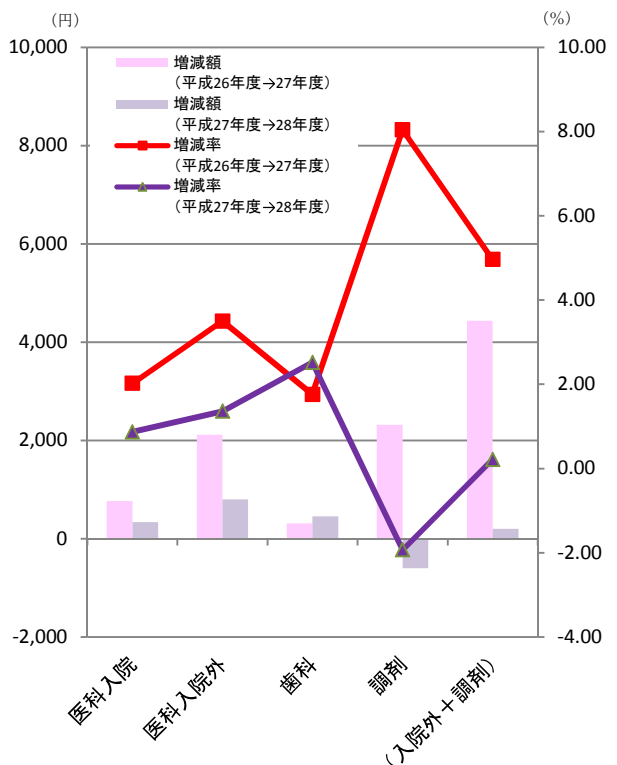
組合健保	医科入院	対前年度		医科入院外	対前年度		歯科	対前年度		調剤	対前年度		(医科入院外+調剤)		
		増減額	増減率		増減額	増減率		増減額	増減率		増減額	増減率	増減額	増減率	
															増減額
平成24年度	37,213	1,134	3.14	58,924	471	0.81	17,060	125	0.74	27,214	415	1.55	86,138	885	1.04
平成25年度	37,424	211	0.57	59,313	389	0.66	17,133	73	0.43	28,216	1,002	3.68	87,529	1,391	1.61
平成26年度	37,997	573	1.53	60,532	1,219	2.06	17,736	603	3.52	28,819	603	2.13	89,351	1,822	2.08
平成27年度	38,766	769	2.02	62,649	2,117	3.50	18,048	312	1.76	31,135	2,316	8.04	93,784	4,433	4.96
平成28年度	39,102	336	0.87	63,450	801	1.36	18,503	455	2.52	30,536	△599	△1.93	93,986	202	0.22

組合健保との差(率)	医科入院	対前年度		医科入院外	対前年度		歯科	対前年度		調剤	対前年度		(医科入院外+調剤)		
		増減額	増減率		増減額	増減率		増減額	増減率		増減額	増減率			
平成28年度	9,609 (24.57%)		2.04 P	7,270 (11.46%)		0.30 P	1,026 (5.55%)		△0.65 P	4,363 (14.29%)		△0.20 P	11,633 (12.38%)		0.16 P

(図-15) 診療区分別1人当たり医療費の対前年増減額と増減率（全国土木）



(図-16) 診療区分別1人当たり医療費の対前年増減額と増減率（組合健保）



(6) 医科入院

①入院1人当たり医療費

平成28年度における入院1人当たり医療費は48,711円であり、前年度と比較して2.91%増加している。このうち70歳未満の組合員は47,225円、家族は45,280円であり、前年度と比較して組合員は0.03%減少、家族は7.94%増加している。

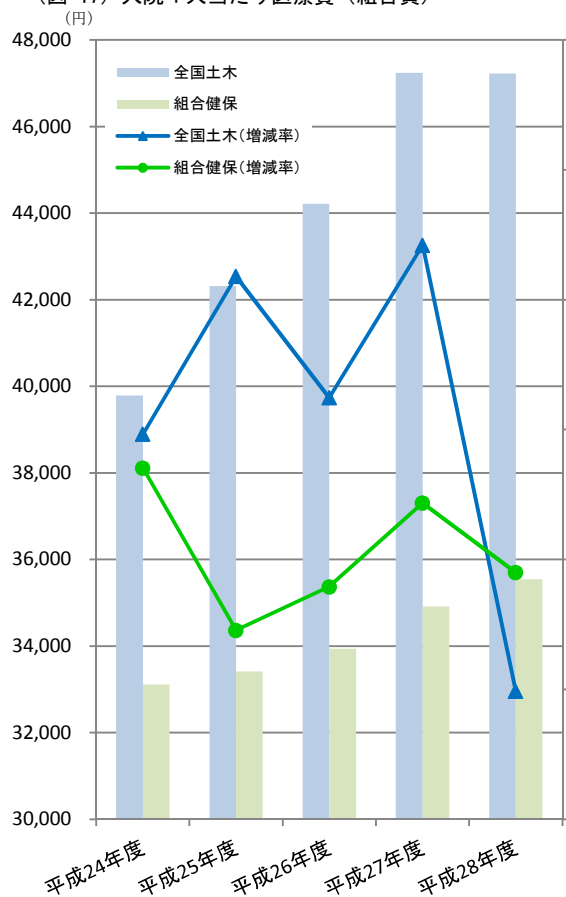
なお、平成24年度からの推移をみると、組合員は平成24年度から毎年増加していたが、平成28年度はやや減少した。家族は平成24年度に大きく増加した後ほぼ横ばいに推移していたが、平成28年度は大きく増加した。

また、入院1人当たり医療費を組合健保と比較すると、組合員、家族ともに全国土木が高くなっており（組合員11,685円、家族4,930円）、特に組合員の差が大きくなっているが、後述のとおり100人当たり新規入院件数及び推計平均在院日数が組合健保より高いことからこの差が表れたものと推察される。

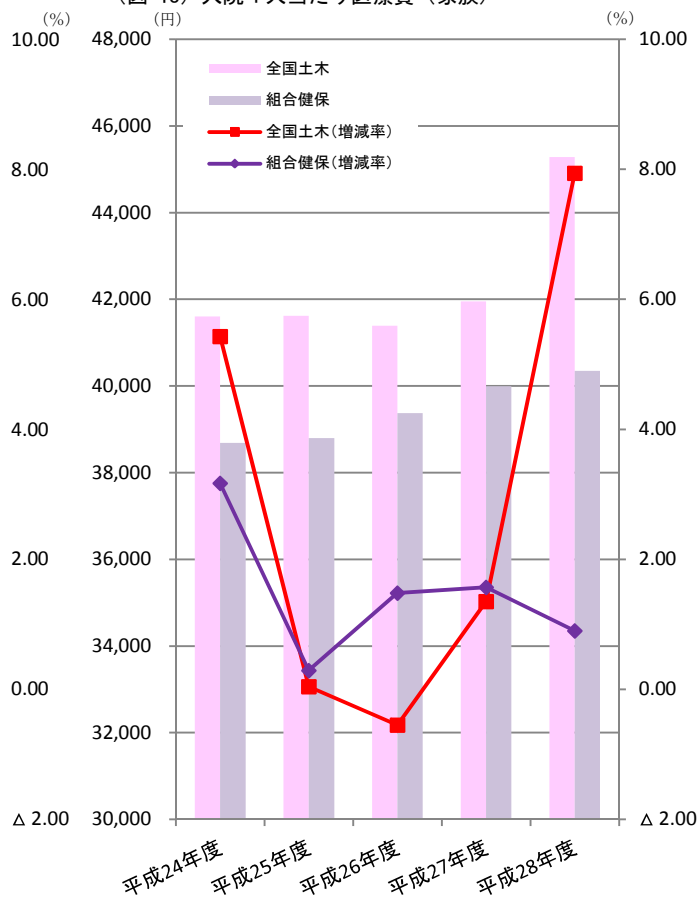
(表-12) 入院1人当たり医療費

	全国土木						組合健保					
	対前年度 増減率	組合員		家族		対前年度 増減率	被保険者		被扶養者			
		対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率		対前年度 増減率					
平成24年度	43,116	4.64	39,783	3.93	41,602	5.43	37,213	3.14	33,108	3.41	38,686	3.17
平成25年度	44,356	2.88	42,312	6.36	41,619	0.04	37,424	0.57	33,411	0.91	38,799	0.29
平成26年度	45,300	2.13	44,212	4.49	41,391	△0.55	37,997	1.53	33,940	1.58	39,374	1.48
平成27年度	47,336	4.50	47,238	6.84	41,949	1.35	38,766	2.02	34,913	2.87	39,992	1.57
平成28年度	48,711	2.91	47,225	△0.03	45,280	7.94	39,102	0.87	35,540	1.80	40,350	0.90
組合健保との 差(率)	9,609 (24.57%)	2.04 ^P	11,685 (32.88%)	△1.83 ^P	4,930 (12.22%)	7.04 ^P	出典：厚生労働省「医療保険医療費データベース」					

(図-17) 入院1人当たり医療費(組合員)



(図-18) 入院1人当たり医療費(家族)



②推計新規入院件数

平成28年度における推計新規入院件数は27,967件であり、前年度と比較して0.16%減少している。このうち70歳未満の組合員は12,115件、家族は14,498件であり、前年度と比較して組合員は1.63%増加、家族は0.62%減少している。

なお、平成24年度からの推移をみると、組合員は平成24年度から増加傾向であり、特に平成27年度は大きく増加した。家族は平成26年度まで減少傾向、平成27年度に増加に転じたものの、平成28年度は再び減少に転じた。

また、推計新規入院件数の動向を組合健保と比較すると、組合員、家族ともに被保険者、被扶養者と同様の傾向にある。

(表-13) 推計新規入院件数

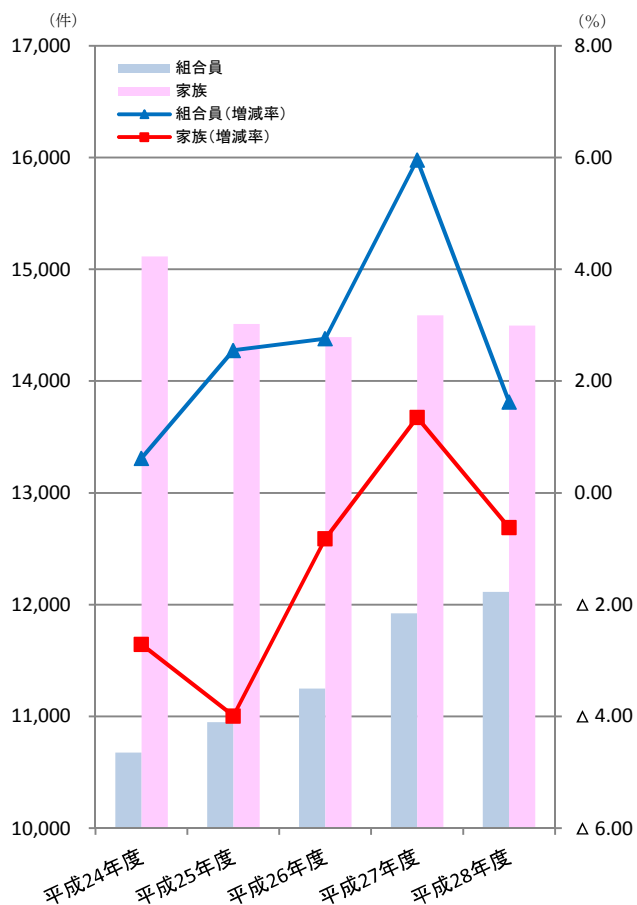
(件)

	全国土木						組合健保					
	対前年度 増減率	組合員		家族		対前年度 増減率	被保険者		被扶養者			
		対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率		対前年度 増減率	対前年度 増減率				
平成24年度	△ 1.39	10,676	0.62	15,115	△ 2.71	1,711,121	△ 0.09	774,774	0.87	882,277	△ 0.96	
平成25年度	△ 1.25	10,948	2.55	14,512	△ 3.99	1,702,219	△ 0.52	782,703	1.02	864,979	△ 1.96	
平成26年度	1.20	11,250	2.76	14,393	△ 0.82	1,714,726	0.73	796,546	1.77	861,726	△ 0.38	
平成27年度	3.72	11,921	5.96	14,588	1.35	1,750,570	2.09	825,309	3.61	869,569	0.91	
平成28年度	△ 0.16	12,115	1.63	14,498	△ 0.62	1,753,298	0.16	846,810	2.61	854,659	△ 1.71	

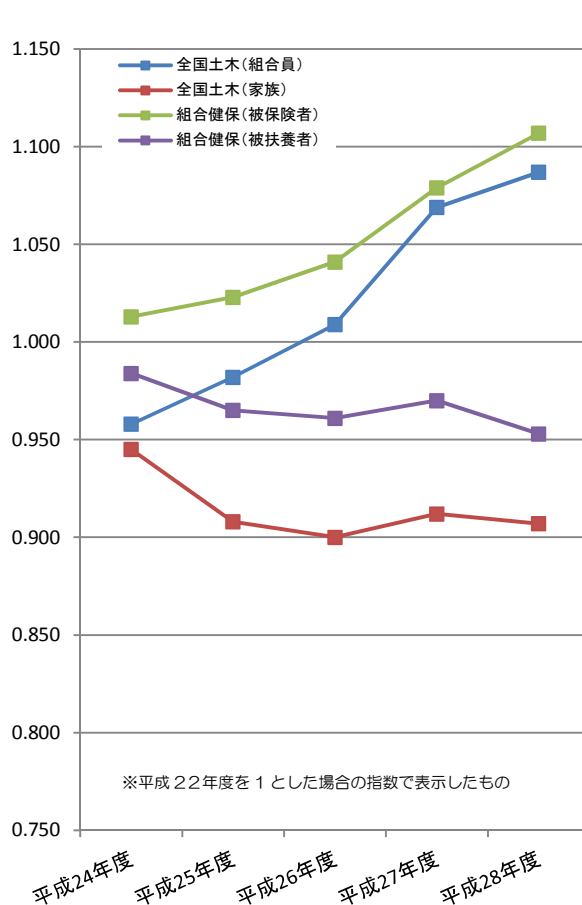
※推計新規入院件数は、医科入院受診延日数を推計平均在院日数で除して得た値である。

出典：厚生労働省「医療保険医療費データベース」

(図-19) 推計新規入院件数（全国土木）



(図-20) 推計新規入院件数の動向



③100人当たり新規入院件数

平成28年度における100人当たり新規入院件数は6.78件であり、前年度と比較して0.59%増加している。このうち70歳未満の組合員は6.55件、家族は6.56件であり、前年度と比較して組合員は0.46%、家族は1.71%それぞれ増加している。

なお、平成24年度からの推移をみると、組合員、家族ともに増加傾向（家族のみ平成25年度は減少）であるが、平成28年度の増加率は、平成27年度と比較して組合員、家族のいずれも減少している。

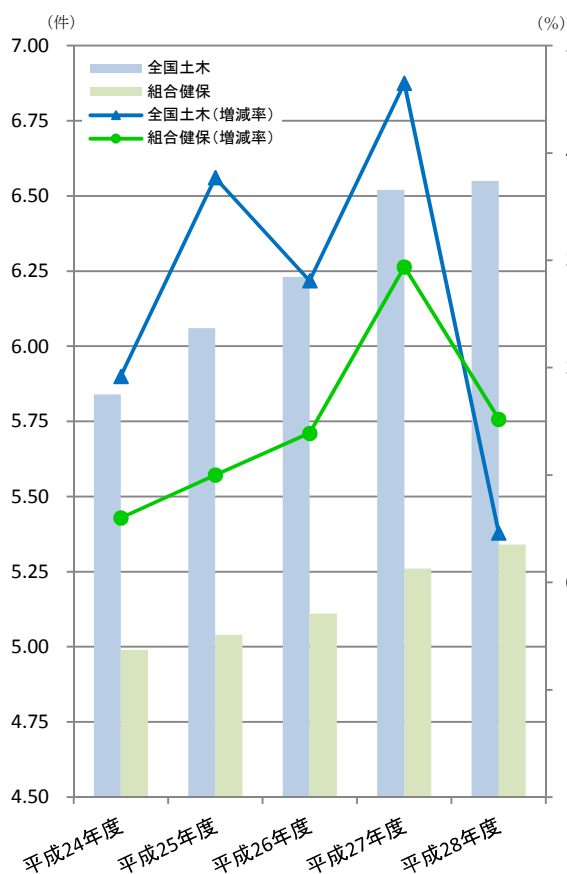
また、100人当たり新規入院件数を組合健保と比較すると、組合員は全国土木が高くなっており（1.21件）、家族は全国土木が低くなっているが（△0.04件）、家族については全国土木が組合健保を上回るペースで増加しており（増減率の差1.86P）、組合健保との差は小さくなっている。

（表-14）100人当たり新規入院件数

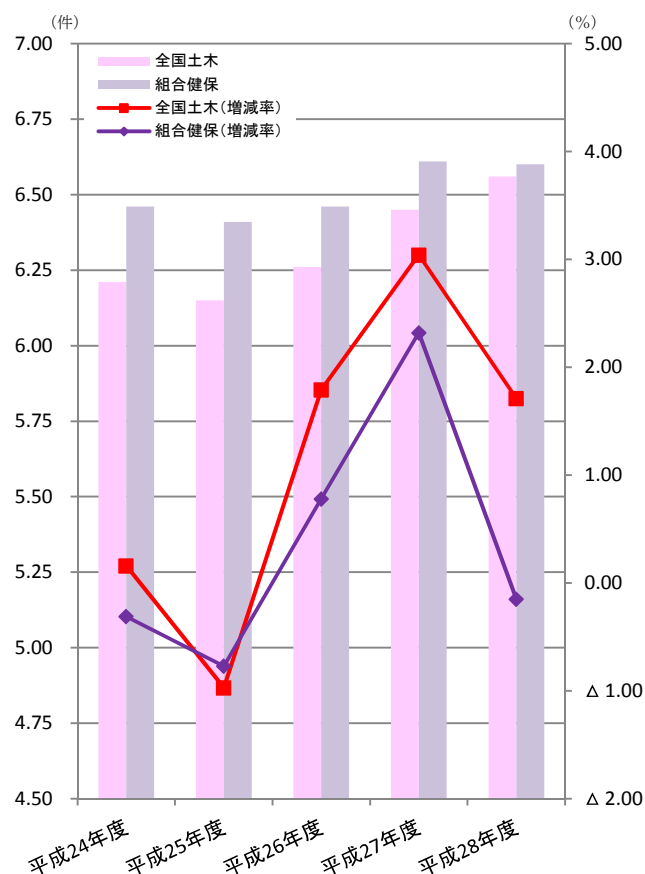
	全国土木						組合健保					
		組合員		家族			被保険者		被扶養者			
		対前年度増減率	対前年度増減率	対前年度増減率	対前年度増減率		対前年度増減率	対前年度増減率	対前年度増減率			
平成24年度	6.25	0.64	5.84	1.92	6.21	0.16	5.81	0.17	4.99	0.60	6.46	△ 0.31
平成25年度	6.31	0.96	6.06	3.77	6.15	△ 0.97	5.81	0.00	5.04	1.00	6.41	△ 0.77
平成26年度	6.48	2.69	6.23	2.81	6.26	1.79	5.87	1.03	5.11	1.39	6.46	0.78
平成27年度	6.74	4.01	6.52	4.65	6.45	3.04	6.01	2.39	5.26	2.94	6.61	2.32
平成28年度	6.78	0.59	6.55	0.46	6.56	1.71	6.03	0.33	5.34	1.52	6.60	△ 0.15
組合健保との差(率)	0.75 (12.44%)	0.26 ^P	1.21 (22.66%)	△ 1.06 ^P	△ 0.04 (△0.61%)	1.86 ^P	出典：厚生労働省「医療保険医療費データベース」					

※100人当たり新規入院件数は、推計新規入院件数を加入者100人当たりで除して得た値である。

（図-21）100人当たり新規入院件数（組合員）



（図-22）100人当たり新規入院件数（家族）



④推計平均在院日数

平成28年度における推計平均在院日数は13.3日であり、前年度と比較して1.19%減少している。このうち70歳未満の組合員は11.4日、家族は14.1日であり、前年度と比較して組合員は2.73%、家族は0.21%それぞれ減少している。

なお、平成24年度からの推移をみると、組合員、家族ともに減少傾向となっている。

また、推計平均在院日数を組合健保と比較すると、組合員、家族ともに全国土木の方が高くなっており（組合員0.4日、家族2.0日）、特に家族の差は大きい。

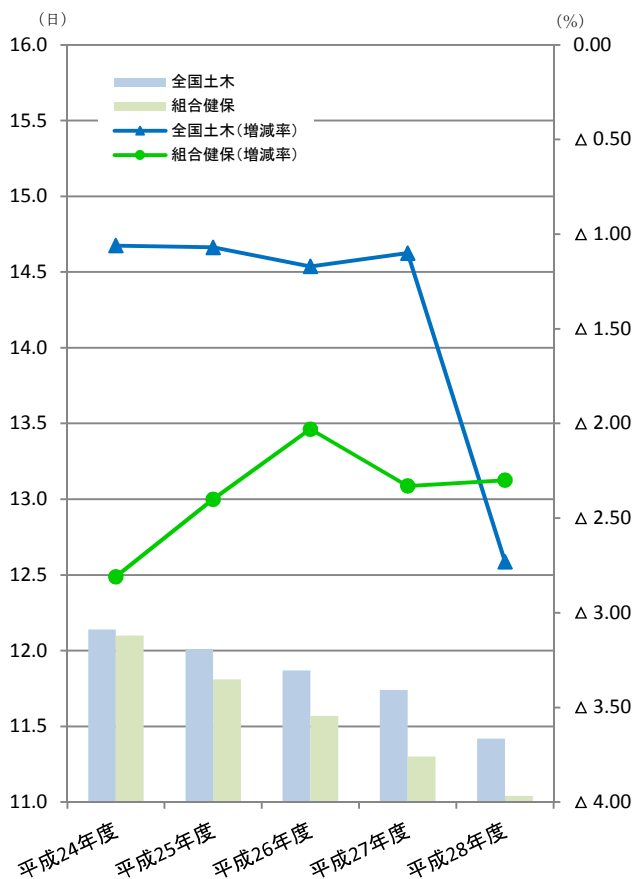
(表-15) 推計平均在院日数

	全国土木						組合健保					
	対前年度 増減率	組合員		家族		対前年度 増減率	被保険者		被扶養者			
		対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率		対前年度 増減率	対前年度 増減率				
平成24年度	14.2	△ 2.01	12.1	△ 1.06	15.0	△ 1.77	12.9	△ 2.05	12.1	△ 2.81	13.0	△ 1.29
平成25年度	14.0	△ 0.85	12.0	△ 1.07	14.9	△ 0.73	12.6	△ 1.94	11.8	△ 2.40	12.8	△ 1.16
平成26年度	13.7	△ 2.78	11.9	△ 1.17	14.4	△ 3.36	12.4	△ 1.90	11.6	△ 2.03	12.6	△ 1.64
平成27年度	13.5	△ 1.32	11.7	△ 1.10	14.2	△ 1.32	12.1	△ 2.66	11.3	△ 2.33	12.3	△ 2.61
平成28年度	13.3	△ 1.19	11.4	△ 2.73	14.1	△ 0.21	11.8	△ 1.99	11.0	△ 2.30	12.1	△ 1.30
組合健保との 差(率)	1.5 (12.51%)	0.80	0.4 (3.44%)	△ 0.43	2.0 (16.57%)	1.09						

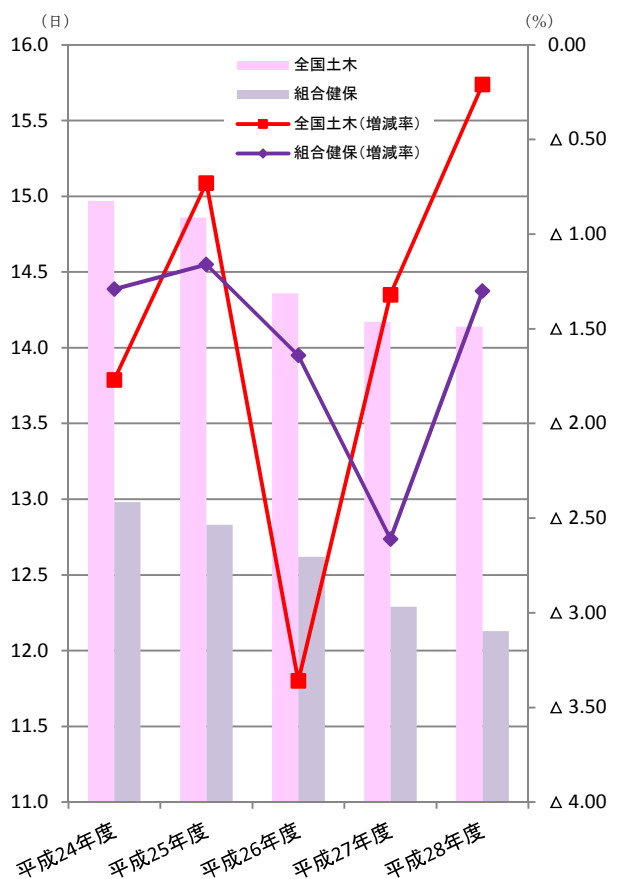
出典：厚生労働省「医療保険医療費データベース」

※推計平均在院日数は医科入院1件当たり日数から次の式で推計した値である。 推計平均在院日数=1件当たり日数×(365-12) / (365-1件当たり日数×12)
(平成27年度については、1件当たり日数×(366-12) / (366-1件当たり日数×12))

(図-23) 推計平均在院日数(組合員)



(図-24) 推計平均在院日数(家族)



⑤入院1日当たり医療費

平成28年度における入院1日当たり医療費は53,963円であり、前年度と比較して3.53%増加している。このうち70歳未満の組合員は63,147円、家族は48,788円であり、前年度と比較して組合員は2.33%、家族は6.34%増加している。

なお、平成24年度からの推移をみると、組合員は増加傾向にあり、家族は増加傾向であったものが平成27年度に一旦減少に転じたものの、平成28年度は再び大きく増加した。

また、入院1日当たり医療費を組合健保と比較すると、組合員は全国土木が高くなっており(2,847円)、家族は全国土木が低くなっている(△1,585円)。

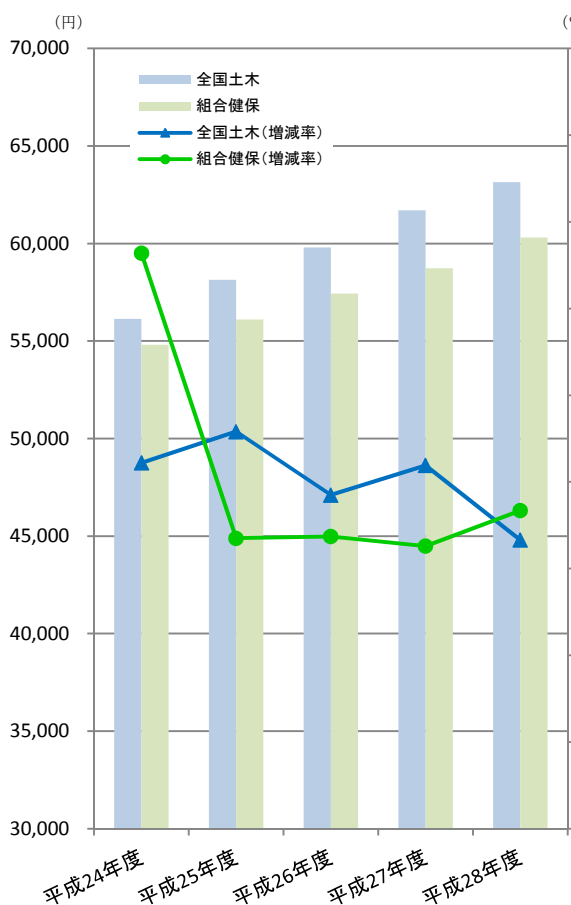
(表-16) 入院1日当たり医療費

	全国土木						組合健保					
		組合員		家族			被保険者		被扶養者			
		対前年度増減率		対前年度増減率			対前年度増減率		対前年度増減率			
平成24年度	48,706	6.07	56,134	3.22	44,771	7.30	49,700	5.18	54,815	5.64	46,103	4.81
平成25年度	50,043	2.74	58,144	3.58	45,534	1.70	50,949	2.51	56,106	2.35	47,164	2.30
平成26年度	51,236	2.39	59,801	2.85	46,046	1.12	52,222	2.50	57,436	2.37	48,309	2.43
平成27年度	52,122	1.73	61,710	3.19	45,881	△0.36	53,423	2.30	58,732	2.26	49,223	1.89
平成28年度	53,963	3.53	63,147	2.33	48,788	6.34	54,835	2.64	60,300	2.67	50,373	2.34
組合健保との差(率)	△872 (△1.59%)	0.89 ^P	2,847 (4.72%)	△0.34 ^P	△1,585 (△3.15%)	4.00 ^P						

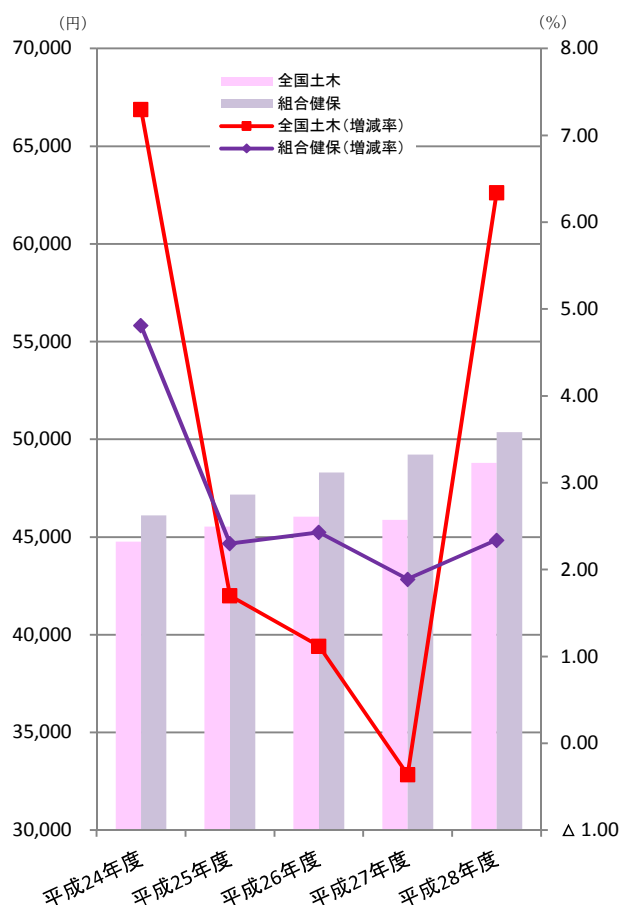
(円)

出典：厚生労働省「医療保険医療費データベース」

(図-25) 入院1日当たり医療費(組合員)



(図-26) 入院1日当たり医療費(家族)



⑥推計 1 入院当たり医療費

平成 28 年度における推計 1 入院当たり医療費は 718,150 円であり、前年度と比較して 2.31%増加している。このうち 70 歳未満の組合員は 721,048 円、家族は 689,982 円であり、前年度と比較して組合員は 0.45%減少、家族は 6.14%増加している。

なお、平成 24 年度からの推移をみると、組合員は増加傾向であったが、平成 28 年度は減少に転じた。家族は平成 25 年度まで増加傾向であり、平成 26 年度に減少に転じたが、平成 28 年度は再び増加に転じた。

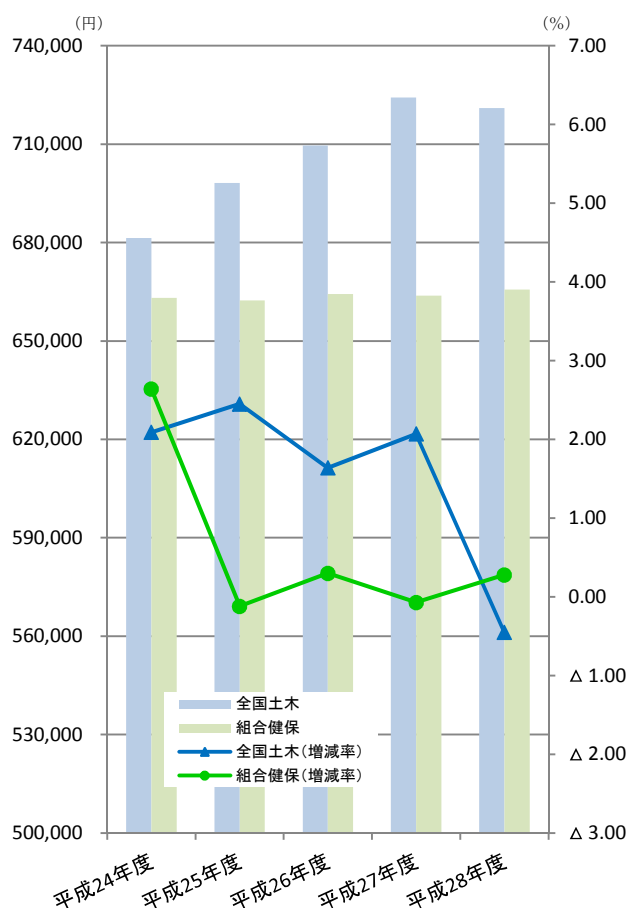
また、推計 1 入院当たり医療費を組合健保と比較すると、組合員、家族ともに全国土木が高くなっており（組合員 55,338 円、家族 78,851 円）、特に家族の差が大きくなっている。これは、推計 1 入院当たり医療費は推計平均在院日数に入院 1 日当たり医療費を乗じたものであり、推計平均在院日数が組合健保より高いことによる。

(表-17) 推計 1 入院当たり医療費

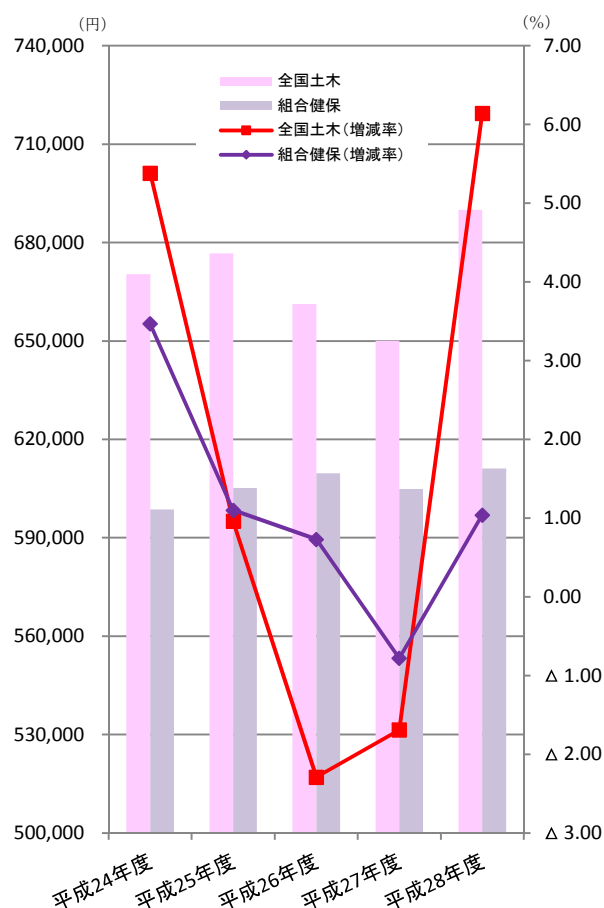
	全 国 土 木						組 合 健 保					
			組 合 員		家 族				被 保 険 者		被 扶 養 者	
	対前年度 増減率		対前年度 増減率		対前年度 増減率		対前年度 増減率		対前年度 増減率		対前年度 増減率	
平成24年度	689,775	3.96	681,437	2.09	670,318	5.38	640,454	3.00	663,150	2.64	598,619	3.47
平成25年度	702,653	1.87	698,158	2.45	676,733	0.96	643,931	0.54	662,343	△ 0.12	605,187	1.10
平成26年度	699,390	△ 0.46	709,583	1.64	661,267	△ 2.29	647,579	0.57	664,321	0.30	609,614	0.73
平成27年度	701,914	0.36	724,272	2.07	650,082	△ 1.69	644,939	△ 0.41	663,854	△ 0.07	604,840	△ 0.78
平成28年度	718,150	2.31	721,048	△ 0.45	689,982	6.14	648,550	0.56	665,710	0.28	611,131	1.04
組合健保との 差(率)	69,600 (10.73%)	1.75	55,338 (8.31%)	△ 0.73	78,851 (12.90%)	5.10	出典：厚生労働省「医療保険医療費データベース」					

※推計 1 入院当たり医療費は、推計平均在院日数に入院 1 日当たり医療費を乗じて得た値である。

(図-27) 推計 1 入院当たり医療費（組合員）



(図-28) 推計 1 入院当たり医療費（家族）



⑦入院1人当たり日数

平成28年度における入院1人当たり日数は0.90日であり、前年度と比較して0.61%減少している。このうち70歳未満の組合員は0.75日、家族は0.93日であり、前年度と比較して組合員は2.30%減少、家族は1.51%増加している。

なお、平成24年度からの推移をみると、組合員は増加傾向であったが平成28年度に減少に転じている。また、家族は平成26年度までは減少していたが、平成27年度に増加に転じ、平成28年度も増加した。

また、入院1人当たり日数を組合健保と比較すると、組合員、家族ともに全国土木が高くなっており（組合員0.16日、家族0.13日）、特に組合員の差が大きくなっている。

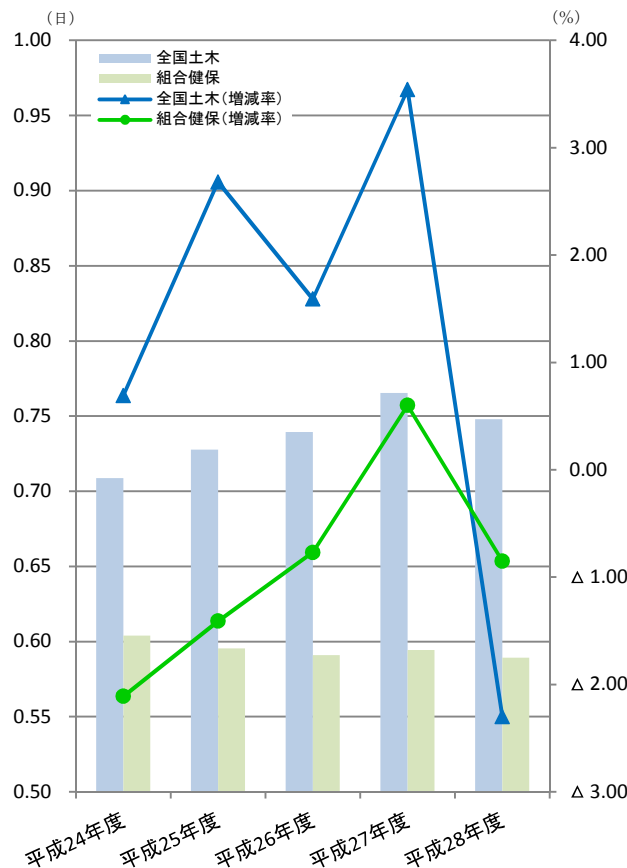
(表-18) 入院1人当たり日数

	全国土木						組合健保					
	対前年度 増減率	組合員		家族		対前年度 増減率	被保険者		被扶養者			
		対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率		対前年度 増減率	対前年度 増減率				
平成24年度	0.89	△ 1.35	0.71	0.69	0.93	△ 1.74	0.75	△ 1.93	0.60	△ 2.11	0.84	△ 1.56
平成25年度	0.89	0.13	0.73	2.68	0.91	△ 1.63	0.73	△ 1.90	0.60	△ 1.41	0.82	△ 1.96
平成26年度	0.88	△ 0.25	0.74	1.59	0.90	△ 1.65	0.73	△ 0.94	0.59	△ 0.77	0.82	△ 0.92
平成27年度	0.91	2.72	0.77	3.54	0.91	1.71	0.73	△ 0.27	0.59	0.60	0.81	△ 0.32
平成28年度	0.90	△ 0.61	0.75	△ 2.30	0.93	1.51	0.71	△ 1.73	0.59	△ 0.85	0.80	△ 1.41
組合健保との 差(率)	0.19 (26.59%)	1.12	0.16 (26.89%)	△ 1.45	0.13 (15.86%)	2.92						

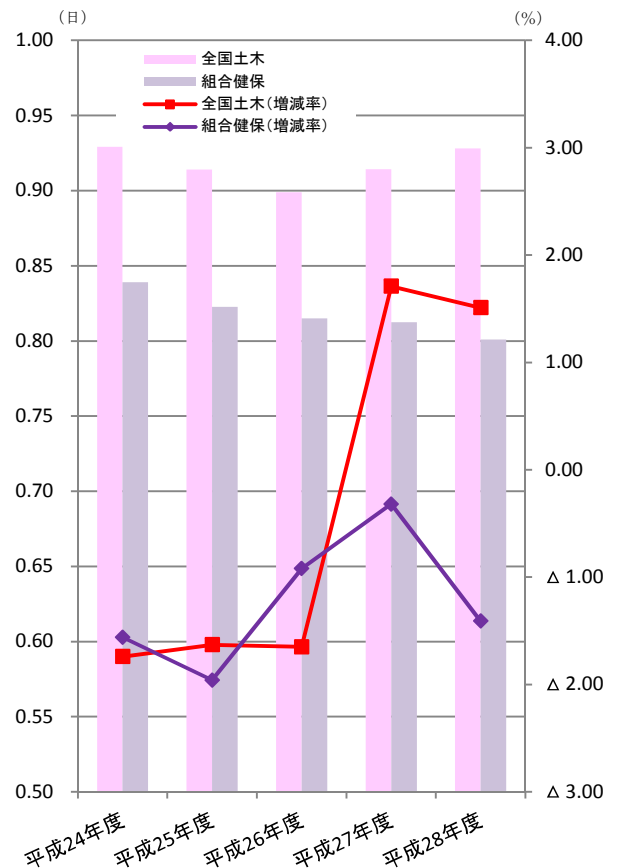
(日) 出典：厚生労働省「医療保険医療費データベース」

※入院1人当たり日数は、1人当たり新規入院件数に推計平均在院日数を乗じて得た値である。

(図-29) 入院1人当たり日数(組合員)



(図-30) 入院1人当たり日数(家族)



(7) 医科入院外

①入院外1人当たり医療費

平成28年度における入院外1人当たり医療費は70,720円であり、前年度と比較して1.66%増加している。このうち70歳未満の組合員は69,575円、家族は67,434円であり、前年度と比較して組合員は1.57%、家族は2.11%それぞれ増加している。

なお、平成24年度からの推移をみると、組合員は増加傾向であり、家族は平成24年度に減少したものの平成25年度から増加傾向にある。

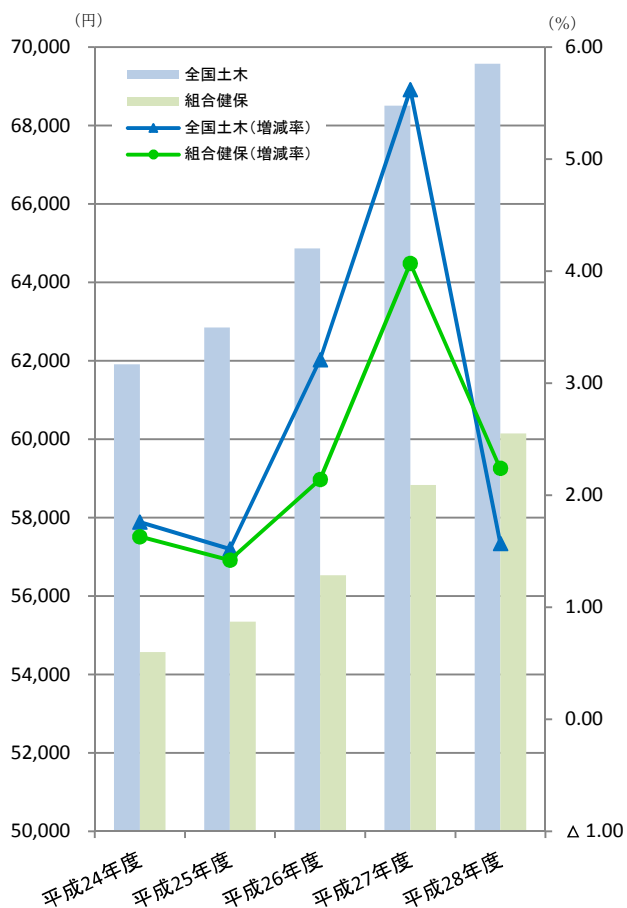
また、入院外1人当たり医療費を組合健保と比較すると、組合員、家族ともに全国土木が高く（組合員9,429円、家族2,589円）、特に組合員の差が大きくなっている。

(表-19) 入院外1人当たり医療費

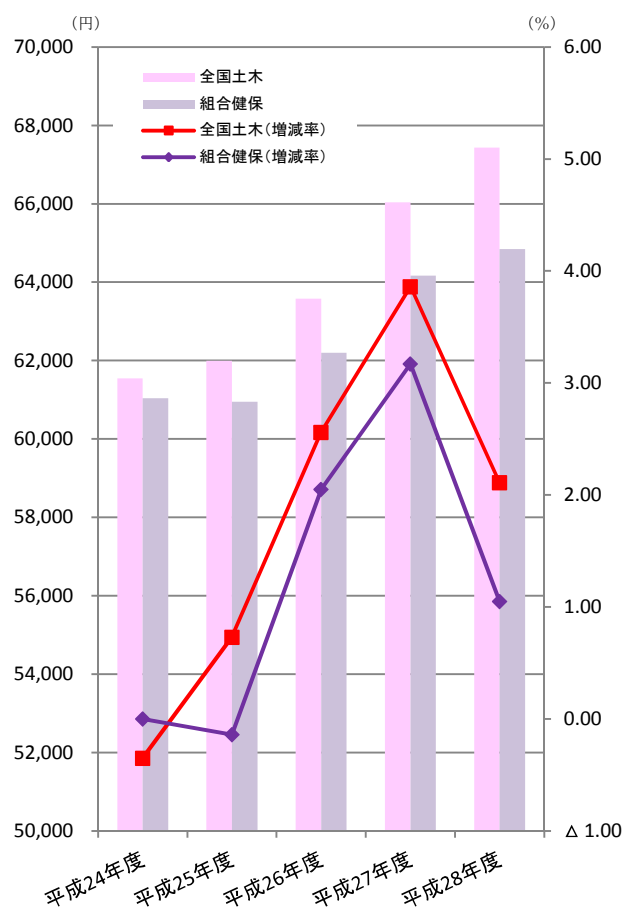
	全国土木						組合健保					
		組合員		家族			被保険者		被扶養者			
		対前年度増減率	対前年度増減率	対前年度増減率	対前年度増減率		対前年度増減率	対前年度増減率	対前年度増減率			
平成24年度	63,767	0.51	61,904	1.76	61,544	△ 0.35	58,924	0.81	54,567	1.63	61,036	0.00
平成25年度	64,553	1.23	62,843	1.52	61,994	0.73	59,313	0.66	55,342	1.42	60,950	△ 0.14
平成26年度	66,472	2.97	64,859	3.21	63,581	2.56	60,532	2.06	56,528	2.14	62,196	2.05
平成27年度	69,566	4.65	68,502	5.62	66,038	3.86	62,649	3.50	58,827	4.07	64,169	3.17
平成28年度	70,720	1.66	69,575	1.57	67,434	2.11	63,500	1.36	60,146	2.24	64,845	1.05
組合健保との差(率)	7,220 (11.37%)	0.30	9,429 (15.68%)	△ 0.67	2,589 (3.99%)	1.06						

出典：厚生労働省「医療保険医療費データベース」

(図-31) 入院外1人当たり医療費（組合員）



(図-32) 入院外1人当たり医療費（家族）



②入院外1人当たり日数

平成28年度における入院外1人当たり日数は8.96日であり、前年度と比較して0.08%減少している。このうち70歳未満の組合員は7.53日、家族は9.76日であり、前年度と比較して組合員は0.38%、家族は0.30%それぞれ増加している。

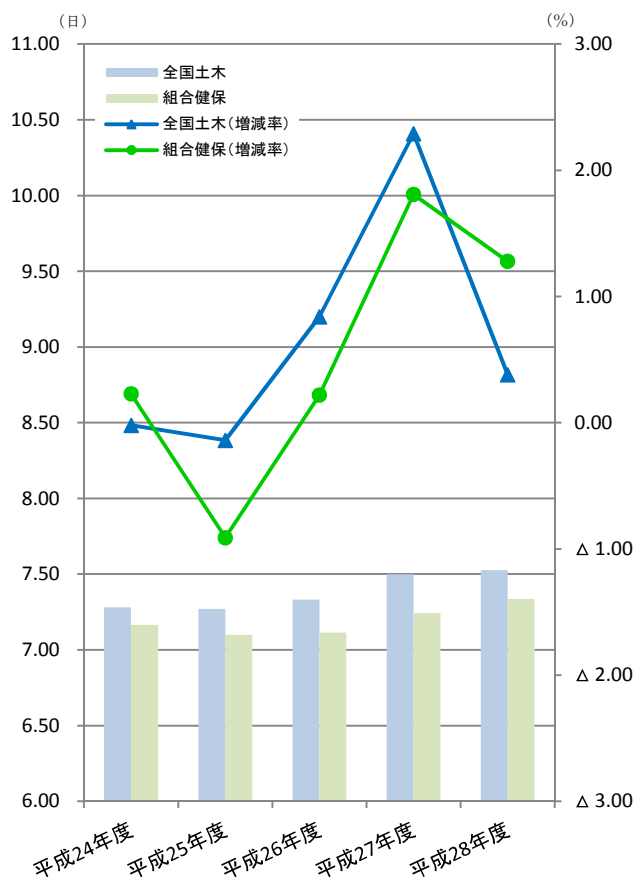
なお、平成24年度からの推移をみると、組合員、家族ともに平成25年度までは減少傾向であったが、平成26年度からは増加傾向にある。

また、入院外1人当たり日数を組合健保と比較すると、組合員は全国土木が高くなっており(0.19日)、家族は全国土木が低くなっている(△0.22日)。

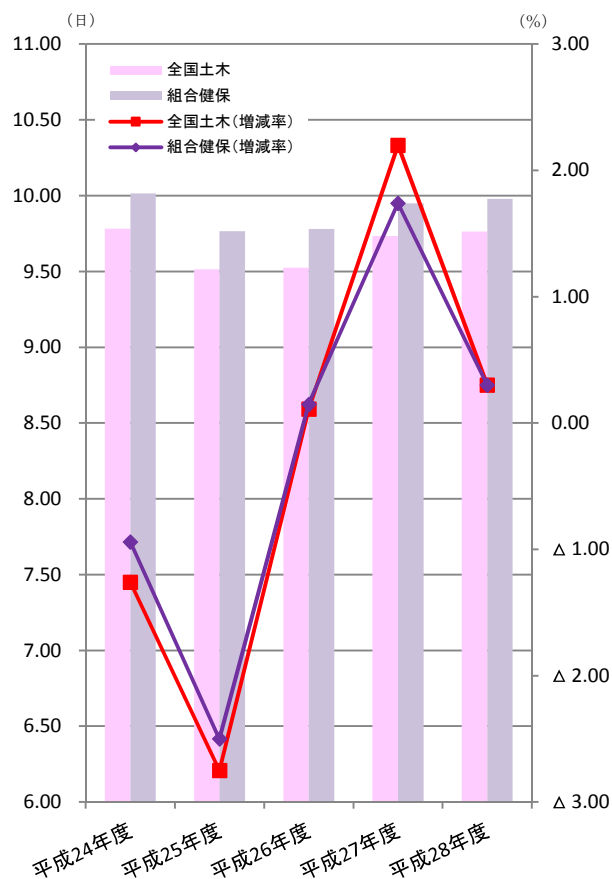
(表-20) 入院外1人当たり日数

	全国土木						組合健保							
		対前年度増減率		組合員		家族			対前年度増減率		被保険者		被扶養者	
平成24年度	8.94	△ 0.99	7.28	△ 0.02	9.78	△ 1.26	8.65	△ 0.51	7.16	0.23	10.02	△ 0.94		
平成25年度	8.78	△ 1.81	7.27	△ 0.14	9.51	△ 2.75	8.49	△ 1.87	7.10	△ 0.91	9.77	△ 2.50		
平成26年度	8.80	0.26	7.33	0.84	9.52	0.11	8.49	0.04	7.11	0.22	9.78	0.15		
平成27年度	8.97	1.87	7.50	2.29	9.73	2.20	8.61	1.46	7.24	1.81	9.95	1.74		
平成28年度	8.96	△ 0.08	7.53	0.38	9.76	0.30	8.64	0.31	7.34	1.28	9.98	0.30		
組合健保との差(率)	0.32 (3.72%)	△ 0.39 ^P	0.19 (2.62%)	△ 0.90 ^P	△ 0.22 (△2.16%)	0.00 ^P	出典：厚生労働省「医療保険医療費データベース」							

(図-33) 入院外1人当たり日数(組合員)



(図-34) 入院外1人当たり日数(家族)



③入院外1日当たり医療費

平成28年度における入院外1日当たり医療費は7,892円であり、前年度と比較して1.74%増加している。このうち70歳未満の組合員は9,243円、家族は6,907円であり、前年度と比較して組合員は1.18%、家族は1.81%それぞれ増加している。

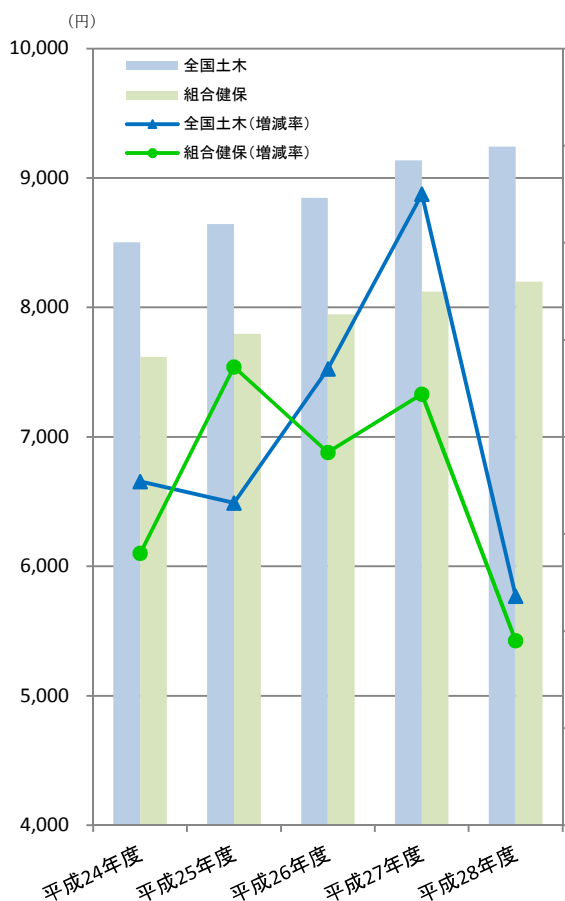
なお、平成24年度からの推移をみると、組合員、家族ともに増加傾向となっている。

また、入院外1日当たり医療費を組合健保と比較すると、組合員、家族ともに全国土木が高く（組合員1,043円、家族409円）、特に組合員の差が大きくなっている。

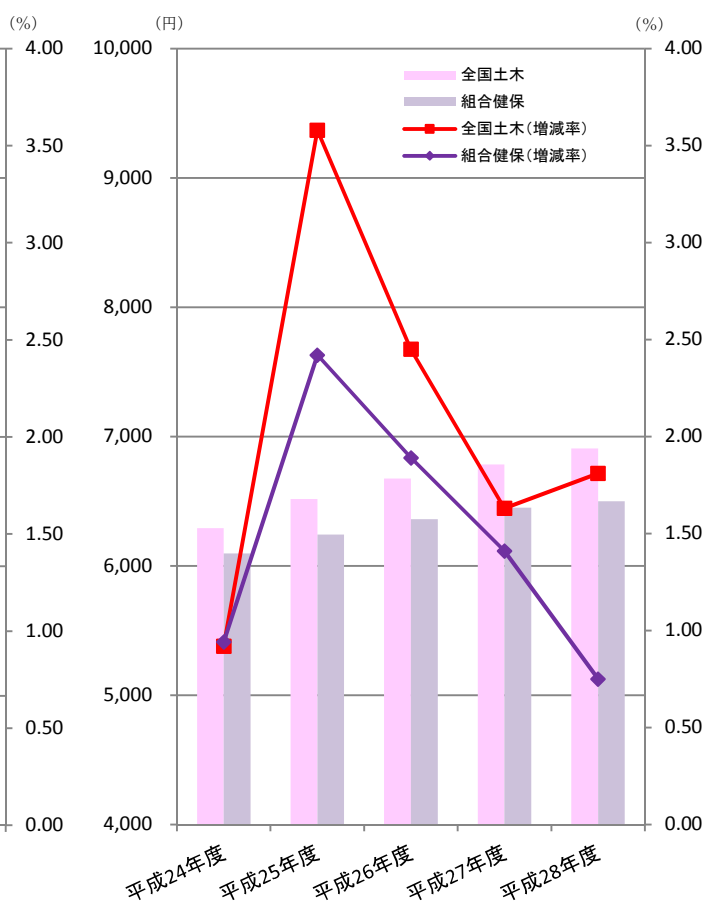
(表-21) 入院外1日当たり医療費

	全国土木						組合健保					
		組合員		家族			被保険者		被扶養者			
		対前年度増減率	対前年度増減率	対前年度増減率	対前年度増減率		対前年度増減率	対前年度増減率	対前年度増減率			
平成24年度	7,131	1.52	8,503	1.77	6,291	0.92	6,814	1.32	7,617	1.40	6,094	0.94
平成25年度	7,352	3.09	8,644	1.66	6,516	3.58	6,989	2.58	7,796	2.36	6,242	2.42
平成26年度	7,551	2.71	8,847	2.35	6,676	2.45	7,130	2.02	7,946	1.92	6,359	1.89
平成27年度	7,757	2.73	9,135	3.25	6,785	1.63	7,274	2.01	8,122	2.22	6,449	1.41
平成28年度	7,892	1.74	9,243	1.18	6,907	1.81	7,349	1.04	8,200	0.95	6,498	0.75
組合健保との差(率)	543 (7.39%)	0.70 ^P	1,043 (12.72%)	0.23 ^P	409 (6.29%)	1.06 ^P	出典：厚生労働省「医療保険医療費データベース」					

(図-35) 入院外1日当たり医療費(組合員)



(図-36) 入院外1日当たり医療費(家族)



(8) 歯科

① 歯科 1 人当たり医療費

平成 28 年度における歯科 1 人当たり医療費は 19,529 円であり、前年度と比較して 1.87%増加している。このうち 70 歳未満の組合員は 20,124 円、家族は 18,581 円であり、前年度と比較して組合員は 0.26%、家族は 3.42%それぞれ増加している。

なお、平成 24 年度からの推移をみると、組合員、家族ともに増加傾向（組合員は平成 25 年度のみ減少）である。

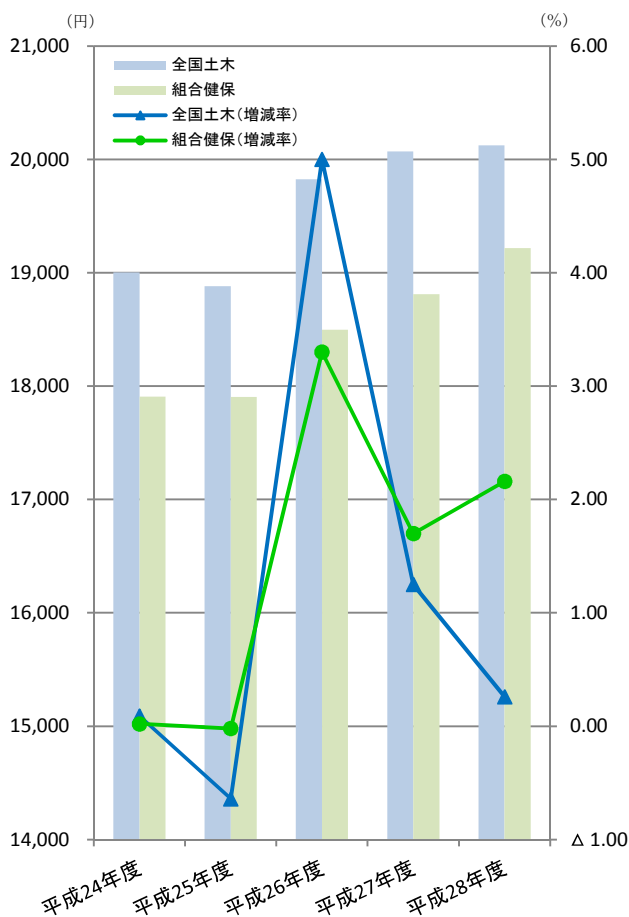
また、歯科 1 人当たり医療費を組合健保と比較すると、組合員、家族ともに全国土木が高くなっている（組合員 908 円、家族 1,295 円）。

(表-22) 歯科 1 人当たり医療費

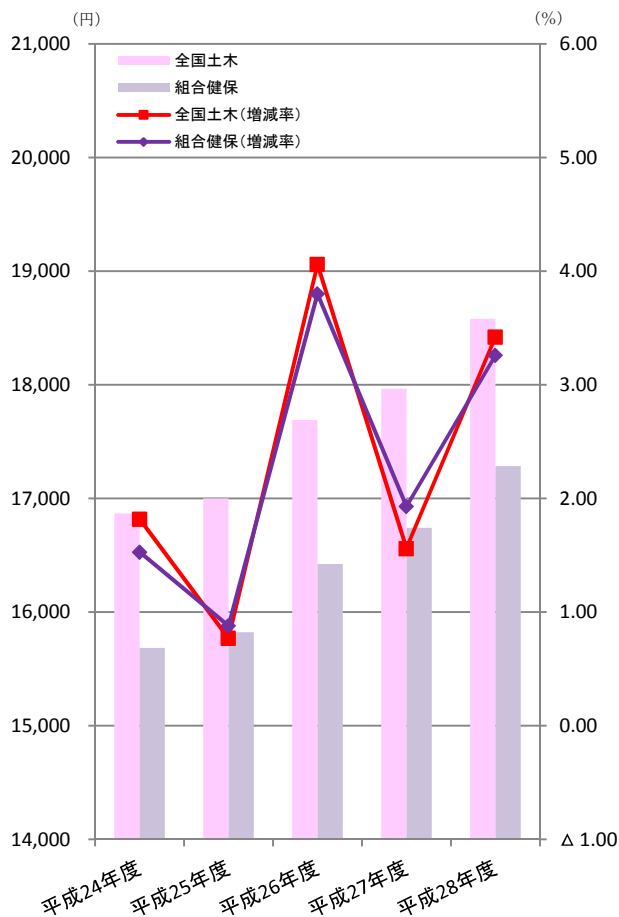
	全 国 土 木						組 合 健 保					
		組 合 員		家 族			被 保 険 者		被 扶 養 者			
		対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率		対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率			
平成24年度	18,024	0.98	19,003	0.09	16,869	1.82	17,060	0.74	17,908	0.02	15,685	1.53
平成25年度	18,084	0.33	18,881	△ 0.64	17,000	0.77	17,133	0.43	17,905	△ 0.02	15,823	0.88
平成26年度	18,887	4.44	19,824	5.00	17,691	4.06	17,736	3.52	18,496	3.30	16,424	3.80
平成27年度	19,170	1.50	20,071	1.25	17,966	1.56	18,048	1.76	18,810	1.70	16,740	1.93
平成28年度	19,529	1.87	20,124	0.26	18,581	3.42	18,503	2.52	19,216	2.16	17,286	3.26
組合健保との 差(率)	1,026 (5.55%)	△ 0.65 ^P	908 (4.73%)	△ 1.90 ^P	1,295 (7.49%)	0.16 ^P						

出典：厚生労働省「医療保険医療費データベース」

(図-37) 歯科 1 人当たり医療費（組合員）



(図-38) 歯科 1 人当たり医療費（家族）



② 歯科 1 人当たり日数

平成 28 年度における歯科 1 人当たり日数は 2.85 日で、前年度からの増減はない。このうち 70 歳未満の組合員は 2.86 日、家族は 2.78 日であり、こちらも前年度からの変化はほとんど見られない状況である。

なお、平成 24 年度からの推移をみると、組合員は平成 25 年度まで減少傾向で、平成 26 年度は増加 (3.35%) したものの、平成 27 年度は横ばいとなり、平成 28 年度は減少に転じた。家族は平成 24 年度に減少 ($\Delta 0.68\%$) したが、平成 25 年度以降は増加傾向である。

また、歯科 1 人当たり日数を組合健保と比較すると、組合員、家族ともに全国土木が高くなっている (組合員 0.06 日、家族 0.17 日)。

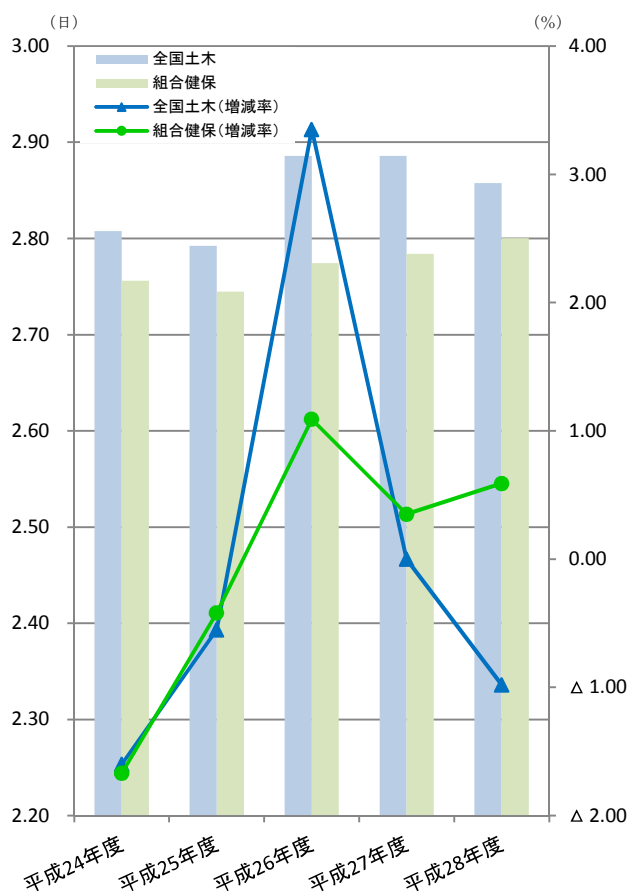
(表-23) 歯科 1 人当たり日数

	全 国 土 木						組 合 健 保					
		対前年度 増減率	組 合 員		家 族			対前年度 増減率	被 保 険 者		被 扶 養 者	
				対前年度 増減率		対前年度 増減率				対前年度 増減率		対前年度 増減率
平成24年度	2.79	$\Delta 1.04$	2.81	$\Delta 1.60$	2.72	$\Delta 0.68$	2.70	$\Delta 1.29$	2.76	$\Delta 1.67$	2.58	$\Delta 0.99$
平成25年度	2.79	0.11	2.79	$\Delta 0.55$	2.73	0.33	2.70	$\Delta 0.26$	2.74	$\Delta 0.42$	2.58	$\Delta 0.17$
平成26年度	2.85	1.96	2.89	3.35	2.75	0.91	2.72	0.93	2.77	1.09	2.60	0.75
平成27年度	2.85	0.18	2.89	0.00	2.76	0.32	2.73	0.20	2.78	0.35	2.60	0.10
平成28年度	2.85	$\Delta 0.22$	2.86	$\Delta 0.98$	2.78	0.61	2.74	0.36	2.80	0.59	2.61	0.36
組合健保との 差 (率)	0.11 (4.05%)	$\Delta 0.58^P$	0.06 (2.07%)	$\Delta 1.57^P$	0.17 (6.44%)	0.25 ^P						

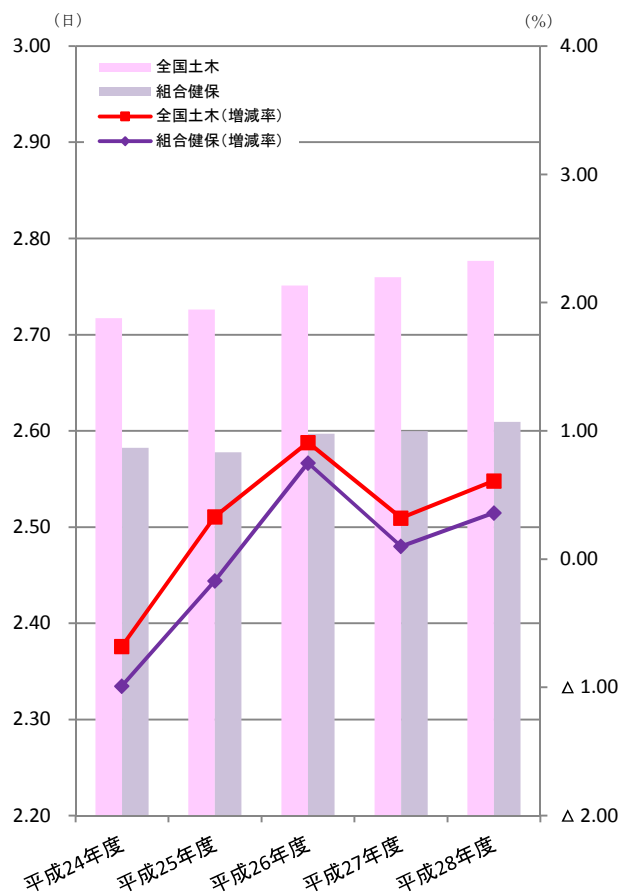
(日)

出典：厚生労働省「医療保険医療費データベース」

(図-39) 歯科 1 人当たり日数 (組合員)



(図-40) 歯科 1 人当たり日数 (家族)



③ 歯科 1 日あたり医療費

平成 28 年度における歯科 1 日あたり医療費は 6,858 円であり、前年度と比較して 2.09%増加している。このうち 70 歳未満の組合員は 7,042 円、家族は 6,691 円であり、前年度と比較して組合員は 1.25%、家族は 2.79%それぞれ増加している。

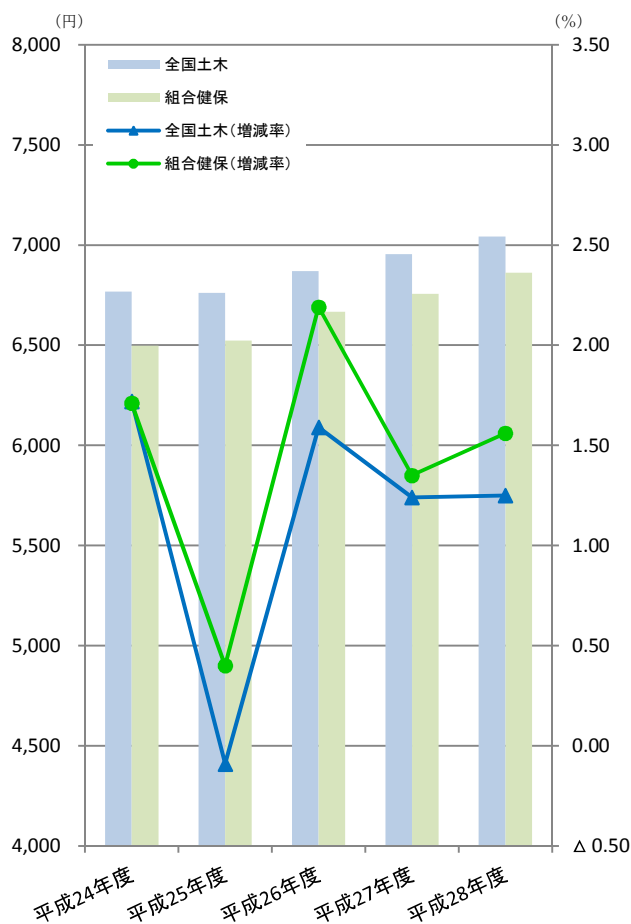
なお、平成 24 年度からの推移をみると、組合員、家族ともに増加傾向であるが、組合員は平成 25 年度のみ減少 ($\Delta 0.09\%$) している。

また、歯科 1 日あたり医療費を組合健保と比較すると、組合員、家族ともに全国土木が高くなっている (組合員 180 円、家族 66 円)。

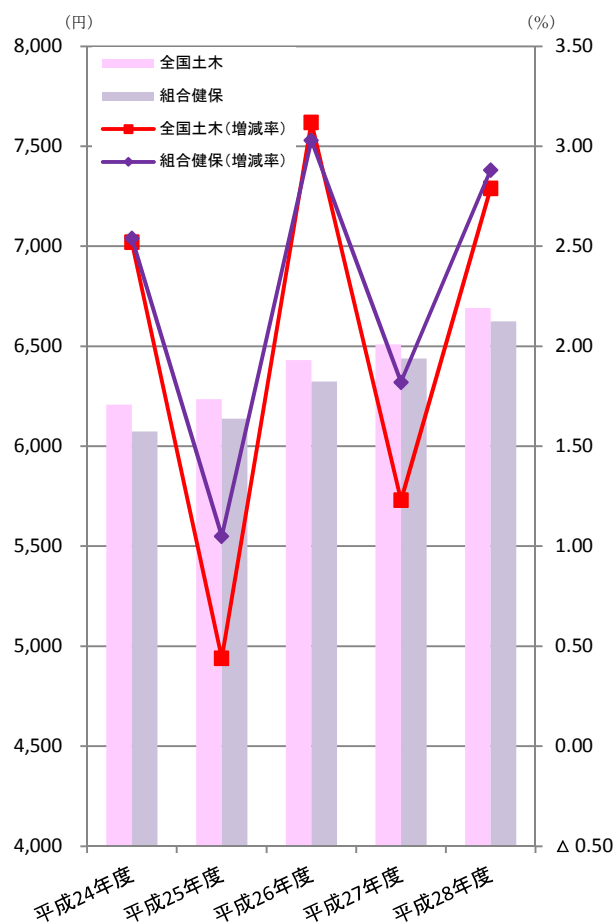
(表-24) 歯科 1 日あたり医療費

	全 国 土 木						組 合 健 保					
		組合員		家 族			被保険者		被扶養者			
		対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率		対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率			
平成24年度	6,458	2.04	6,768	1.72	6,209	2.52	6,309	2.06	6,498	1.71	6,074	2.54
平成25年度	6,472	0.22	6,762	$\Delta 0.09$	6,236	0.44	6,353	0.69	6,524	0.40	6,138	1.05
平成26年度	6,630	2.44	6,869	1.59	6,431	3.12	6,515	2.56	6,667	2.19	6,324	3.03
平成27年度	6,717	1.32	6,955	1.24	6,510	1.23	6,617	1.56	6,756	1.35	6,439	1.82
平成28年度	6,858	2.09	7,042	1.25	6,691	2.79	6,759	2.15	6,862	1.56	6,625	2.88
組合健保との 差 (率)	99 (1.46%)	$\Delta 0.06$	180 (2.62%)	$\Delta 0.31$	66 (1.00%)	$\Delta 0.09$	出典：厚生労働省「医療保険医療費データベース」					

(図-41) 歯科 1 日あたり医療費 (組合員)



(図-42) 歯科 1 日あたり医療費 (家族)



(9) 調剤

①調剤 1人当たり医療費

平成 28 年度における調剤 1 人当たり医療費は 34,899 円であり、前年度と比較して 2.13%減少している。このうち 70 歳未満の組合員は 35,645 円、家族は 31,926 円であり、前年度と比較して組合員は 2.48%、家族は 1.28%それぞれ減少している。

なお、平成 24 年度からの推移をみると、組合員、家族ともに平成 27 年度までは増加傾向であって、平成 27 年度は特に高い増加率であったが、平成 28 年度は薬価のマイナス改定の影響のため減少に転じた。

また、調剤 1 人当たり医療費を組合健保と比較すると、組合員、家族ともに全国土木が高くなっており（組合員 5,904 円、家族 1,971 円）、特に組合員の差が大きくなっている。

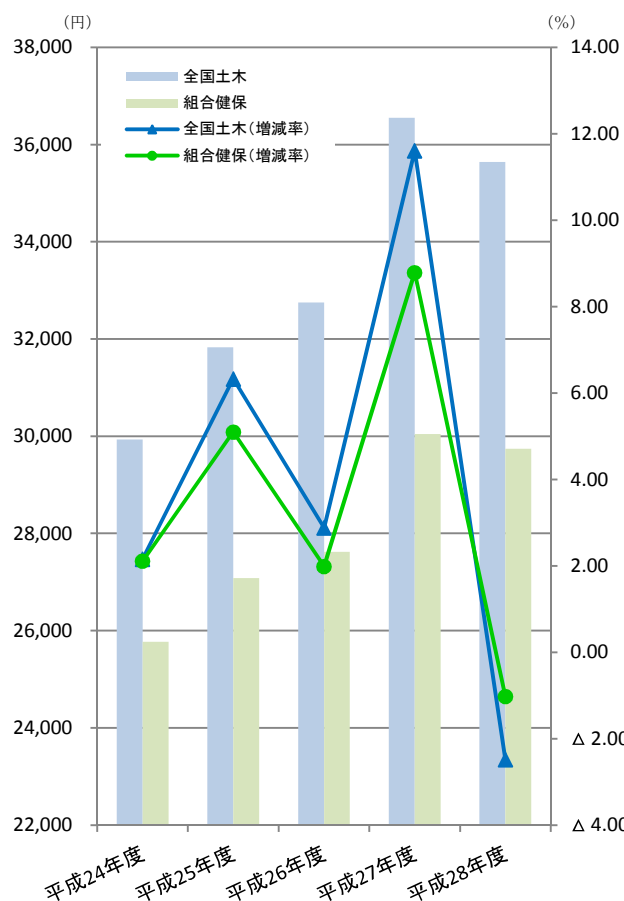
(表-25) 調剤 1 人当たり医療費

(円)

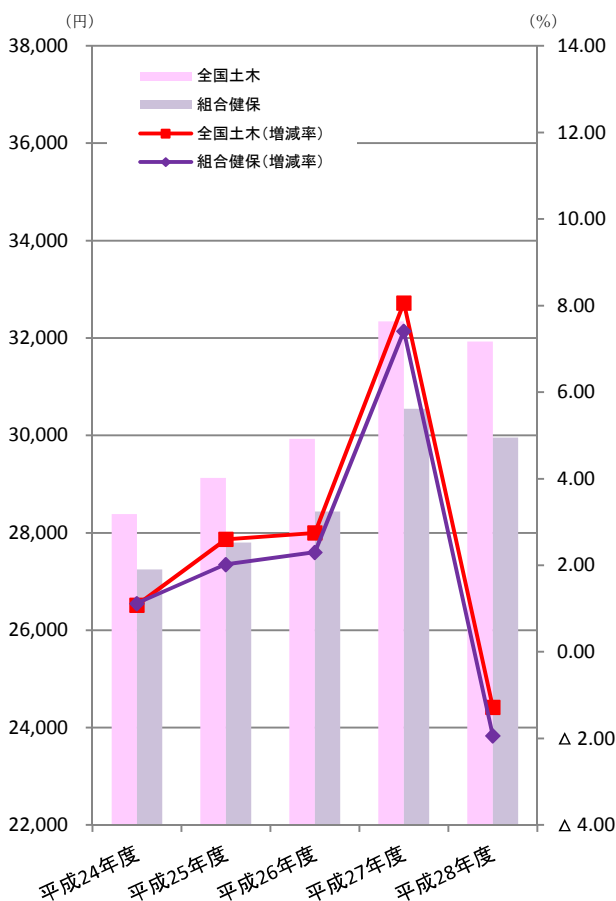
	全国土木						組合健保					
		組合員		家族			被保険者		被扶養者			
		対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率		対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率			
平成24年度	30,209	1.47	29,935	2.16	28,388	1.08	27,214	1.55	25,768	2.11	27,250	1.12
平成25年度	31,600	4.60	31,831	6.33	29,126	2.60	28,216	3.68	27,081	5.10	27,800	2.02
平成26年度	32,500	2.85	32,749	2.88	29,928	2.75	28,819	2.13	27,621	1.99	28,440	2.30
平成27年度	35,659	9.72	36,550	11.61	32,339	8.06	31,135	8.04	30,047	8.79	30,547	7.41
平成28年度	34,899	△ 2.13	35,645	△ 2.48	31,926	△ 1.28	30,536	△ 1.93	29,741	△ 1.02	29,955	△ 1.94
組合健保との 差(率)	4,363 (14.29%)	0.20 ^P	5,904 (19.85%)	1.46 ^P	1,971 (6.58%)	0.66 ^P						

出典：厚生労働省「医療保険医療費データベース」

(図-43) 調剤 1 人当たり医療費（組合員）



(図-44) 調剤 1 人当たり医療費（家族）



(参考) 調剤レセプトにおける薬剤費 (高額薬剤の影響)

調剤医療費のうち、技術料等を除いた薬剤費のみの1人当たり医療費は、平成28年度は25,320円であり前年度と比較して3.18%減少している。

このうち高額薬剤(平成27年度途中に保険適用が認められたC型肝炎の新薬で治療に高い効果を示すとされる「ソバルディ錠」及び「ハーボニー配合錠」)使用者の当該薬剤分の1人当たり医療費は3,355,017円となり、前年度と比較して30.4%減少したものの、使用量自体は14.38%増加している。

これは、この2剤については特例市場拡大再算定の対象となっており、平成28年度の薬価は前年度と比較して31.7%引き下げられていることによる。

また、使用量については、2剤の薬価基準収載年月はそれぞれ平成27年5月と8月であることから、平成27年度が年間分であったと仮定すると、平成28年度より多かったと考えられる。

2剤を除いて薬剤費の1人当たり医療費をみると、平成28年度は24,596円であり前年度と比較して2.54%減少している。

後述するように調剤1人当たり回数はやや増加したものの薬剤費は減少したことから、平成28年度の調剤1人当たり医療費の減少については、薬価のマイナス改定が主な要因となっているといえる。

○薬剤費

(千円)

	全体	対前年度		2剤計	対前年度						
		増減額	増減率(%)		(内訳)	増減額		増減率(%)			
						ソバルディ錠	ハーボニー配合錠	2剤計	ソバルディ錠	ハーボニー配合錠	
平成26年度	9,727,215										
平成27年度	10,862,770	1,135,555	11.67	380,804	138,370	242,434					
平成28年度	10,440,024	△ 422,746	△ 3.89	298,596	105,262	193,334	△ 82,208	△ 33,108	△ 49,100	△ 21.59	△ 13.66 △ 46.65

○薬剤費のみの1人当たり医療費

(円)

	加入者 1人当たり	対前年度		2剤使用者 1人当たり	対前年度						
		増減額	増減率(%)		(内訳)	増減額		増減率(%)			
						ソバルディ錠	ハーボニー配合錠	2剤計	ソバルディ錠	ハーボニー配合錠	
平成26年度	23,329										
平成27年度	26,153	2,824	12.11	4,820,307	4,193,036	5,270,306					
平成28年度	25,320	△ 833	△ 3.18	3,355,017	2,844,921	3,717,969	△ 1,465,290	△ 1,348,115	△ 1,552,337	△ 30.40	△ 25.58 △ 54.57

○薬剤費のみの1人当たり医療費 (2剤を除いた場合) ○2剤の使用量

(円)

(錠)

	加入者 1人当たり	対前年度		2剤計	対前年度						
		増減額	増減率(%)		(内訳)	増減数		増減率(%)			
						ソバルディ錠	ハーボニー配合錠	2剤計	ソバルディ錠	ハーボニー配合錠	
平成26年度	23,329										
平成27年度	25,236	1,907	8.18	5,263	2,239	3,024					
平成28年度	24,596	△ 640	△ 2.54	6,020	2,492	3,528	757	253	504	14.38	8.37 20.22

※平成27年度の使用量を年間分に換算すると、約7,500錠程度(ソバルディ錠約2,500錠、ハーボニー配合錠約5,000錠)と見込まれる。

②調剤1人当たり回数

平成28年度における調剤1人当たり回数は4.71回であり、前年度と比較して1.27%増加している。このうち70歳未満の組合員は3.95回、家族は5.41回であり、前年度と比較して組合員は2.44%、家族は6.08%それぞれ増加している。

なお、平成24年度からの推移をみると、組合員は増加傾向であり、家族は平成27年度までほぼ横ばいであったが、平成28年度はやや増加した。

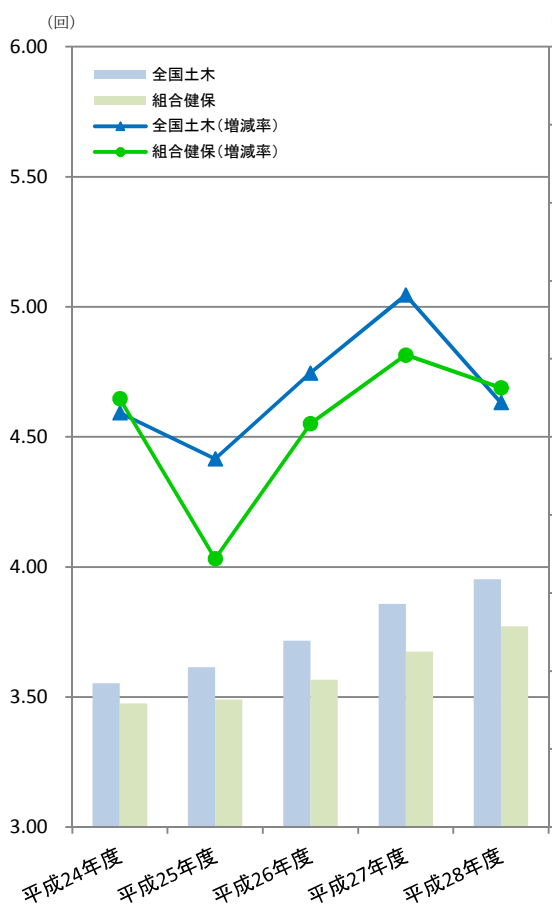
また、調剤1人当たり回数を組合健保と比較すると、組合員、家族ともに全国土木が高くなっており（組合員0.18回、家族0.03回）、特に家族は平成27年度までは組合健保よりも低かったが、平成28年度は組合健保より高い結果となった。

(表-26) 調剤1人当たり回数

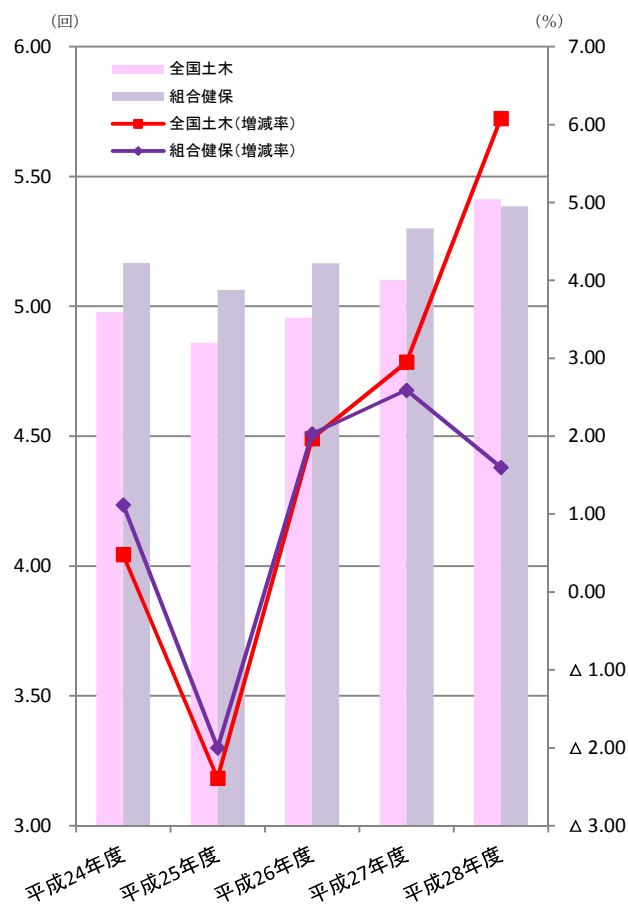
	全国土木						組合健保					
		組合員		家族			被保険者		被扶養者			
		対前年度増減率	対前年度増減率	対前年度増減率	対前年度増減率		対前年度増減率	対前年度増減率				
平成24年度	4.46	0.94	3.55	2.31	4.98	0.48	4.33	1.61	3.48	2.49	5.17	1.12
平成25年度	4.42	△0.91	3.61	1.72	4.86	△2.39	4.29	△1.02	3.49	0.44	5.06	△2.00
平成26年度	4.52	2.13	3.72	2.82	4.96	1.97	4.37	1.92	3.57	2.17	5.17	2.03
平成27年度	4.65	2.94	3.86	3.82	5.10	2.95	4.48	2.48	3.67	3.05	5.30	2.59
平成28年度	4.71	1.27	3.95	2.44	5.41	6.08	4.55	1.62	3.77	2.63	5.38	1.60
組合健保との差(率)	0.16 (3.54%)	△0.35 ^P	0.18 (4.80%)	△0.19 ^P	0.03 (0.50%)	4.48 ^P	出典：厚生労働省「医療保険医療費データベース」					

※回数は調剤報酬明細書に記載される調剤受付回数である。

(図-45) 調剤1人当たり回数（組合員）



(図-46) 調剤1人当たり回数（家族）



③調剤1回当たり医療費

平成28年度における調剤1回当たり医療費は7,410円であり、前年度と比較して3.36%減少している。このうち70歳未満の組合員は9,019円、家族は5,899円であり、前年度と比較して組合員は4.80%、家族は6.93%それぞれ減少している。

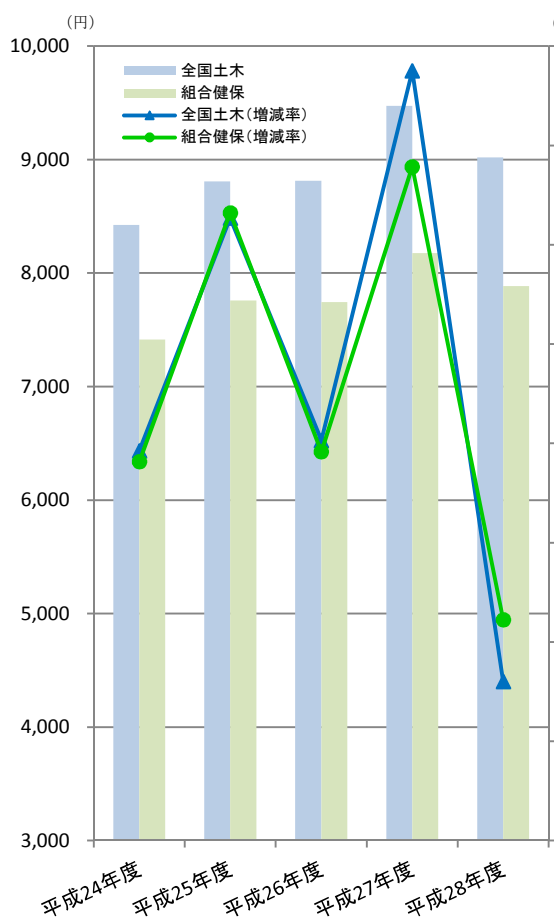
なお、平成24年度からの推移をみると、高額薬剤の影響もあり組合員、家族とも平成27年度までは増加傾向（組合員のみ平成24年度は減少）であったが、平成28年度は薬価のマイナス改定の影響を受け、減少している。

また、調剤1回当たり医療費を組合健保と比較すると、組合員、家族ともに全国土木が高くなっており（組合員1,133円、家族336円）、特に組合員の差が大きくなっている。

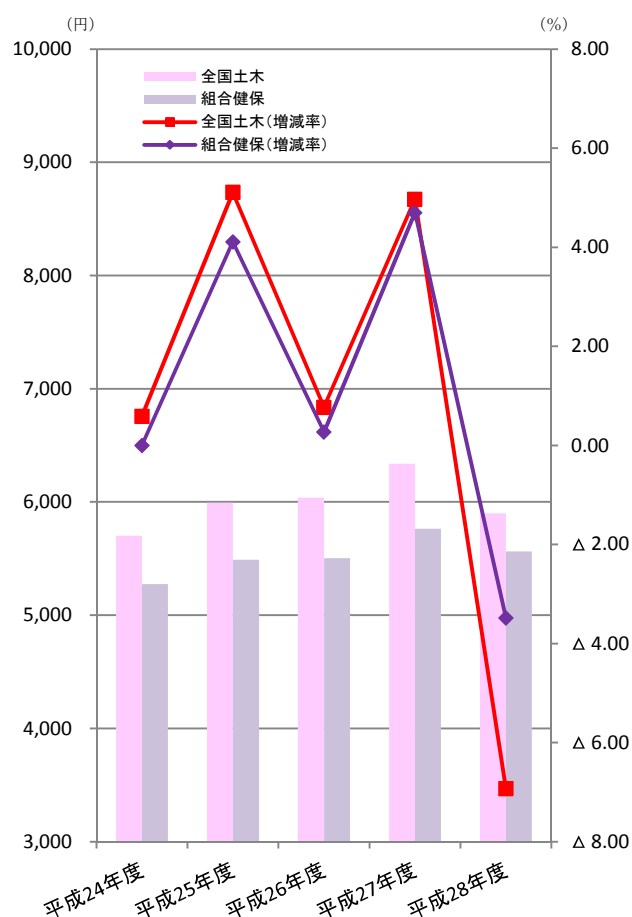
(表-27) 調剤1回当たり医療費

	全国土木						組合健保					
			組合員		家族				被保険者		被扶養者	
	対前年度 増減率		対前年度 増減率		対前年度 増減率		対前年度 増減率		対前年度 増減率		対前年度 増減率	
平成24年度	6,767	0.53	8,425	△ 0.15	5,701	0.59	6,285	△ 0.06	7,415	△ 0.37	5,274	0.00
平成25年度	7,144	5.57	8,807	4.54	5,993	5.11	6,583	4.75	7,759	4.64	5,490	4.11
平成26年度	7,194	0.70	8,813	0.06	6,039	0.77	6,597	0.22	7,745	△ 0.17	5,505	0.27
平成27年度	7,668	6.58	9,473	7.50	6,339	4.97	6,956	5.43	8,177	5.57	5,764	4.70
平成28年度	7,410	△ 3.36	9,019	△ 4.80	5,899	△ 6.93	6,713	△ 3.49	7,886	△ 3.55	5,563	△ 3.48
組合健保との 差(率)	697 (10.38%)	0.13 ^P	1,133 (14.37%)	△ 1.25 ^P	336 (6.05%)	△ 3.45 ^P	出典：厚生労働省「医療保険医療費データベース」					

(図-47) 調剤1回当たり医療費（組合員）



(図-48) 調剤1回当たり医療費（家族）



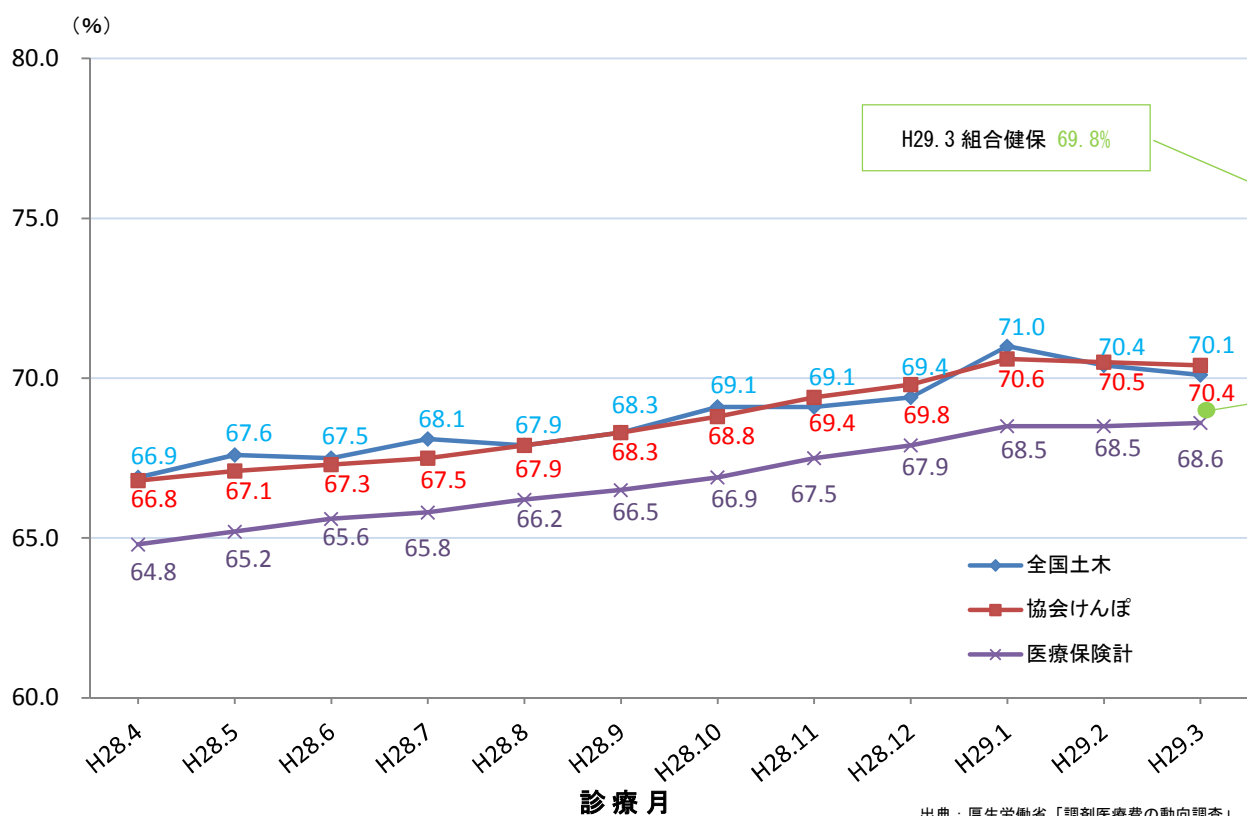
(10) ジェネリック医薬品の使用状況（数量ベース）

平成 28 年 4 月から月ごとのジェネリック医薬品の使用状況をみると、若干の増減を繰り返しながら増加傾向となっている。平成 29 年 3 月では 70.1% であり、平成 28 年 3 月（65.6%）から 4.5 ポイント増加した。

また、平成 29 年 3 月の使用状況を組合健保（69.8%）と比較すると、全国土木が 0.3 ポイント上回っている。

なお、仮に平成 28 年 4 月から平成 29 年 3 月までの間のジェネリック医薬品の使用割合が 100% であった場合、約 8.8 億円の組合負担額の削減が見込めると試算される。

(図-49) ジェネリック医薬品使用状況（数量ベース）



注 各保険者の数値は、電算処理分の調剤レセプトを集計したもの

出典：厚生労働省「調剤医療費の動向調査」
協会けんぽ「医薬品使用状況」
健保組合連合会「後発医薬品の普及状況」

平成 25 年 4 月に策定された「後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ」に基づき、数量シェアを次のとおり算出している。（「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。）

$$\text{後発医薬品の数量シェア} = \frac{\text{後発医薬品の数量}}{\text{後発医薬品のある先発医薬品の数量} + \text{後発医薬品の数量}}$$

国では「経済財政運営と改革の基本方針（骨太の方針）2017」において、数量シェアの目標値を次のとおり示している。

- ・ 2020 年（平成 32 年）9 月までに、後発医薬品の使用割合を 80% とし、できる限り早期に達成できるよう、更なる使用促進策を検討する。

3 疾病の状況

(1) 年齢階級別疾病分類

①全体（医科+歯科）

平成 28 年度診療分医療費における疾病分類を金額順（歯科の疾患を除く。）にみると、新生物（74.5 億円）が最も多く、次いで循環器系の疾患（63.4 億円）、呼吸器系の疾患（47.4 億円）となっている。

また、上記 3 疾病で最も多い年齢階級をみると、新生物及び循環器系の疾患では 60 歳から 64 歳（新生物 15.4 億円、循環器系の疾患 14.1 億円）であるが、呼吸器系の疾患では 0 歳から 4 歳（10.7 億円）となっている。

なお、年齢階級別医療費をみると 60 歳から 64 歳（74.8 億円）が最も多く、次いで 55 歳から 59 歳（66.1 億円）、65 歳から 69 歳（53.6 億円）となっており、55 歳から 64 歳までの年齢階層が特に多く全体の約 27% を占めている。

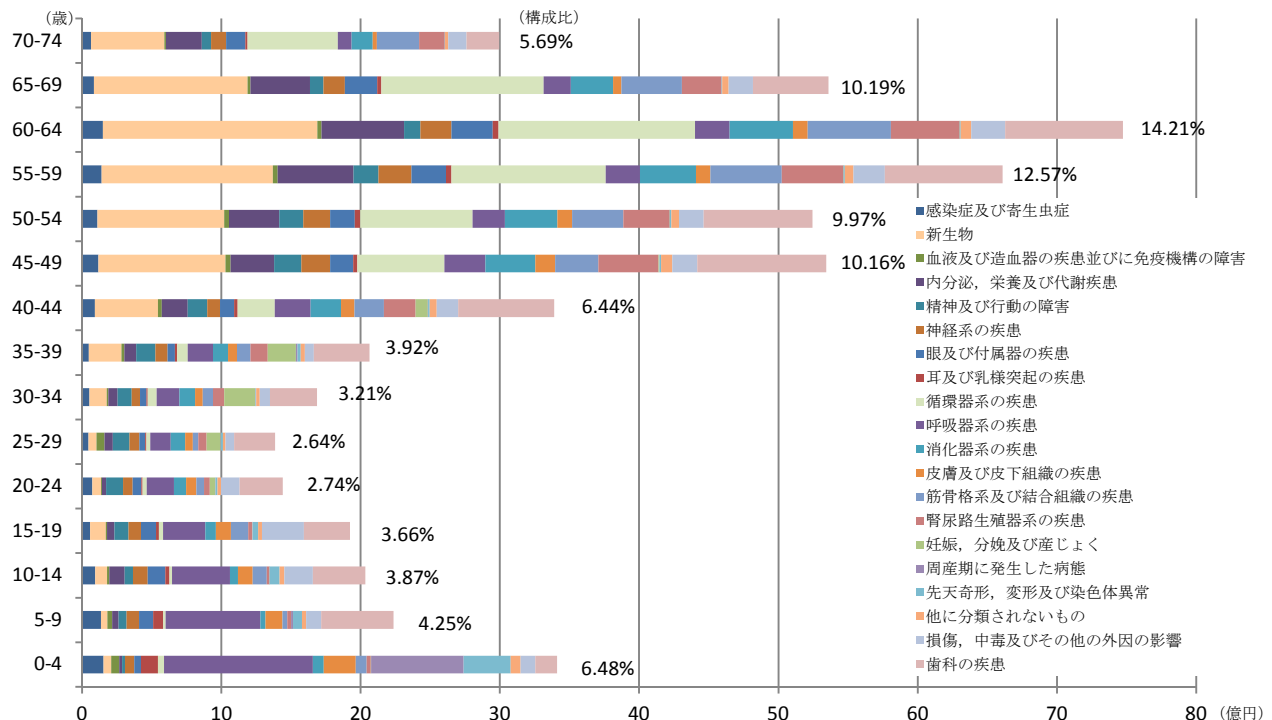
(表-28) 年齢階級別疾病分類 全体

疾病分類	構成比	0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	計
1 感染症及び寄生虫症	2.70%	1.54	1.35	0.94	0.58	0.73	0.47	0.53	0.49	0.92	1.18	1.09	1.40	1.50	0.86	0.64	14.21
2 新生物	14.16%	0.55	0.47	0.85	1.12	0.64	0.57	1.24	2.33	4.52	9.11	9.11	12.30	15.39	11.04	5.25	74.50
3 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0.78%	0.58	0.33	0.18	0.10	0.06	0.56	0.12	0.22	0.27	0.39	0.34	0.34	0.32	0.19	0.12	4.10
4 内分泌、栄養及び代謝疾患	5.99%	0.20	0.47	1.09	0.52	0.30	0.60	0.67	0.85	1.86	3.11	3.62	5.46	5.91	4.29	2.58	31.52
5 精神及び行動の障害	3.21%	0.21	0.57	0.60	1.02	1.23	1.19	0.99	1.38	1.40	1.96	1.73	1.79	1.17	0.97	0.68	16.90
6 神経系の疾患	3.52%	0.67	0.89	1.06	0.89	0.67	0.73	0.60	0.86	0.94	2.06	1.92	2.36	2.23	1.53	1.08	18.49
7 眼及び付属器の疾患	3.71%	0.48	1.03	1.27	1.08	0.63	0.40	0.46	0.54	1.00	1.66	1.78	2.49	2.98	2.32	1.37	19.49
8 耳及び乳様突起の疾患	0.95%	1.21	0.71	0.30	0.20	0.09	0.09	0.09	0.15	0.25	0.30	0.38	0.37	0.40	0.30	0.15	4.99
9 循環器系の疾患	12.06%	0.42	0.18	0.19	0.31	0.30	0.28	0.65	0.76	2.67	6.24	8.08	11.09	14.12	11.65	6.48	63.42
10 呼吸器系の疾患	9.00%	10.70	6.80	4.16	3.02	1.97	1.48	1.65	1.82	2.57	2.96	2.32	2.46	2.48	1.96	1.00	47.35
11 消化器系の疾患	5.56%	0.78	0.38	0.57	0.76	0.86	1.03	1.11	1.09	2.20	3.57	3.76	4.02	4.56	3.03	1.52	29.23
12 皮膚及び皮下組織の疾患	2.76%	2.29	1.22	1.06	1.09	0.73	0.55	0.56	0.64	0.95	1.42	1.05	1.02	1.04	0.60	0.28	14.51
13 筋骨格系及び結合組織の疾患	6.36%	0.78	0.35	1.01	1.24	0.55	0.40	0.73	0.96	2.12	3.12	3.69	5.13	5.99	4.33	3.05	33.44
14 腎尿路生殖器系の疾患	5.33%	0.31	0.27	0.19	0.26	0.42	0.58	0.80	1.23	2.28	4.32	3.33	4.44	4.92	2.86	1.83	28.05
15 妊娠、分娩及び産じょく	1.27%	0.01	0.00	0.00	0.04	0.40	1.01	2.23	2.02	0.88	0.07	0.00	0.00	0.00	-	-	6.67
16 周産期に発生した病態	1.33%	6.64	0.13	0.03	0.00	0.02	0.03	0.03	0.11	0.01	-	-	-	-	-	-	6.99
17 先天奇形、変形及び染色体異常	1.20%	3.39	0.64	0.71	0.41	0.15	0.14	0.05	0.25	0.13	0.10	0.10	0.09	0.08	0.04	0.02	6.29
18 他に分類されないもの	1.25%	0.70	0.31	0.36	0.27	0.24	0.19	0.26	0.28	0.51	0.82	0.57	0.61	0.76	0.48	0.23	6.60
19 損傷、中毒及びその他の外因の影響	4.42%	1.05	1.09	2.03	3.01	1.34	0.61	0.72	0.64	1.52	1.78	1.76	2.25	2.43	1.73	1.31	23.27
20 歯科の疾患	14.44%	1.56	5.19	3.78	3.30	3.10	2.95	3.39	4.00	6.90	9.25	7.82	8.46	8.46	5.43	2.35	75.95
合計	100%	34.10	22.37	20.34	19.23	14.41	13.87	16.87	20.63	33.90	53.43	52.45	66.09	74.75	53.59	29.95	525.98

※1 電子レセプトのうち疾病分類コード（119 分類）の記載があるものを集計した。

※2 入院時食事療養費、入院時生活療養費及び訪問看護療養費は含まない。

(図-50) 年齢階級別疾病分類 全体



②入院（医科+歯科）：組合員

平成 28 年度診療分医療費における組合員の入院の疾病分類を金額順（歯科の疾患を除く。）にみると、新生物（22.7 億円）が最も多く、次いで循環器系の疾患（22 億円）、消化器系の疾患（7.8 億円）となっており、特に上位 2 疾病が突出して多く全体の約 54%を占めている。

また、上記 3 疾病のいずれも 60 歳から 64 歳（新生物 5.9 億円、循環器系の疾患 5.5 億円、消化器系の疾患 1.6 億円）が最も多い年齢階級である。

なお、年齢階級別医療費をみると 60 歳から 64 歳（18.5 億円）が最も多く、次いで 55 歳から 59 歳（14.9 億円）、65 歳から 69 歳（11.3 億円）となっており、55 歳から 64 歳までの年齢階層が突出して多く全体の約 41%を占めている。

（表-29）年齢階級別疾病分類 入院：組合員

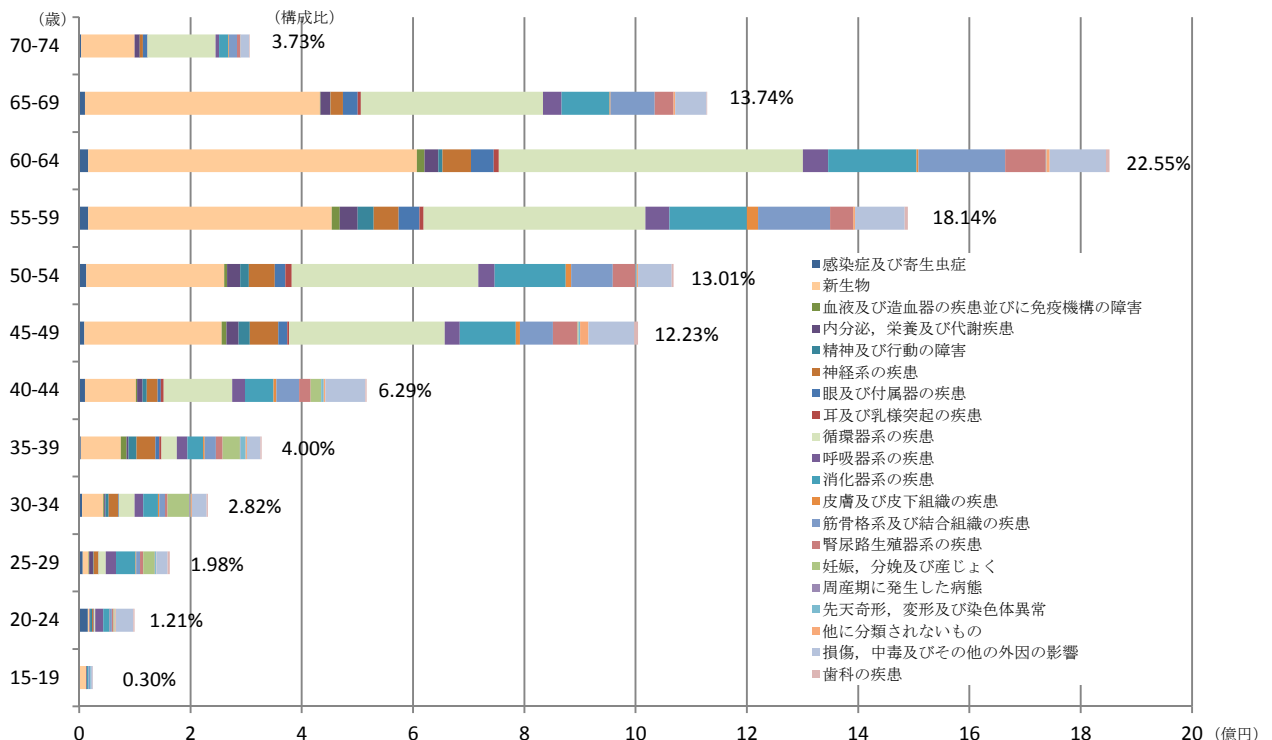
（億円）

疾病分類	構成比	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	計
1 感染症及び寄生虫症	1.33%	0.01	0.16	0.06	0.05	0.03	0.11	0.09	0.13	0.16	0.16	0.10	0.03	1.10
2 新生物	27.62%	0.12	0.03	0.11	0.38	0.72	0.91	2.46	2.48	4.38	5.90	4.22	0.96	22.68
3 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0.73%	-	-	0.01	0.02	0.10	0.02	0.09	0.06	0.14	0.14	0.01	-	0.60
4 内分泌、栄養及び代謝疾患	1.83%	0.00	0.01	0.06	0.03	0.03	0.10	0.22	0.23	0.32	0.25	0.17	0.09	1.50
5 精神及び行動の障害	1.28%	0.01	0.04	0.01	0.05	0.14	0.07	0.20	0.15	0.29	0.08	0.01	0.00	1.05
6 神経系の疾患	3.70%	-	0.02	0.08	0.17	0.34	0.20	0.51	0.47	0.45	0.51	0.22	0.06	3.04
7 眼及び付属器の疾患	1.97%	0.00	0.01	0.00	0.01	0.07	0.06	0.16	0.19	0.37	0.40	0.27	0.08	1.62
8 耳及び乳様突起の疾患	0.60%	0.00	0.00	0.00	-	0.04	0.05	0.04	0.12	0.08	0.10	0.06	0.00	0.49
9 循環器系の疾患	26.83%	-	0.02	0.13	0.28	0.27	1.23	2.79	3.35	3.99	5.46	3.28	1.23	22.03
10 呼吸器系の疾患	3.36%	0.01	0.15	0.18	0.16	0.19	0.23	0.27	0.29	0.43	0.45	0.33	0.06	2.76
11 消化器系の疾患	9.55%	0.03	0.11	0.35	0.27	0.28	0.51	1.00	1.28	1.39	1.59	0.86	0.17	7.84
12 皮膚及び皮下組織の疾患	0.68%	-	0.00	0.01	0.03	0.02	0.05	0.08	0.10	0.20	0.04	0.02	0.01	0.56
13 筋骨格系及び結合組織の疾患	7.29%	0.03	0.04	0.07	0.10	0.20	0.41	0.59	0.75	1.30	1.55	0.79	0.15	5.99
14 腎尿路生殖器系の疾患	3.47%	-	0.03	0.06	0.05	0.12	0.20	0.44	0.41	0.41	0.73	0.34	0.05	2.85
15 妊娠、分娩及び産じょく	1.37%	-	0.01	0.20	0.39	0.31	0.19	0.02	-	-	-	-	-	1.13
16 周産期に発生した病態	0.03%	-	-	0.01	0.01	0.01	-	-	-	-	-	-	-	0.03
17 先天奇形、変形及び染色体異常	0.32%	0.01	0.01	0.02	0.01	0.09	0.05	0.03	0.02	0.00	0.01	-	0.00	0.26
18 他に分類されないもの	0.48%	-	0.02	0.01	0.02	0.02	0.03	0.15	0.03	0.03	0.06	0.03	0.01	0.40
19 損傷、中毒及びその他の外因の影響	7.09%	0.03	0.31	0.20	0.27	0.25	0.72	0.82	0.60	0.89	1.01	0.56	0.16	5.82
20 歯科の疾患	0.47%	0.01	0.02	0.04	0.02	0.02	0.02	0.07	0.04	0.06	0.07	0.01	0.01	0.38
合計	100%	0.25	0.99	1.63	2.31	3.28	5.17	10.04	10.68	14.89	18.52	11.29	3.07	82.12

※1 電子レセプトのうち疾病分類コード（119 分類）の記載があるものを集計した。

※2 入院時食事療養費、入院時生活療養費及び訪問看護療養費は含まない。

（図-51）年齢階級別疾病分類 入院：組合員



③入院（医科+歯科）：家族

平成 28 年度診療分医療費における家族の入院の疾病分類を金額順（歯科の疾患を除く。）にみると、新生物（19.9 億円）が最も多く、次いで循環器系の疾患（10.5 億円）、損傷、中毒及びその他の外因の影響（7.6 億円）となっている。

また、上記 3 疾病で最も多い年齢階級をみると、新生物では 60 歳から 64 歳（3 億円）、循環器系の疾患では 65 歳から 69 歳（2.5 億円）、損傷、中毒及びその他の外因の影響では 15 歳から 19 歳（1.6 億円）となっている。

なお、年齢階級別医療費をみると、0 歳から 4 歳（14.6 億円）が最も多く、次いで 65 歳から 69 歳（10.6 億円）、70 歳から 74 歳（9.9 億円）となっている。

（表-30）年齢階級別疾病分類 入院：家族

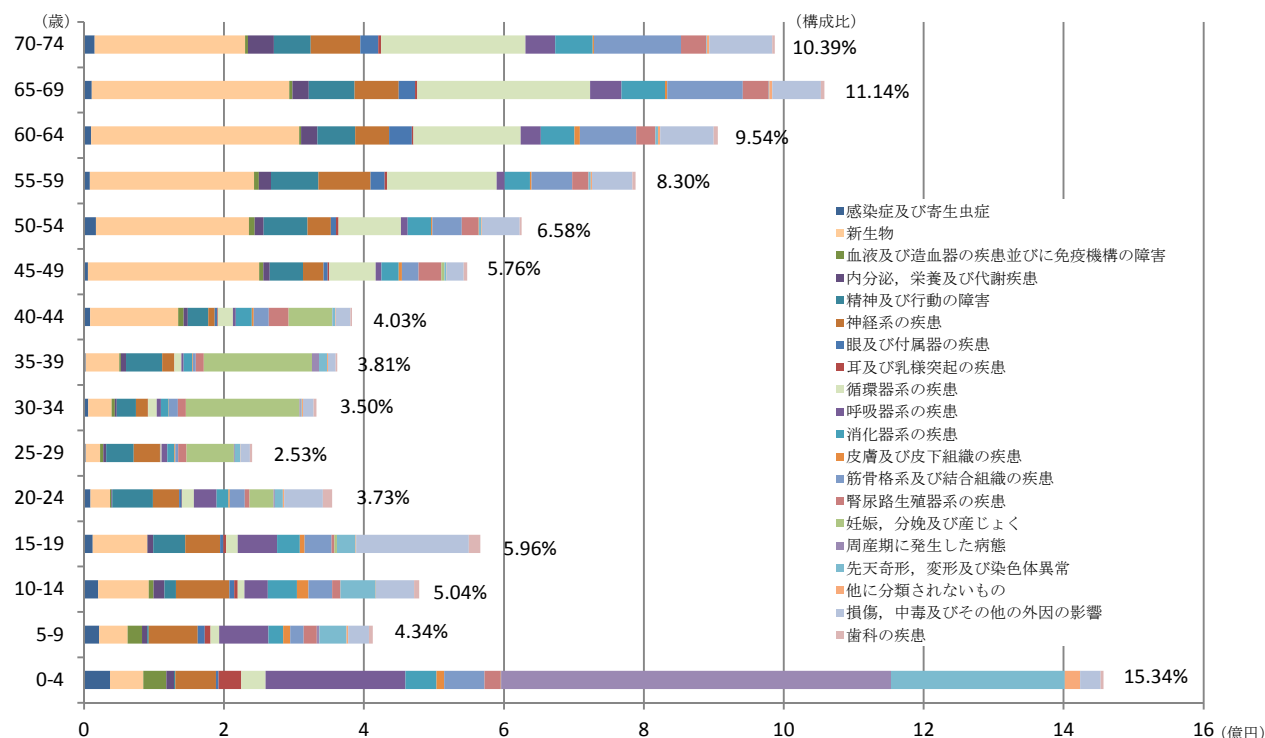
（億円）

疾病分類	構成比	0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	計
1 感染症及び寄生虫症	1.96%	0.37	0.22	0.20	0.12	0.09	0.02	0.06	0.02	0.09	0.05	0.17	0.08	0.10	0.11	0.15	1.86
2 新生物	20.92%	0.48	0.40	0.73	0.78	0.28	0.21	0.34	0.48	1.26	2.45	2.19	2.34	2.97	2.82	2.15	19.87
3 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1.20%	0.33	0.21	0.07	0.01	0.02	0.05	0.04	0.02	0.08	0.06	0.08	0.07	0.03	0.05	0.04	1.14
4 内分泌、栄養及び代謝疾患	1.96%	0.11	0.07	0.15	0.08	0.01	0.04	0.03	0.07	0.06	0.09	0.13	0.18	0.24	0.23	0.37	1.86
5 精神及び行動の障害	6.57%	0.02	0.02	0.16	0.46	0.58	0.40	0.28	0.52	0.30	0.48	0.63	0.68	0.54	0.65	0.53	6.24
6 神経系の疾患	7.28%	0.58	0.70	0.76	0.50	0.37	0.37	0.17	0.17	0.09	0.29	0.33	0.74	0.48	0.64	0.71	6.91
7 眼及び付属器の疾患	1.55%	0.04	0.10	0.07	0.05	0.04	0.00	-	-	0.03	0.06	0.07	0.20	0.33	0.23	0.26	1.48
8 耳及び乳様突起の疾患	0.77%	0.33	0.08	0.05	0.04	0.00	0.01	0.01	0.00	0.01	0.02	0.04	0.04	0.02	0.03	0.04	0.73
9 循環器系の疾患	11.09%	0.35	0.12	0.10	0.16	0.17	0.01	0.12	0.10	0.21	0.66	0.89	1.56	1.53	2.47	2.06	10.53
10 呼吸器系の疾患	5.89%	2.00	0.70	0.33	0.56	0.32	0.08	0.06	0.03	0.04	0.08	0.10	0.11	0.29	0.45	0.43	5.59
11 消化器系の疾患	4.95%	0.44	0.21	0.42	0.33	0.17	0.10	0.11	0.12	0.23	0.25	0.33	0.36	0.48	0.62	0.53	4.70
12 皮膚及び皮下組織の疾患	0.77%	0.11	0.10	0.17	0.07	0.02	0.02	0.00	0.01	0.03	0.05	0.02	0.02	0.08	0.03	0.02	0.73
13 筋骨格系及び結合組織の疾患	6.84%	0.58	0.19	0.34	0.38	0.22	0.04	0.13	0.04	0.22	0.24	0.42	0.58	0.80	1.08	1.25	6.50
14 腎尿路生殖器系の疾患	3.26%	0.23	0.19	0.12	0.04	0.07	0.12	0.12	0.11	0.29	0.32	0.24	0.23	0.27	0.37	0.36	3.09
15 妊娠、分娩及び産じょく	5.16%	0.01	-	-	0.04	0.34	0.68	1.62	1.55	0.62	0.05	0.00	-	-	-	-	4.90
16 周産期に発生した病態	6.06%	5.57	0.03	-	-	0.01	0.02	0.02	0.10	0.00	-	-	-	-	-	-	5.76
17 先天奇形、変形及び染色体異常	4.37%	2.48	0.39	0.50	0.26	0.12	0.08	0.02	0.12	0.04	0.03	0.03	0.03	0.04	0.01	0.01	4.15
18 他に分類されないもの	0.47%	0.22	0.02	0.00	0.01	0.02	0.00	0.02	0.01	0.01	0.00	0.01	0.02	0.04	0.04	0.03	0.45
19 損傷、中毒及びその他の外因の影響	8.04%	0.29	0.30	0.54	1.61	0.55	0.13	0.15	0.11	0.21	0.24	0.54	0.58	0.76	0.70	0.90	7.63
20 歯科の疾患	0.90%	0.04	0.06	0.08	0.16	0.13	0.03	0.04	0.02	0.02	0.05	0.03	0.05	0.06	0.05	0.03	0.85
合計	100%	14.57	4.13	4.79	5.67	3.54	2.40	3.32	3.62	3.83	5.48	6.25	7.88	9.06	10.58	9.87	94.99

※1 電子レセプトのうち疾病分類コード（119 分類）の記載があるものを集計した。

※2 入院時食事療養費、入院時生活療養費及び訪問看護療養費は含まない。

（図-52）年齢階級別疾病分類 入院：家族



④入院外（医科+歯科）：組合員

平成 28 年度診療分医療費における組合員の入院外の疾病分類を金額順（歯科の疾患を除く。）にみると、循環器系の疾患（19.9 億円）が最も多く、次いで 新生物（16.6 億円）、内分泌、栄養及び代謝疾患（15.7 億円）となっている。

また、上記 3 疾病のいずれも 60 歳から 64 歳（循環器系の疾患 5.3 億円、新生物 4.2 億円、内分泌、栄養及び代謝疾患 3.6 億円）が最も多い年齢階級である。

なお、年齢階級別医療費をみると、60 歳から 64 歳（30 億円）が最も多く、次いで 55 歳から 59 歳（26.4 億円）、45 歳から 49 歳（24 億円）となっている。

（表-31）年齢階級別疾病分類 入院外：組合員

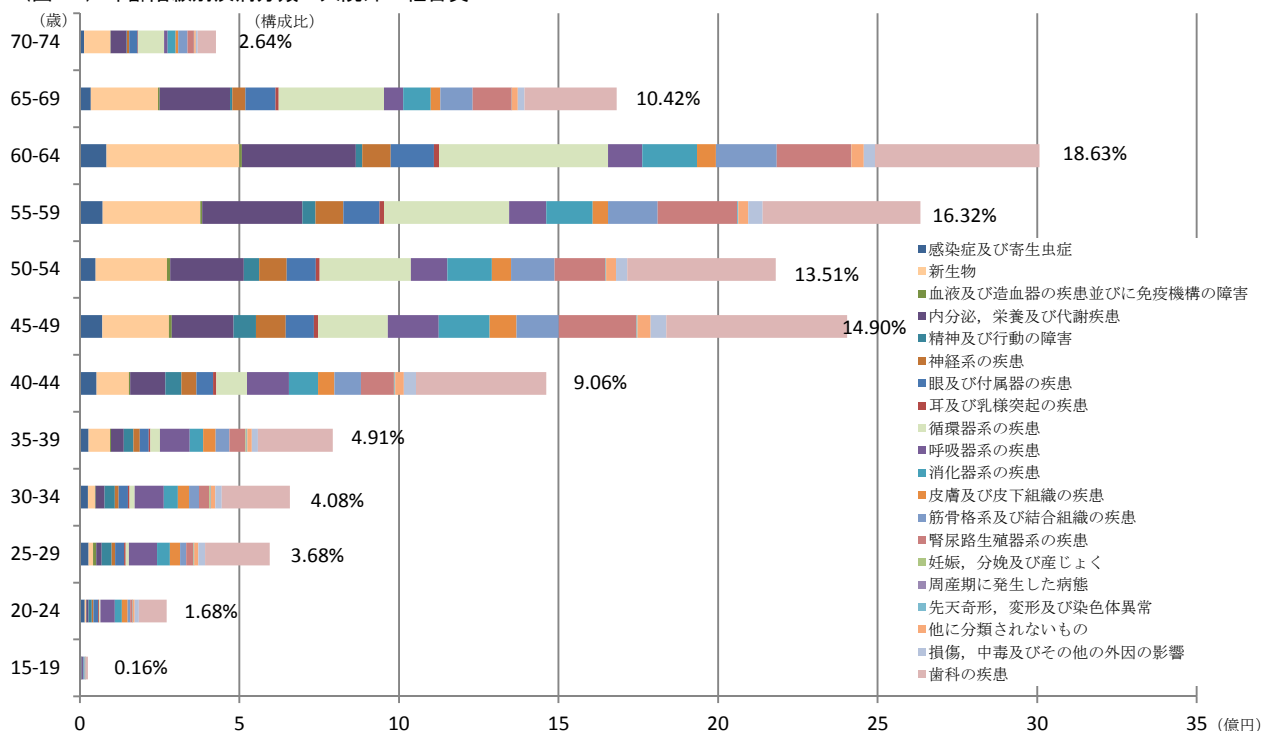
（億円）

疾病分類	構成比	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	計
1 感染症及び寄生虫症	2.92%	0.02	0.15	0.28	0.25	0.27	0.52	0.71	0.50	0.71	0.83	0.34	0.14	4.71
2 新生物	10.26%	0.01	0.04	0.14	0.21	0.67	1.02	2.08	2.23	3.07	4.17	2.11	0.81	16.56
3 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0.37%	0.00	0.01	0.10	0.03	0.03	0.04	0.10	0.10	0.05	0.08	0.05	0.01	0.60
4 内分泌、栄養及び代謝疾患	9.71%	0.01	0.07	0.17	0.27	0.40	1.10	1.94	2.31	3.14	3.57	2.20	0.50	15.67
5 精神及び行動の障害	2.13%	0.01	0.10	0.31	0.32	0.30	0.50	0.69	0.49	0.42	0.20	0.07	0.01	3.44
6 神経系の疾患	3.10%	0.01	0.05	0.11	0.12	0.20	0.47	0.93	0.85	0.87	0.89	0.42	0.07	5.00
7 眼及び付属器の疾患	4.35%	0.01	0.16	0.28	0.29	0.28	0.52	0.88	0.91	1.13	1.35	0.94	0.26	7.02
8 耳及び乳様突起の疾患	0.60%	0.00	0.03	0.05	0.05	0.06	0.10	0.14	0.13	0.14	0.16	0.10	0.02	0.97
9 循環器系の疾患	12.35%	0.00	0.04	0.10	0.16	0.30	0.96	2.18	2.85	3.92	5.30	3.30	0.81	19.93
10 呼吸器系の疾患	6.34%	0.05	0.46	0.88	0.91	0.93	1.31	1.60	1.15	1.17	1.07	0.60	0.11	10.23
11 消化器系の疾患	6.00%	0.01	0.22	0.40	0.45	0.42	0.91	1.59	1.39	1.46	1.71	0.87	0.25	9.68
12 皮膚及び皮下組織の疾患	2.89%	0.02	0.17	0.32	0.35	0.39	0.52	0.84	0.60	0.48	0.60	0.30	0.08	4.67
13 筋骨格系及び結合組織の疾患	5.77%	0.02	0.09	0.19	0.31	0.43	0.83	1.33	1.37	1.56	1.90	1.01	0.28	9.32
14 腎尿路生殖器系の疾患	7.69%	0.00	0.07	0.21	0.32	0.50	1.03	2.44	1.60	2.49	2.32	1.22	0.21	12.42
15 妊娠、分娩及び産じょく	0.08%	0.00	0.00	0.03	0.04	0.04	0.02	0.00	0.00	-	-	-	-	0.13
16 周産期に発生した病態	0.00%	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	-	-	-	-	-	0.00
17 先天奇形、変形及び染色体異常	0.11%	0.00	0.00	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03	0.02	0.01	0.00	0.17
18 他に分類されないもの	1.50%	0.01	0.06	0.13	0.14	0.14	0.27	0.41	0.31	0.31	0.39	0.19	0.06	2.42
19 損傷、中毒及びその他の外因の影響	1.89%	0.02	0.13	0.21	0.20	0.19	0.38	0.50	0.35	0.46	0.35	0.21	0.05	3.05
20 歯科の疾患	21.94%	0.06	0.87	2.02	2.14	2.35	4.09	5.67	4.65	4.95	5.16	2.89	0.57	35.42
合計	100%	0.25	2.72	5.95	6.58	7.92	14.62	24.05	21.81	26.35	30.07	16.82	4.26	161.40

※1 電子レセプトのうち疾病分類コード（119 分類）の記載があるものを集計した。

※2 入院時食事療養費、入院時生活療養費及び訪問看護療養費は含まない。

（図-53）年齢階級別疾病分類 入院外：組合員



⑤入院外（医科+歯科）：家族

平成 28 年度診療分医療費における家族の入院外の疾病分類を金額順（歯科の疾患を除く。）にみると、呼吸器系の疾患（28.8 億円）が最も多く、次いで新生物（15.4 億円）、内分泌、栄養及び代謝疾患（12.5 億円）となっている。

また、上記 3 疾病で最も多い年齢階級をみると、呼吸器系の疾患では 0 歳から 4 歳（8.7 億円）、新生物では 55 歳から 59 歳（2.5 億円）、内分泌、栄養及び代謝疾患では 60 歳から 64 歳（1.9 億円）となっている。

なお、年齢階級別医療費をみると、0 歳から 4 歳（19.5 億円）が最も多く、次いで 5 歳から 9 歳（18.2 億円）、60 歳から 64 歳（17.1 億円）となっている。

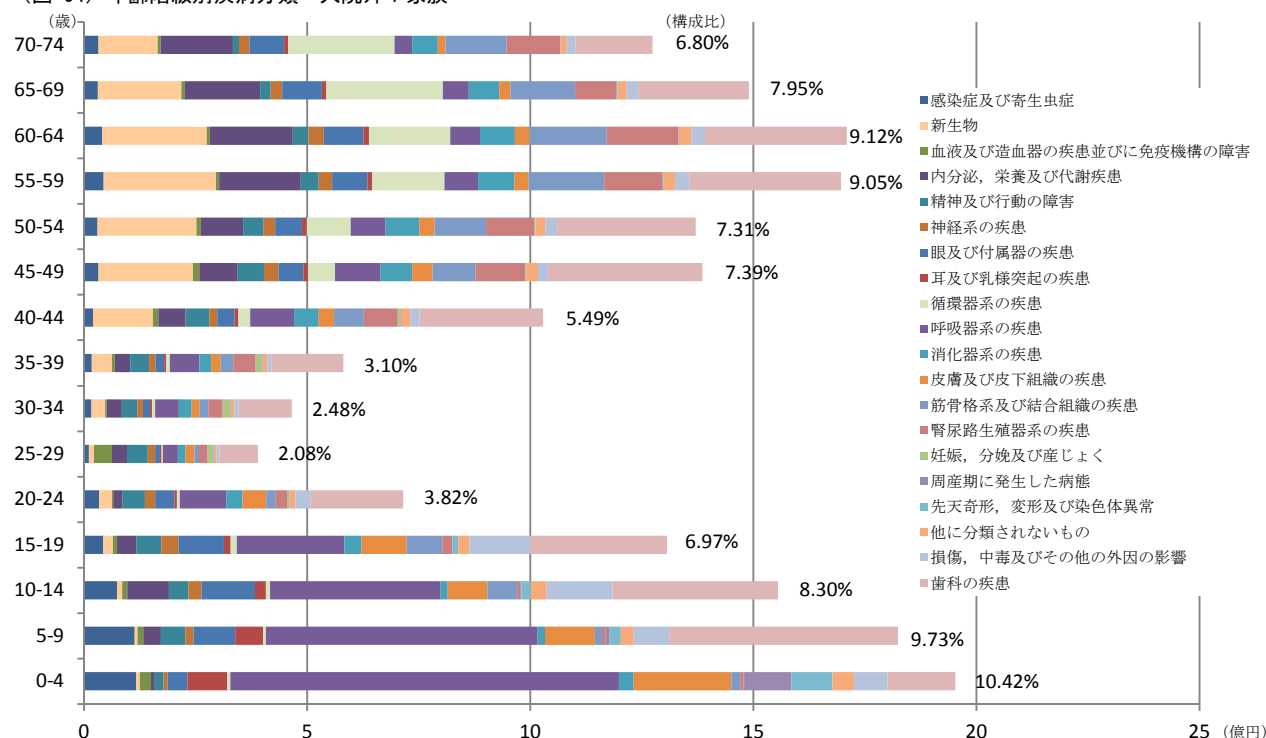
（表-32）年齢階級別疾病分類 入院外：家族

疾病分類	構成比	0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	計
1 感染症及び寄生虫症	3.49%	1.17	1.13	0.74	0.43	0.33	0.11	0.17	0.17	0.20	0.32	0.30	0.44	0.40	0.31	0.32	6.55
2 新生物	8.20%	0.08	0.07	0.12	0.22	0.29	0.12	0.31	0.46	1.33	2.12	2.21	2.52	2.34	1.88	1.33	15.38
3 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0.94%	0.25	0.13	0.11	0.09	0.03	0.40	0.03	0.07	0.13	0.14	0.10	0.07	0.07	0.08	0.07	1.77
4 内分泌、栄養及び代謝疾患	6.66%	0.09	0.39	0.94	0.44	0.20	0.33	0.34	0.34	0.61	0.86	0.95	1.83	1.86	1.69	1.62	12.49
5 精神及び行動の障害	3.29%	0.19	0.55	0.44	0.55	0.51	0.47	0.34	0.42	0.53	0.59	0.46	0.40	0.35	0.24	0.14	6.17
6 神経系の疾患	1.89%	0.09	0.19	0.29	0.39	0.23	0.16	0.13	0.14	0.18	0.33	0.26	0.30	0.35	0.26	0.24	3.54
7 眼及び付属器の疾患	5.00%	0.45	0.93	1.20	1.02	0.43	0.11	0.16	0.19	0.39	0.55	0.60	0.79	0.89	0.89	0.77	9.37
8 耳及び乳様突起の疾患	1.50%	0.89	0.63	0.25	0.15	0.06	0.03	0.04	0.05	0.09	0.11	0.10	0.11	0.12	0.10	0.09	2.81
9 循環器系の疾患	5.82%	0.08	0.06	0.09	0.14	0.06	0.03	0.08	0.09	0.27	0.61	0.98	1.62	1.82	2.61	2.38	10.92
10 呼吸器系の疾患	15.34%	8.70	6.09	3.82	2.41	1.04	0.34	0.53	0.66	0.98	1.01	0.78	0.75	0.67	0.58	0.40	28.76
11 消化器系の疾患	3.74%	0.34	0.16	0.16	0.39	0.36	0.17	0.28	0.26	0.55	0.72	0.76	0.81	0.79	0.68	0.57	7.01
12 皮膚及び皮下組織の疾患	4.56%	2.19	1.12	0.89	1.01	0.53	0.20	0.18	0.21	0.35	0.46	0.34	0.32	0.33	0.25	0.17	8.55
13 筋骨格系及び結合組織の疾患	6.21%	0.20	0.16	0.67	0.80	0.21	0.10	0.19	0.28	0.67	0.96	1.16	1.69	1.73	1.45	1.38	11.64
14 腎尿路生殖器系の疾患	5.17%	0.08	0.08	0.07	0.22	0.25	0.19	0.32	0.50	0.76	1.11	1.08	1.31	1.59	0.92	1.21	9.70
15 妊娠、分娩及び産じょく	0.27%	0.00	0.00	0.00	0.01	0.03	0.11	0.17	0.13	0.05	0.01	0.00	0.00	0.00	-	-	0.52
16 周産期に発生した病態	0.64%	1.07	0.10	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	-	-	-	-	-	1.20
17 先天奇形、変形及び染色体異常	0.91%	0.91	0.25	0.21	0.13	0.02	0.03	0.01	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.01	1.71
18 他に分類されないもの	1.78%	0.48	0.29	0.35	0.25	0.13	0.06	0.08	0.11	0.21	0.26	0.22	0.25	0.28	0.21	0.13	3.33
19 損傷、中毒及びその他の外因の影響	3.61%	0.76	0.79	1.48	1.35	0.34	0.07	0.09	0.10	0.21	0.22	0.27	0.32	0.31	0.27	0.20	6.77
20 歯科の疾患	20.96%	1.52	5.13	3.71	3.07	2.08	0.86	1.19	1.61	2.77	3.47	3.11	3.41	3.18	2.47	1.73	39.29
合計	100%	19.53	18.24	15.55	13.06	7.15	3.90	4.65	5.81	10.29	13.86	13.71	16.97	17.10	14.90	12.74	187.47

※1 電子レセプトのうち疾病分類コード（119 分類）の記載があるものを集計した。

※2 入院時食事療養費、入院時生活療養費及び訪問看護療養費は含まない。

（図-54）年齢階級別疾病分類 入院外：家族



(2) 前期高齢者に係る疾病分類比較分析（医科）

平成 27 年度における前期高齢者の疾病分類別 1 人当たり医療費を組合健保と比較すると、医科入院、医科入院外のいずれも全国土木が高くなっているものの、平成 26 年度（全国土木が医科入院で 15,188 円、医科入院外で 22,869 円高かった）よりその差は小さくなっている。

医科入院で差が最も大きい筋骨格系及び結合組織の疾患では、全国土木（12,556 円）が組合健保（11,136 円）より 1,420 円高くなっている。医科入院外で差が最も大きい循環器系の疾患では、全国土木（36,172 円）が組合健保（31,493 円）より 4,679 円高くなっている。

(表-33) 前期高齢者に係る疾病分類別 1 人当たり医療費（平成 27 年度）

(円)

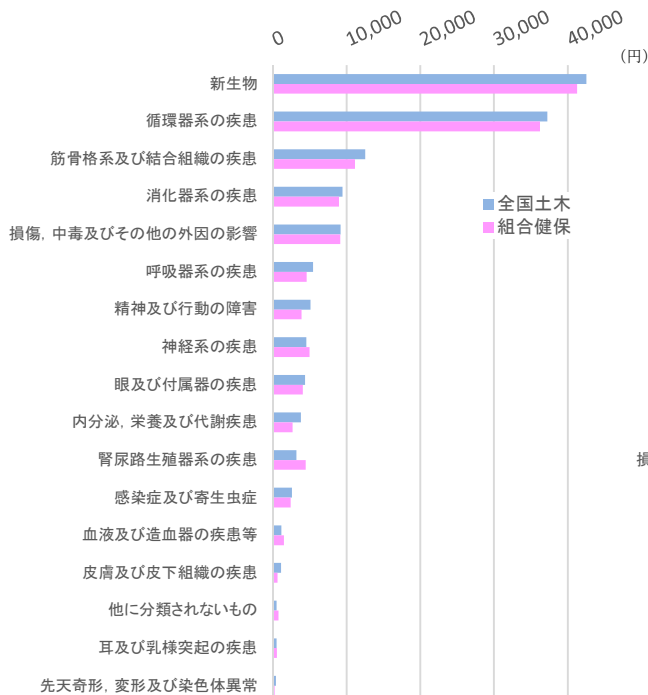
医科入院	全国土木	組合健保	差	医科入院外	全国土木	組合健保	差
総数	143,761	137,652	6,109	総数	162,051	154,305	7,746
2 新生物	42,531	41,286	1,245	9 循環器系の疾患	36,172	31,493	4,679
9 循環器系の疾患	37,242	36,242	1,000	2 新生物	22,874	23,322	△ 448
13 筋骨格系及び結合組織の疾患	12,556	11,136	1,420	4 内分泌、栄養及び代謝疾患	22,741	20,857	1,884
11 消化器系の疾患	9,443	8,995	448	13 筋骨格系及び結合組織の疾患	17,307	15,314	1,993
19 損傷、中毒及びその他の外因の影響	9,171	9,144	27	14 腎尿路生殖器系の疾患	14,521	13,965	556
10 呼吸器系の疾患	5,442	4,603	839	7 眼及び付属器の疾患	11,473	11,771	△ 298
5 精神及び行動の障害	5,114	3,878	1,236	11 消化器系の疾患	9,588	9,534	54
6 神経系の疾患	4,531	4,994	△ 463	10 呼吸器系の疾患	6,385	6,278	107
7 眼及び付属器の疾患	4,360	4,062	298	1 感染症及び寄生虫症	4,672	5,098	△ 426
4 内分泌、栄養及び代謝疾患	3,820	2,676	1,144	6 神経系の疾患	3,859	3,782	77
14 腎尿路生殖器系の疾患	3,198	4,463	△ 1,265	19 損傷、中毒及びその他の外因の影響	2,943	3,087	△ 144
1 感染症及び寄生虫症	2,598	2,436	162	12 皮膚及び皮下組織の疾患	2,850	2,862	△ 12
3 血液及び造血器の疾患等	1,162	1,512	△ 350	18 他に分類されないもの	2,570	2,610	△ 40
12 皮膚及び皮下組織の疾患	1,127	651	476	5 精神及び行動の障害	1,804	2,143	△ 339
18 他に分類されないもの	527	782	△ 255	8 耳及び乳様突起の疾患	1,173	1,175	△ 2
8 耳及び乳様突起の疾患	512	555	△ 43	3 血液及び造血器の疾患等	953	835	118
17 先天奇形、変形及び染色体異常	429	238	191	17 先天奇形、変形及び染色体異常	164	177	△ 13

※全国土木は、電子レセプトのうち疾病分類コード（119 分類）の記載があるものを集計し算出した。

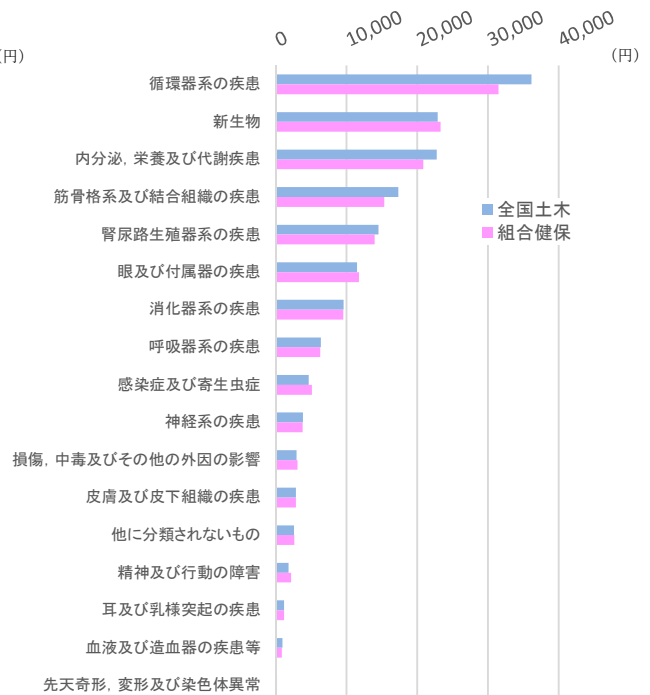
出典：厚生労働省「医療給付実態調査」

(図-55) 前期高齢者に係る疾病分類別 1 人当たり医療費

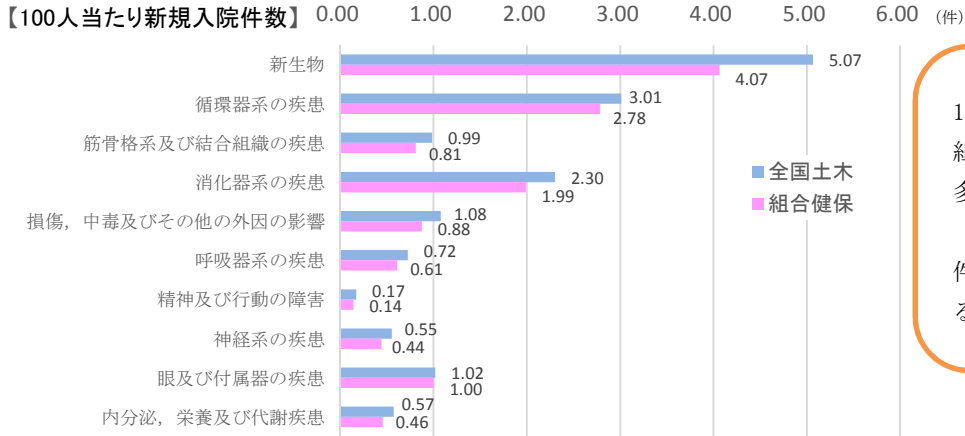
【医科入院】



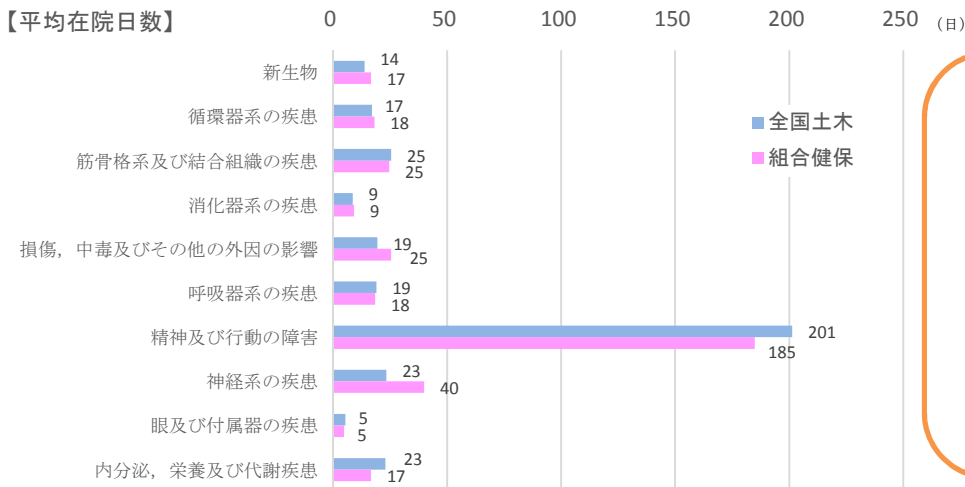
【医科入院外】



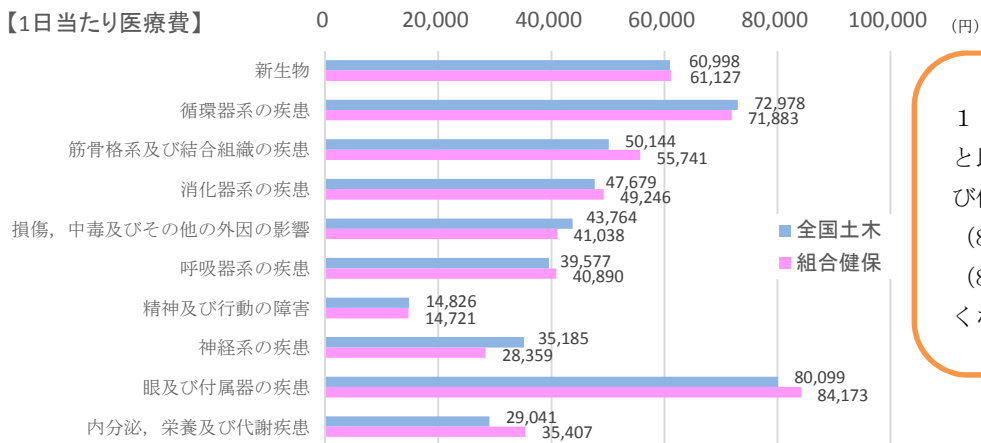
【図-56】 前期高齢者に係る疾病分類別医療費新三要素分析（医科入院）



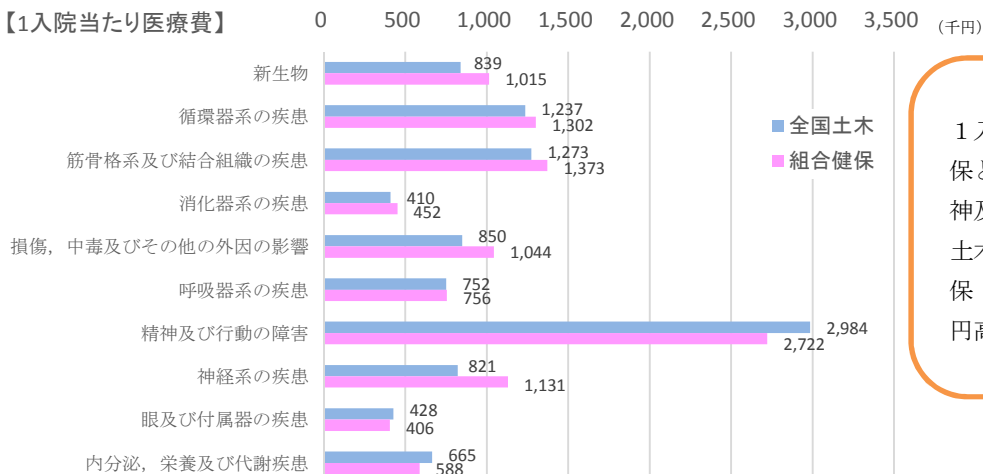
100人当たり新規入院件数を組合健保と比較すると、最も多い新生物では、全国土木（5.07件）が組合健保（4.07件）より1.0件多くなっている。



平均在院日数を組合健保と比較すると、最も多い精神及び行動の障害では、全国土木（201日）が組合健保（185日）より16日多くなっており、神経系の疾患では、組合健保（40日）が全国土木（23日）より17日多くなっている。



1日当たり医療費を組合健保と比較すると、最も高い眼及び付属器の疾患では組合健保（84,173円）が全国土木（80,099円）より4,074円高くなっている。



1入院当たり医療費を組合健保と比較すると、最も高い精神及び行動の障害では、全国土木（2,984千円）が組合健保（2,722千円）より262千円高くなっている。